

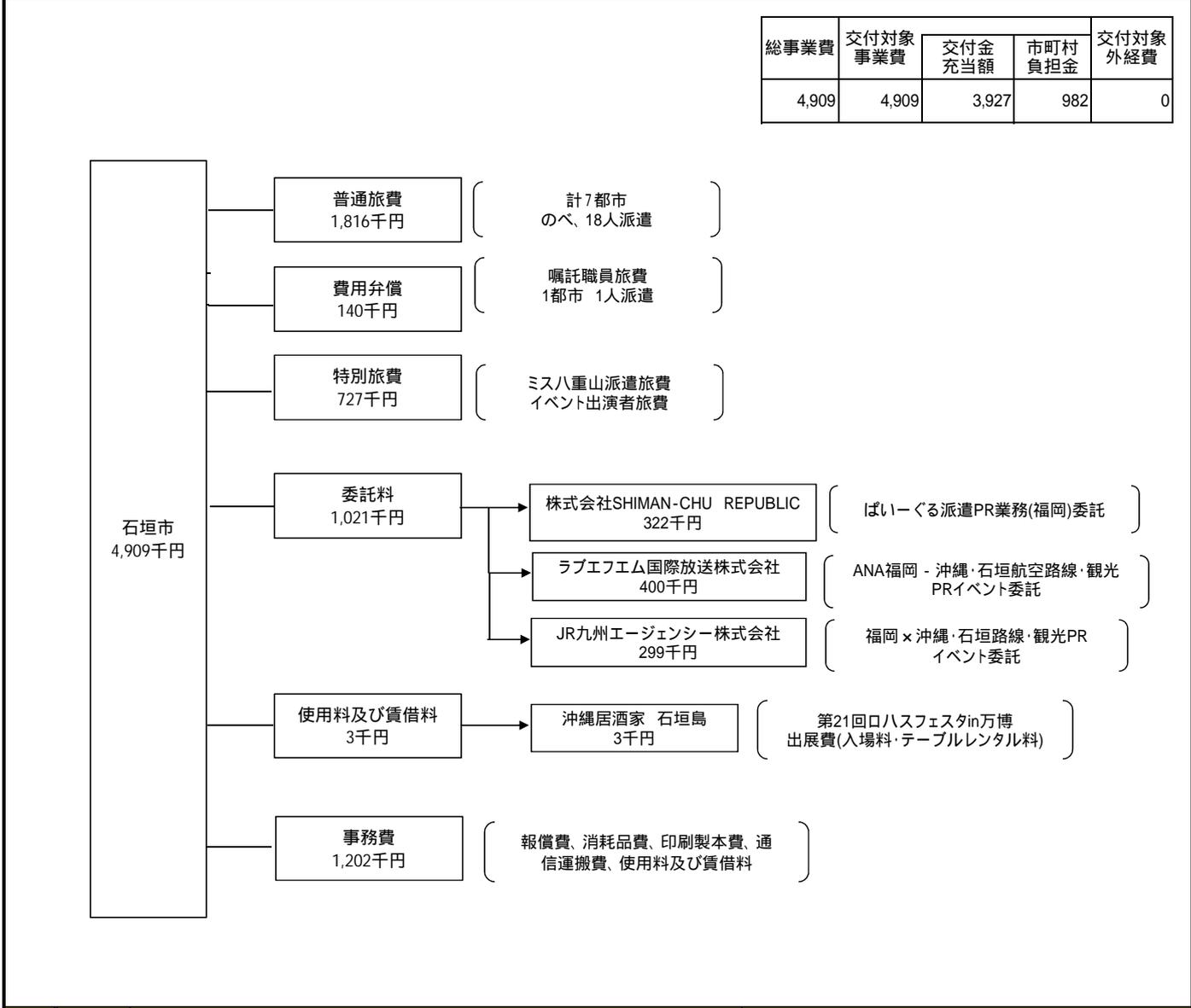
市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光誘客プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	観光文化スポーツ局 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	県外の主要都市及び沖縄県内において地元観光関係団体と連携した観光誘客プロモーションを展開し、新規観光客の獲得につなげる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,915	9,783	5,492		
		(b)予算現額	5,915	7,583	5,492		
		(c)増減額(b-a)	0	2,200	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	5,915	7,583	5,492		
	B.執行済額		3,837	6,562	4,909		
	うち交付金充当額		3,069	4,523	3,927		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		64.9%	86.5%	89.4%		
予算の状況の説明		事業計画とおりに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	直行便就航地でのイベント等の開催及び出展	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			4都市		
	効果的なメディアへの露出	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
達成状況説明	直行便が就航している東京・名古屋・大阪・福岡の各圏内において誘客キャラバンやプロモーションを実施した。大阪・福岡ではスポーツ交流課と連携、鈴鹿では水産課と連携し誘客プロモーションを実施した。東京、仙台、金沢、福岡の4都市でテレビ、ラジオ、雑誌等メディア等2つ以上のメディアに露出した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	メディア掲載(媒体)	目標	()	()	()	(10)	()
		実績				11	
	誘客イベントの実施(回)	目標	()	()	()	(6)	()
		実績				11	
	観光入域客数	目標	()	(70万人)	(80万人)	(100万人)	(120万人)
実績			73.8万人	97.8万人	112.3万人		
進捗状況説明	メディア掲載は、各訪問先での取材受けやプロモーション先でのラジオと連携した広報など成果媒体数は合計11件を達成できた。入域観光客数は、112万人を突破し過去最高を記録した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	25年度より主に観光交流協会・八重山ビジターズビューローと連携した誘客活動に加え市独自の誘客活動を行っている。集客率を高めるため物産販売等を絡めたイベントを開催することを検討したが、バランスとしては金沢での1回に留まった。誘客プロモーションで商工振興課との連携は少なかつたもののスポーツ交流課や農政経済課、水産課と連携を図り、イベントや合宿等を誘客のきっかけとしてプロモーションを仕掛けた実績は有意義だった。	物産販売等を絡めたイベントを開催する。 プロモーション効率から開催地については引き続き直行便が就航している都市またはその周辺に絞りこみ、継続した観光需要の創出に取り組む。

今後の取り組み方針

物産販売等集客率を高める仕組みを主とし商工振興課との連携を進め、観光コンテンツの多様性を周知できるよう他セクションとも連携強化を図る。直行便就航都市などでのイベント等実施前後においてメディア出演を実施し効率的なプロモーションを実施する。夏季、冬季向け及び通年向けの誘客資源を訴求することを踏まえて、プロモーションの時期、場所、方法において効果の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	イベント委託は50万円未満の契約であり、イベント毎の性質から随意契約で行っている。 事業計画にどおりに執行できていることから、適正な予算規模を判断する。 費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	スポーツ! ウェルカム! 石垣島! 事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ	
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 スポーツ交流課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 -1-(1)	
事業内容	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,751	2,717	4,189		
		(b)予算現額	6,491	2,717	3,865		
		(c)増減額(b-a)	1,260	0	324		
		(d)繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		6,491	2,717	3,865		
	B. 執行済額		4,757	2,093	3,171		
	うち交付金充当額		3,803	1,674	2,537		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		73.3%	77.0%	82.0%		
予算の状況の説明		当初計画通り、プロモーションビデオ(DVD)を活用したスポーツキャンプ誘致営業等を実施し、計画に沿った事業計画を行うことができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	プロモーションDVDを活用した営業活動	目標	()	(関東2カ所 関西1カ所)	(実施)	()	
		実績		関東6カ所 関西2カ所	関東3カ所 関西2カ所 福岡1カ所		
	Webページの充実	目標	(制作)	(Webページ充実)	(Webページ充実)	()	
		実績	制作	Webページ維持管理	Webページ維持管理		
達成状況説明	関東地区3カ所、関西地区2カ所、福岡1カ所の各種スポーツ競技団体及び大学へ誘致活動を行った。Webページについては、ドメイン更新作業を行い、ホームページの維持管理を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ誘致2団体以上	目標	()	(受入強化・グループ化)	(2団体)	(2団体)	(2団体)
		実績			2団体	5団体	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	誘客営業活動で誘致が決定した宗像サニックスブルース(ラグビートップリーグ)キャンプ、アジア太平洋及びオセアニア地区の航空会社対抗のFESPAエアラインバスケットボール大会、全国ヴァンテージ8'バレーボール大会、アルティメットフェスティバルの実施。また、新たな大学(国際武道大学陸上部)のスポーツクラブの合宿に成功した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>「離島」ということがハンデとなり、キャンプや大会等の実施、スポーツイベントへの参加を見送るケースがあったが、実際に営業に行くことで積極的な誘致活動と新空港開港に伴い、交通の利便性が格段に向上していることをPRしてきた。</p> <p>新空港開港の特需が一段落した中で、増加の一途をたどっているスポーツ合宿及び大会の参加人数等もある程度落ち着く事が予想される。</p> <p>今後とも積極的な営業活動(広告等PR活動)や沖縄県や他団体との連携を取りながらPR活動を今後も続けていくことで多方面へのネットワークを構築していく必要がある。</p> <p>本事業については、PR活動に加え受入体制(対応)の強化によりこれまで受入実績のない競技のキャンプ誘致や、各種スポーツ大会が開催され順調に効果がみられている。</p>	<p>施設の有効利用の観点からもさらなる新規利用の可能性を模索し、各実施団体への受入基盤強化を図るとともに、来島者への島内各団体や市民を巻き込んだ「おもてなし」の充実が必要となる。</p> <p>施設の設備については、予約方法が分かりづらいという声があることから、改善する必要がある。また、各種スポーツ大会については参加者に海外からの選手も多く参加されることから、Webやパンフレットなど多言語の対応が必要とされる。</p>

今後の取り組み方針

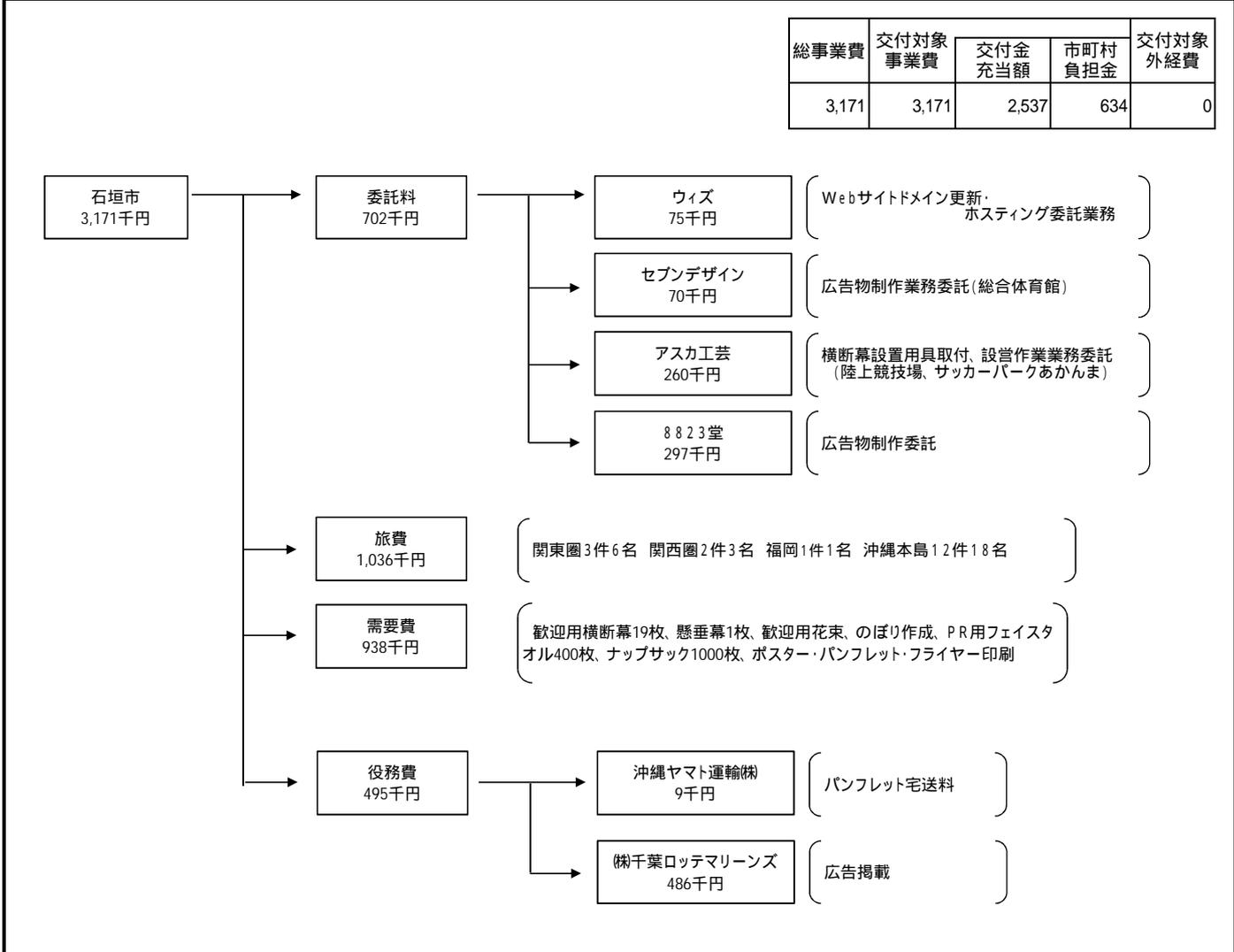
本事業では、スポーツキャンプ地として、定着を図り観光経済、教育等様々な分野との連携を目指す。次年度は、「スポーツキャンプ地としての定着」に重点を置き、プロモーションDVDやパンフレットを活用した営業活動を行う。また、Webを活用し、キャンプ情報を積極的に発信し、歓迎ムードと地元の賑わいを創出し、プロ、アマのスポーツキャンプの誘致及び継続を目指す。

スポーツ施設の設備や予約方法といった要望を改善するためには、それに特化したパンフレットを作成し、営業の際により具体的にキャンプの提案をしていく。また、各種スポーツ大会のPRを広域に行うため多言語に対応したPRチラシの作成やターゲットを絞った広告掲出を行う。

パンフレットの作成やWeb環境の充実、他団体の石垣島キャンプや大会の雰囲気や、また、施設予約方法の手順を示すことは、相手先の事務作業の負担軽減となる。それにより「最南端のスポーツキャンプ地」を石垣島ブランドの一つとしてPRしていく。

また、「おもてなし」の一環として、歓迎装飾物(横断幕等)やWebを活用した情報発信を行うとともに、島内各団体や地元メディアとも協力した歓迎ムードの創出を行う。さらに、引き続き現在実施している団体等に対し営業活動及び受入基盤の強化を行い、今後の実施継続を促していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
金の流		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、本業務の性質及び市業者の現状から実績があり、より安価な業者と随意契約であり、妥当であった。 予算規模については、事業内容に見合った規模となっており適正である。 費目・使途事業目的達成の観点から必要なものであり、額の確定時においても支出等に関する書類により確認し適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	石垣島観光物産PR事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	新空港開港後において、需要の安定化とリピーター層の拡大を図るため、満足度及び地元消費額の向上そして通年型の観光魅力を創出する各種取り組みを行う。国内個人客、海外からのインバウンド客向けの新たな観光コンテンツの創出を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	25,047	30,396	63,840		
		(b)予算現額	25,047	77,973	77,731		
		(c)増減額(b-a)	0	47,577	13,891		
		(d)繰越額	-	-	-		
	A.計(b+d)		25,047	77,973	77,731		
	B.執行済額		24,519	75,699	76,861		
	うち交付金充当額		19,614	60,559	61,488		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		97.9%	97.1%	98.9%		
予算の状況の説明		受入基盤強化事業に係る4,000千円を9月補正で、10,000千円を12月補正で増額し、3月補正において貸金執行残額の109千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	開港後PR:消費額UP、ボトム期解消をテーマにしたPR(広報・広告)	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			1事業		
	物産PR:モノ(名産品)を通して島内外のコミュニケーションの創出を図り、島の魅力を発信する。	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			1事業		
	ターゲット毎のPR:誘客セグメントを意識したPR(広報・広告)の実施。	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			5事業		
	星空資源の魅力を広報。	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			1事業		
ボトム期の集客コンテンツの創出(花火大会の開催等)	目標	()	()	(実施)	()		
	実績			1事業			
達成状況説明	前年度までは、主に新空港開港をアピールすることに視点を置いた取り組みを行ってきたが、H26年度は、観光消費額の向上や観光ボトム期の誘客そして通年でアピールできる観光素材を提案する取り組みを行った。受入基盤の強化を図る取り組みを付加することで、満足度の向上を促進できた。						
H26成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光入域客数100万人	目標	()	()	()	(100万人)	()
		実績				112万人	
	観光動態調査報告書の策定	目標	()	()	()	(策定)	()
実績					策定		

成果目標 (指標) 及び進捗状況	ボトム期集客イベントの開催による海外直行便の運航数2便	目標	()	()	()	(2便)	()
		実績				2便	
	広報効果:一年を通じた各月の観光客数前年比増	目標	()	()	()	(12か月)	()
		実績				9か月	
進捗状況説明	観光客数の各月前年比増については、12月、1月、3月の月において前年比を下回った。しかし、観光動態調査報告書の策定、花火大会の開催による海外チャーター便の誘致目標を達成することができた。また、観光入域客数100万人を達成したことは評価できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光誘客プロモーション事業に対して、本事業は、観光受入基盤の構築を図り、観光客の満足度、消費額の向上の視点とメディア媒体を活用した観光資源や情報の発信を視点に行っている。満足度や消費額の向上に係る現状把握としての動態調査、増加傾向にある外国人観光客に対応する人材育成、通年での観光魅力を訴求するメディア媒体での広報、海水浴場などでの滞在時間の延伸、安全情報の発信を推進した。	外国人材バンクの活用推進方法について、検証を行いながら改善する必要がある。

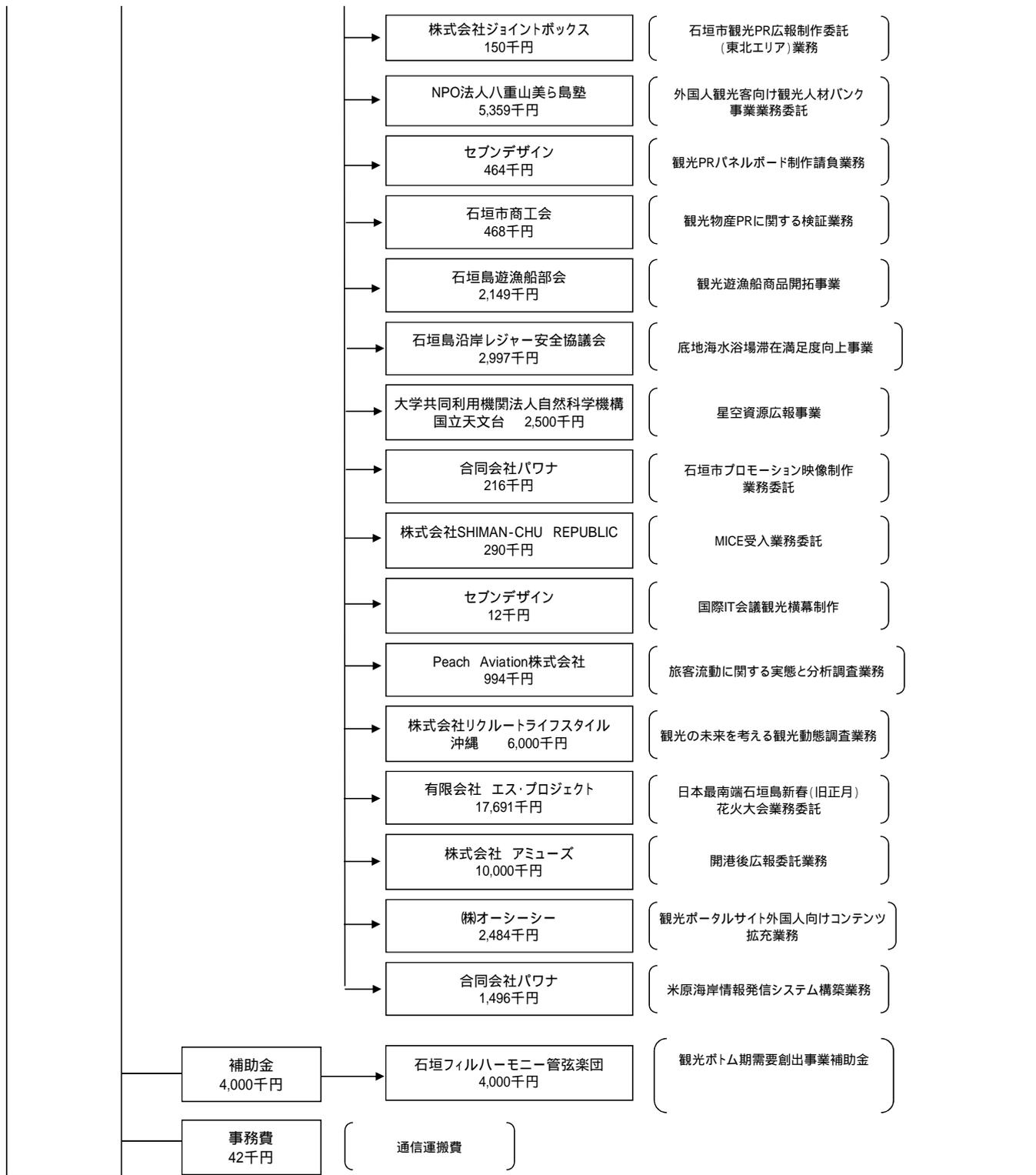
今後の取り組み方針

策定した観光動態調査を基に今後の観光ビジョンや戦略の構築に取り組みながら本事業を活用したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
76,861	76,861	61,488	15,373	0

石垣市 76,861千円	賃金 2,396千円	(石垣島観光物産PR事業賃金職員(国内)1名 石垣島観光物産PR事業賃金職員(台湾)1名)
	普通旅費 724千円	(計2都市 のべ、7人派遣)
	特別旅費 368千円	(台湾1回 2人派遣)
	委託料 69,331千円	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社SHIMAN-CHU REPUBLIC 149千円 (観光利用100万人突破セレモニー委託) ダイヤモンドパートナー株式会社 32千円 (告知ツール等制作委託) 有限会社石垣コミュニティエフエム 2,300千円 (「アフタヌーンパラダイス&あの頃青春グラフィティ」公開放送) 榑水中造形センター 950千円 (石垣島リーフレット(ダイビングPR)作成業務) 株式会社ロフトワーク 10,000千円 (USIOデザインプロジェクトPR業務 リデザイン等を軸にした地域発信企画業務) 株式会社CBCラジオ 2,160千円 (メディア媒体を活用した観光PR 【東海エリア】業務) 株式会社SHIMAN-CHU REPUBLIC 470千円 (石垣島観光PR業務)

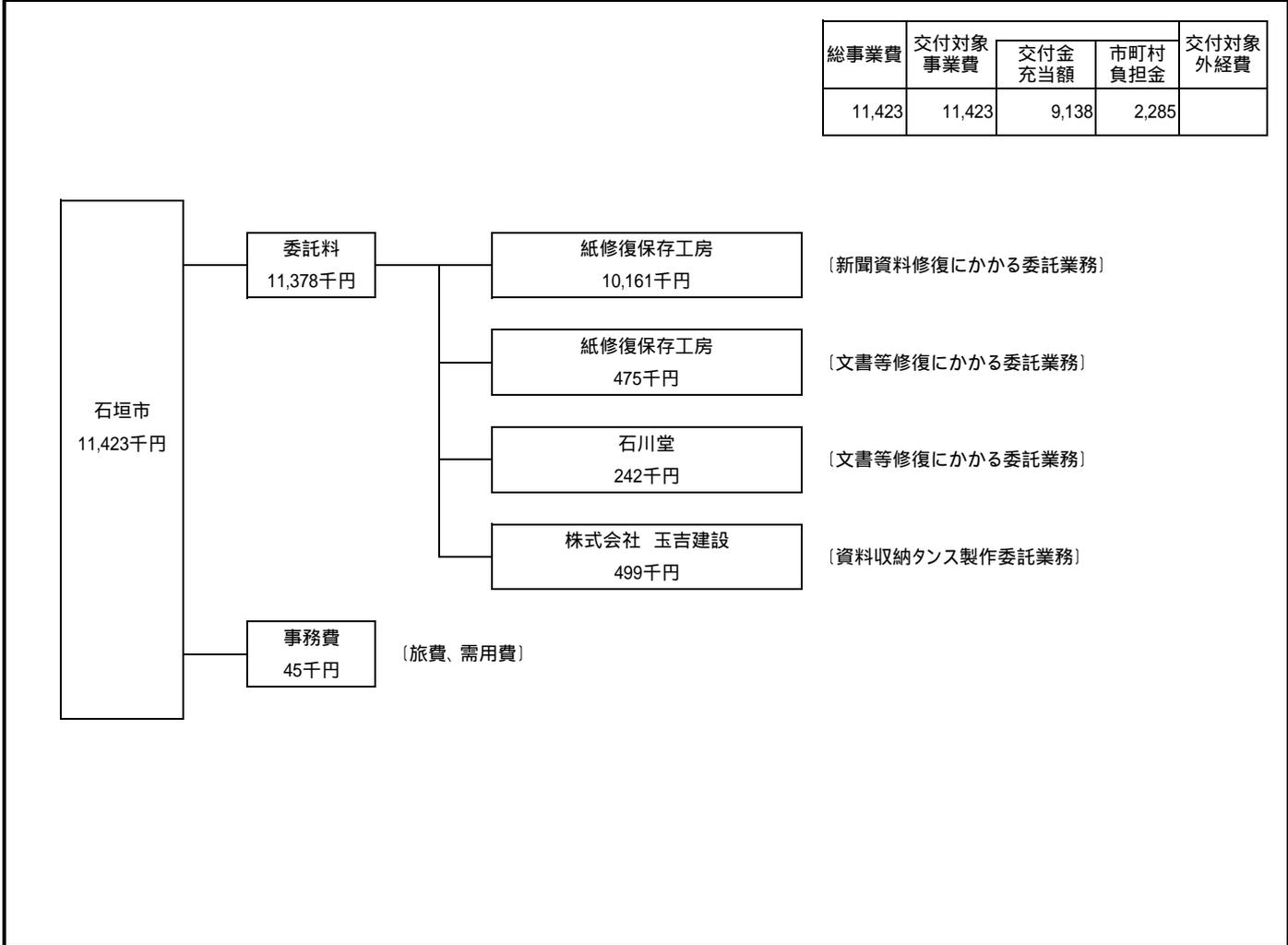


資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業務において、提案型のプロポーザル方式を実施して随意契約で行った。 多様な業務に取り組み、予算の執行率を高めながら有効に行うことができた。 費目・使途が事業目的に即し、実施した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-	八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	石垣市教育委員会 石垣市立八重山博物館	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり -1-(1)		
事業内容	八重山博物館所蔵する資料のうち、劣化の著しい古文書等の資料を修復し修復済資料等を保管するための、資料収納筆筒を製作する。							
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額		8,337	27,105	14,860		
		(b)予算現額		8,337	17,086	14,860		
		(c)増減額(b-a)		0	10,019	0		
		(d)繰越額		-	0	0		
		A.計(b+d)		8,337	17,086	14,860		
		B.執行済額		8,328	17,064	11,423		
		うち交付金充当額		6,662	13,651	9,138		
		次年度繰越額		0	0	0		
		執行率(%) (B/A)		99.9%	99.9%	76.9%		
予算の状況の説明	資料の修復と修復済資料のデジタル化、資料収納用筆筒の製作は、計画通りに行った。当初、予定していたレプリカ製作は、年度途中で国の機関から、レプリカ製作を予定していた資料の修復等を含む事業の申し出があったため、本市での実施は取りやめた。							
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	所蔵資料の修復を行い、修復済資料のデジタル化。	目標	古文書修復250点、軸資料修復2点、所蔵資料データベース化16,000点	文書等修復数148点	実施	()		
		実績	古文書修復250点、軸資料修復2点、所蔵資料データベース化11,000点	文書等修復数3点	資料27件の修復とデジタル化			
	所蔵資料のレプリカを作成、活用。	目標		新聞資料修復1000枚	実施	()		
		実績		新聞資料5,455枚	レプリカ製作なし			
	収納用筆筒を作成し、保存と管理を充実させる。	目標		収納棚製作4点	実施			
実績			資料収納用筆筒製作2点、資料収納用棚設置1件	資料収納用筆筒製作2点				
達成状況説明	資料の修復と修復済資料のデジタル化、資料収納用筆筒の製作は、計画通りに行うことができた。当初、予定していたレプリカ製作は、年度途中で国の機関から、レプリカ製作を予定していた資料の修復等を含む事業執行の申し出があったため、本市での実施は取りやめた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	資料19件の修復	目標		古文書修復250点、軸資料修復2点、所蔵資料データベース化16,000点	文書等修復数148点	資料19件の修復		
		実績		古文書修復250点、軸資料修復2点、所蔵資料データベース化11,000点	文書等修復数3点	資料27件の修復とデジタル化		
	レプリカ作成1点	目標			新聞資料修復1000枚	レプリカ製作1点		
		実績			新聞資料5,455枚	レプリカ製作なし		
	収納用筆筒1点の製作	目標			収納棚製作4点	資料収納用筆筒製作1点	()	
		実績			資料収納用筆筒製作2点、資料収納用棚設置1件	資料収納用筆筒製作2点		
進捗状況説明	博物館資料の修復事業は、劣化の進んだ資料や劣化の防止を優先して行っている。平成26年度に修復をした資料についても基本的な方針は一緒である。また、資料収納用筆筒を製作したことにより、修復済資料の保存環境を改善することができた。レプリカ製作は、年度途中で国の機関による作成が決まったため本市での実施は取りやめている。							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>今後も資料の状態を把握したうえで、より効率の良い修復事業をめざしていきたい。また、修復済資料の活用を図っていきたい。</p>	<p>資料収蔵用筆筒の製作、収蔵用棚を設置して当面の収蔵場所を確保し、収蔵環境を整えてはいるが、今後も、修復後の資料の収蔵場所を確保しながら事業をすすめる必要がある。また、修復事業をより有効に進めるうえでも、資料の状態を把握する必要があると考えている。</p>
今後の取り組み方針		
<p>博物館資料の修復事業は、年次的な修復計画を作成し、劣化が進み状態の良い資料を優先的に修復していきたい。また、修復済資料は収蔵タンス等を設置して収蔵し、保存管理の環境整備を整えていきたい。それにより、将来にわたり資料を良好な状態で保存することができ、広く活用が供することが可能となる。また、修復作業と同時にデジタル化を行っている。これらは、将来にわたって展示公開、調査・研究等、に寄与するものと期待できることから、継続して行っていきたい。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>予算の執行は、修復の専門業者へ委託をすることで支出先の選定は妥当である。 業者の選定は、専門業者への随意契約と規則の範囲内での随意契約を行っており、妥当である。 予算規模、事業目的に即した執行となっており、資料保管と管理の課題の緩和につながった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	石垣島シネマフェスティバル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ウ	
担当部課名	観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24年～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化コンテンツ産業の振興 -1-(1)	
事業内容	八重山諸島で撮影された映画作品等を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,208	5,000	16,866		
		(b)予算現額	9,208	4,891	16,866		
		(c)増減額(b-a)	0	109	0		
		(d)繰越額	-	0			
		A.計(b+d)	9,208	4,891	16,866		
	B.執行済額		9,186	4,872	15,790		
	うち交付金充当額		7,349	3,897	12,632		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	99.6%	93.6%		
予算の状況の説明		事業において計画していた映画の上映、出店ブースの設置、屋外ライブの開催はすべて実施した。活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。プロジェクターも入札により適正に購入できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	シネマフェスティバルの開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	()	
		実績	開催	開催	開催		
	プロジェクターの購入	目標	()	()	(購入)	()	
		実績			購入		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 映画を通して島の魅力を再認識してもらう事を目的に、2日間にわたり上映会を開催した。 昨年の12本の上映本数を上回る、大ホールでロードショー作品5作品、中ホールで八重山関連作品3本を含む6作品、展示ホールで3D映画4本の計15本の作品を上映することができた。 大・中ホールにおいて開場時より上映開始まで島のPR用CMを流し島の魅力を発信した。 事業の賑わい感創出とアピールのため、屋外ライブパフォーマンスと飲食ブースを設けた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	シネマフェスティバルの入場者	目標	(0)	(8,000人)	(8,000人)	(8,000人)	(8,000)
		実績		3,733人	6,050人	5,000人	
	プロジェクターの購入完了	目標	()	()	()	(購入完了)	()
		実績				購入完了	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 3D映画において、当初予定されていた作品が、配給元の方針変更に伴い上映出来なくなり急遽、代替え作品を用意する事となったが認知度が低く思ったより入場者が伸びなかった。 用意したファミリー向け作品が、宣伝不足により認知されず親子連れでの入場者が前年度を下回ってしまった。 八重山諸島で撮影された作品への関心及び認知度が高まり、これらの入場者は年々増加傾向にある。 					

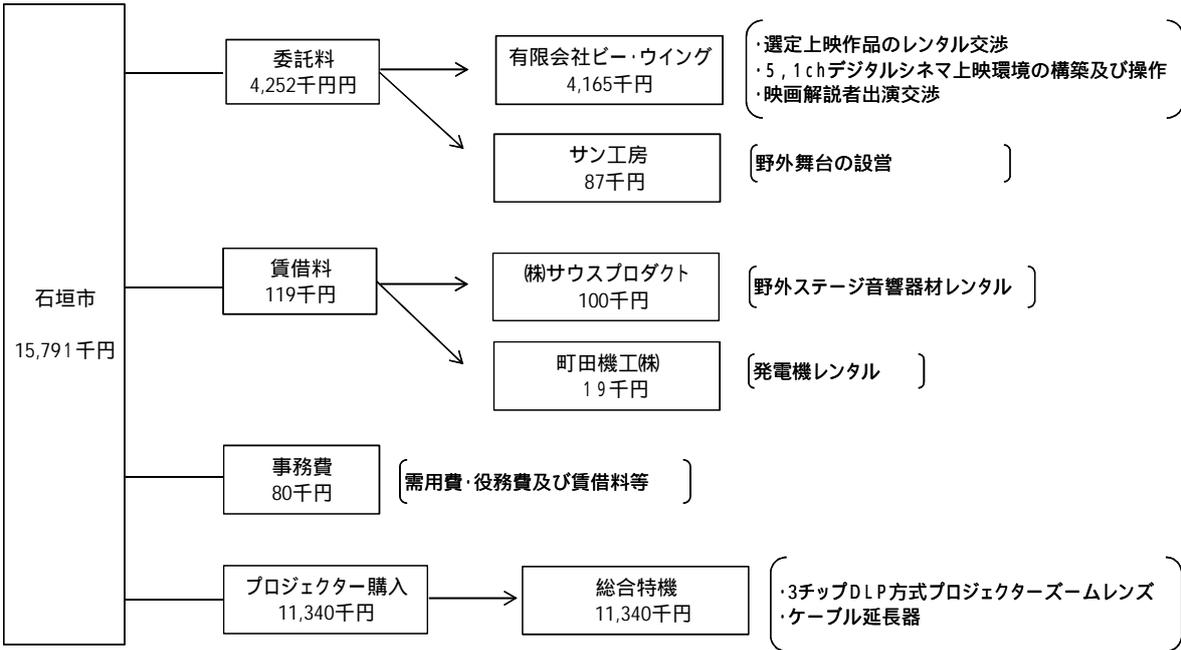
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・今年度、開催時期や上映時間、作品選定、PR用CMの上映など改革を図ったが目標を達成できなかった。より多くの人を引き付ける取組が必要。	「島の魅力」と題した投稿動画を広く募集し上映することで事業およびロケ地の魅力をさらに発信していく。
	・島外マスコミ等への認知度は少しずつ広がってはいるがまだ低いため取組を強化する必要がある。	・現在企画が進行している島での映画撮影において、製作発表等において当事業を活用してもらいマスコミに広くアピールする。
	・Web媒体に於いての認知度をより高めるための取組が必要。	・上映作品紹介のみならず、屋外パフォーマンスの様子や飲食ブースで出される島の特産品紹介などの動画も配信できるよう取り組む。
	・観光客にもより興味を持ってもらえる取組を検証する必要がある。	・観光ガイドブックへの掲載等により事業の独自性をアピールすると共に、屋外パフォーマンス等に於いても観光客も参加できる内容を検証していく。

今後の取り組み方針

・島のPRCM上映が好評だったことから、新たに「島の魅力」と題した投稿動画を募集し上映する。
 ・屋外ステージでのパフォーマンスが話題となり高校生を中心とした映画の企画が進行している事から、宣伝活動の一環として当事業を活用してもらえるよう製作会社等と交渉していく。
 ・作品選定時において配給会社の方針転換等に対応できるよう細心の注意を払い交渉にあたる。
 ・ロケの誘致をさらに促進できるよう、市のフィルムオフィスなどとの連携を深める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,791	15,791	12,632	3,159	



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者と随意契約を結んだが、作品のレンタル交渉や上映環境の構築等に関し専門的知識が不可欠なため、実績・知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目、用途については事業目的の観点から吟味し支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	プロジェクターは入札により購入し入札は適切に行われた。

市町村名 石垣市

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1- プロ野球キャンプ受入基盤強化事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-2-(1)-イ), 担当部課名 (企画部観光文化スポーツ局 スポーツ交流課), 事業実施(予定)年度 (平成24~30年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (-1-(1))

事業内容 来場者や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ中における見学者の誘導及び飛球対策に係る警備員の配置を行う。また総合案内所を設置し、来場者等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行って地域活性化につなげる。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円), 予算の状況 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: H26活動目標(指標), 警備員配置 (目標, 実績), 総合案内所の設置 (目標, 実績), キャンプ受入れに係る施設設置 (控室、倉庫) (目標, 実績), 達成状況説明

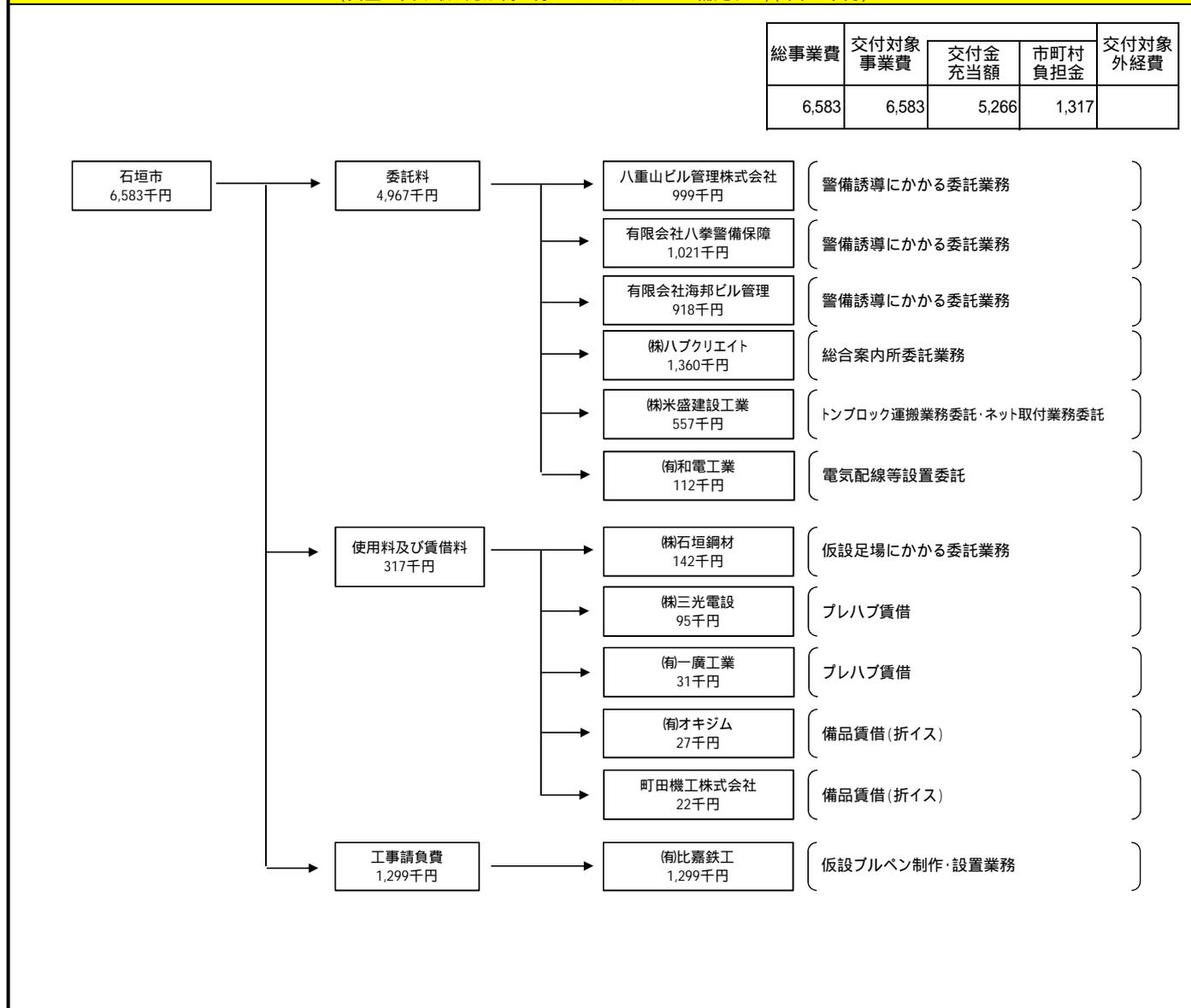
Table with 7 columns: 基準値(年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(年度). Rows include: H26成果目標(指標), プロ野球キャンプ見学者数 (目標, 実績), 進捗状況説明

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>プロ野球キャンプ期間中の会場内における来場者や選手等の安全性、快適性を図るために警備誘導員の配置、総合案内所の設置は必要となる。</p> <p>今回は天候に恵まれ当初計画した警備誘導員の配置で、来場者、選手等の安全性と快適性を図ることができたが、天候等による練習メニューの変更等に伴う来場者用導線の変更は想定できることから迅速な対応が求められる。また、総合案内所については、プロボーガルによって業者を選定し、総合案内所以外にも賑わい創出として来場者を対象としたイベントを開催することができた。</p>	<p>円滑な運営支援もプロ野球キャンプの継続誘致に繋がると考える。警備誘導員の配置についても、事前の調整で考えられる見学者用導線を検討し変更時にも迅速な対応ができるようにしておく。また、受入の強化として、地元への賑わいも必要とされることから、地域と連携したイベント開催を継続して行っていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今後も継続してプロ野球キャンプを受入れられるよう安全・快適な会場整備、来場者へのホスピタリティの充実を図ると共に、本事業が地域の活性化につながるよう、地域と連携したイベントを開催し、地域活性化を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託については、本業務の性質及び事業者の現状から複数会社に行っている。そのため、実績があり、より安価な業者との随意契約であり、妥当であった。</p> <p>使用料及び賃借料については、一業者からの賃借ができず複数業者からの賃借となったが適正な規模で妥当であった。</p> <p>工事請負費については、制作、設置と一業者で契約することが適正な規模で妥当であった。</p> <p>各項目において、費目・使途事業目的達成の観点から必要なものであり、額の確定時においても支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-	いしがきの原風景写真等デジタル化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	教育部 市史編集課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を生かしたまちづくり -1-(1)		
事業内容	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	7,308	7,308	7,290			
		(b)予算現額	7,140	7,140	7,290			
		(c)増減額(b-a)	168	168	0			
		(d)繰越額	-	-	-			
	A.計(b+d)		7,140	7,140	7,290			
	B.執行済額		7,140	7,140	7,182			
	うち交付金充当額		5,712	5,712	5,745			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.5%			
予算の状況の説明		事業計画通りに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	プリント写真4,000コマ、ネガフィルム6,000コマのデジタル化及びアーカイブ構築		目標		(プリント写真4,000コマ ネガフィルム6,000コマ)	()		
			実績		プリント写真3,793コマ ネガフィルム6,058コマ			
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	平成24年度に15,489コマ / 15,000コマ、平成25年度16,626コマ / 15,000コマの写真資料等のデジタル化を実施している。平成26年度には、プリント写真3,793コマ、ネガフィルム6,058コマのデジタル化を実施しており、ほぼ目標に達した。プリント写真のデジタル化が目標のコマ数に達しなかったのは、デジタル化をする写真等の選別に時間を要したためである。また、デジタル化した写真等をWeb上で公開するためのアーカイブの構築にも着手した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	いしがきの原風景写真等デジタル化実施率		目標	()	(20%)	(20%)	(20%)	()
			実績		20%	22%	13%	
	アーカイブ構築率		目標	()	()	()	(30%)	()
			実績				30%	
	進捗状況説明	目標の点数に達しなかったのは、デジタル化を行う写真等の選別に時間を要したため。また、デジタル化した写真等をWeb上で公開するためのアーカイブの構築にも着手した。アーカイブ構築については、平成26年度~平成28年度に10種類のコンテンツカテゴリにデジタル化した写真を分類し、構築することにしており、平成26年度は、3/10のコンテンツカテゴリの構築を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>市史編集事業により収集された写真ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う必要があり、75,000点の所蔵写真資料等のデジタル化を平成24～平成28年度の5年間で行う事業である。平成26年度終了時点で、42,000点/75,000点のデジタル化を完了している。(進捗率:56%)</p>	<p>事業終了年度の平成28年度中に75,000点のデジタル化を完了する見込みで、平成26年度からデジタル化した写真資料等をWeb上で公開する「石垣市史デジタル資料室」の構築も行っている。事業の進捗は概ね妥当であると思料する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>75,000点の写真資料等のうち、残り33,000点の資料についても平成28年度末までの事業期間中に着実にデジタル化を行い、Web上での公開を行うことで、観光パンフレットへの提供や新聞・テレビ等マスコミの記事・番組への提供を通して、いしがきの魅力の発信を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,182	7,182	5,745	1,437	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと思慮する。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の2%以内であり適正な規模であったと思慮する。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	費目、使途については事業目的に即し、必要なものであったと思慮する。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-4-ウ		
担当部課名	石垣市教育委員会 石垣市立八重山博物館	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
					- 1 - (1)		
事業内容	現石垣市立八重山博物館は、開館から40年余が経つことから、時代のニーズや八重山の現状にあった建設計画及び内容等の構想を検討するため、基本構想を策定する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		10,600	11,405		
		(b)予算現額		8,589	11,405		
		(c)増減額(b-a)		2,011	0		
		(d)繰越額		0			
		A.計(b+d)		8,589	11,405		
	B.執行済額			8,211	10,476		
	うち交付金充当額			6,558	8,380		
	次年度繰越額			0	0		
	執行率(%) (B/A)			95.6%	91.9%		
予算の状況の説明		929千円の減額となったが、プロポーザル方式で委託業者を選定したことなどによる執行残である。業務を委託して新博物館建設に係る基本構想策定事業を行った。今年度4回の基本構想検討委員会を開き、基本構想案を審議し、基本構想策定書を作成した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	基本構想検討委員会の開催	目標	()	基本構想策定に係る調査、基本構想検討委員会2回開催	基本構想検討委員会3回開催	()	
		実績		基本構想策定に係る調査、基本構想検討委員会2回開催	基本構想検討委員会4回開催		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	新石垣市立八重山博物館建設基本構想策定事業は、2年間事業として行った。H25年度は、業務委託して基本構想策定に必要な調査をおこない、調査の成果を基本構想検討委員会に提示し、意見を求めた。H26年度は新博物館建設に係る基本構想検討委員会において基本構想案を検討し、基本構想をとりまとめ基本構想策定書を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	基本構想の策定	目標	()	()	基本構想策定に係る調査	基本構想策定	()
		実績			基本構想策定に係る調査	基本構想策定	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	本事業は、H25、26年度事業である。H25年度は調査業務を行い、新博物館建設に向けた基本的な調査を行った。それをふまえて、H26年度は、基本構想検討委員会で基本構想案を審議し、基本構想をとりまとめ、基本構想策定書を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新博物館建設基本構想の策定にあたり、学識経験者、行政関係者、公募による市民委員からなる基本構想検討委員会を設置して基本構想案を検討した。よって、基本構想には、市民の意見も反映されたものとなっている。	基本構想検討委員会には、広く市民の意見を聞く必要があることから、学識経験者、行政関係者の外に公募による市民委員を加えて基本構想の策定事業を行ったほか、基本構想案に対するパブリックコメントを導入した。今後も、市民の意見を取り入れながら、新博物館の建設を進めていきたい。

今後の取り組み方針

今後、平成26年度末に策定した新石垣市立八重山博物館建設基本構想をもとに新博物館建設基本計画を策定し、以後、諸手続きを踏んで新博物館建設に向けて取り組んでいきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,476	10,476	8,380	2,096	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	南ぬ島空港観光案内所運営事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施し、観光地としての信頼度を高める。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		(a)当初予算額	6,600	9,100			
	(b)予算現額	6,600	9,100				
	(c)増減額(b-a)	0	0				
	(d)繰越額	-	-				
	A.計(b+d)	6,600	9,100				
	B.執行済額	4,579	7,644				
	うち交付金充当額	3,663	6,115				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	69.4%	84.0%				
予算の状況の説明	執行残の主な内容はスタッフの入れ替わり及び短時間勤務スタッフ法定福利費不要額、消耗品費残額、事業費減額による管理手数料の減。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光案内サービスの実施	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成26年4月1日～平成27年3月31日まで、南ぬ島石垣空港内案内カウンターにおいて、外国語に対応できるスタッフ(3名、うち1名は時短:4時間勤務)を配置して観光案内を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	H26年度案内所サービスの利用者数	目標	(44,625)	(44,625)	(45,000)	()	()
		実績		44,625	51,068		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	接客スキル向上のため、スタッフ研修の実施やスタッフの増員(4時間勤務1人増)を行った。また、今年度より国際線就航時、国際線カウンターにおける観光案内を行った。					

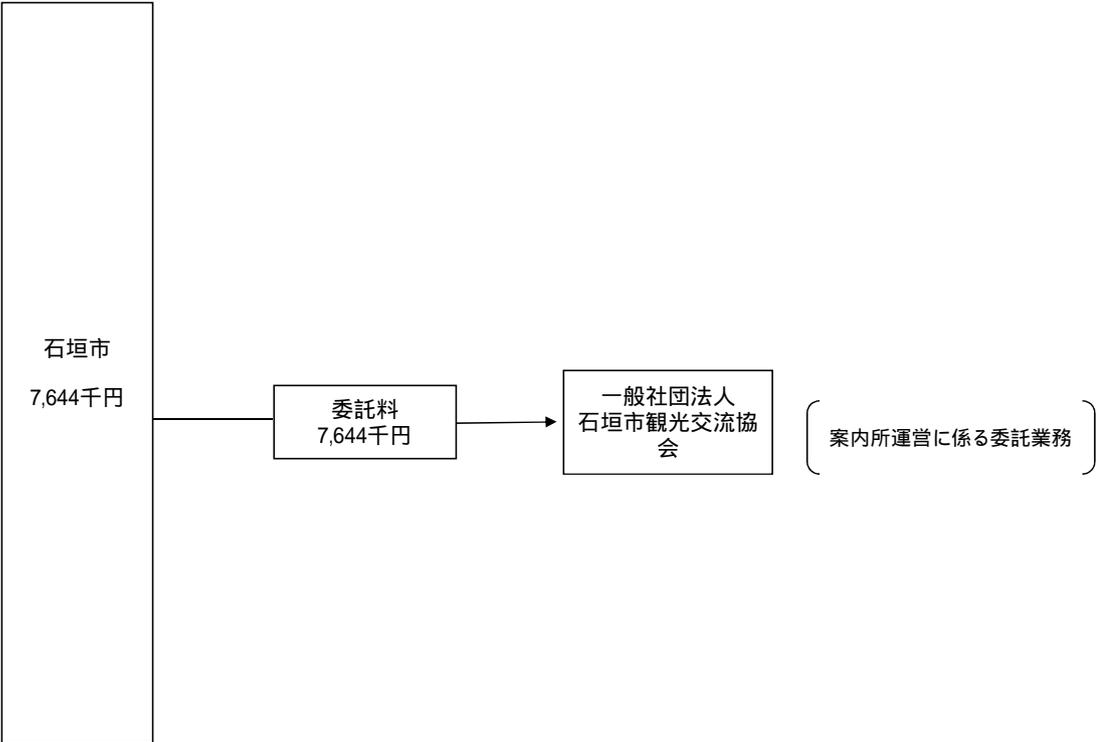
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市の玄関口となる石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスが必要なことから本事業を実施。</p> <p>年々、問い合わせ内容の多様化しており、外国人観光客からの問い合わせも増えている。</p> <p>また、観光施設や従事者への苦言等が寄せられることも多いため、スタッフのメンタルや健康管理にも注意する必要がある。</p>	<p>スタッフ研修について、今年度は実務研修ということで那覇空港で行ったが、総合案内としての機能を充実させるため、今後は島内観光施設なども含めた研修を行いたい。</p> <p>また、外国人観光客が増えており、バスの案内に次いで宿泊施設や地図・パンフレットの問合せが多いことから、外国人観光客向けのパンフレットを充実させるために市内観光業者等へ周知・協力を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

次年度以降は、石垣市観光交流協会組合員を中心に、外国人観光客向けパンフレット等収集、情報収集の協力を仰ぎ、提供する情報の内容充実を図る。今後もスタッフ研修等により接客スキルの向上を図り、メンタル面に留意ながら、継続して取り組みたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,644	7,644	6,115	1,529	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本市の観光振興を推進する会員組織である石垣市観光交流協会と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき締結し、妥当と考える。</p> <p>○予算規模、費用・使途に関しては、事業途中や事業完了の際に受託者と協議・確認し、適正であると確認している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	やいまびとぅ人材ネットワーク事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-工	
担当部課名	八重山広域市町村圏事務組合	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流と貢献による離島の新たな振興 -1-(1)		
事業内容	日本全国の八重山出身者が、会員相互の親睦・共栄や故郷八重山の発展に寄与することを目的とした組織化作業やそれらをつなげる人材ネットワークづくりを実施する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)				6,990		
					6,990		
					0		
					0		
					6,990		
	B.執行済額				5,805		
	うち交付金充当額				4,644		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				83.0%		
予算の状況の説明		執行済額が減額になった部分は、ネットワークシステム構築に必要なパソコンを既存のパソコンで対応したこと、県外の基本構想策定委員が諸事情で審議会に参加できなくなったこと、全国各ブロックのネットワーク化訪問を集約したことによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	人材ネットワーク構築基本構想策定	目標	()	()	(基本構想策定)	()	
		実績			基本構想策定		
	郷友等諸団体のリサーチ	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			444団体		
	郷友等諸団体の組織化	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			0団体		
	人材情報ネットワークシステムの構築	目標	()	()	(システム構築)	()	
		実績			システム構築		
達成状況説明		人材ネットワーク基本構想は当初予定どおり策定した。郷友会等諸団体のリサーチは予定より多くのリサーチができた。郷友会等諸団体の組織化については3ブロック地区を訪問し組織化をすすめているが、個人情報とのからみで多くのやいまびとぅの把握が難しいこと、郡外ではお互いが地理的に離れていて日常的に交流が困難なことなどから、現時点での新規組織団体はない。人材情報ネットワークシステムについては構築済みである。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	人材ネットワーク構築基本構想策定	目標	()	()	()	(基本構想策定)	()
		実績				基本構想策定	
	郷友等諸団体のリサーチ(50団体)	目標	()	()	()	(50団体)	()
		実績				444団体	
	郷友等諸団体の組織化(7団体)	目標	()	()	()	(7団体)	()
		実績				0団体	
	人材情報ネットワークシステムの構築	目標	()	()	()	(システム構築)	()
		実績				システム構築	
	進捗状況説明		基本構想を策定したので、今後、構想での諸事業の予算確保と事業実施に活かしたい。リサーチは目標以上にできたが、今後とも継続して出身者の把握に努めたい。個人情報とのからみで多くのやいまびとぅの把握が難しいことやお互いが地理的に離れていて日常的に交流が困難なことなどから、諸団体の組織化が目標どおりできていない。やいまびとぅのつながりを拡充強化するネットワークシステムについては4月から稼働しており、徐々に内容も充実しつつあり、やいまびとぅ交流の場として活用する。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>八重山圏域の活性化を「内部の力」と「外部の力」の融合でできないか。つまり全国にいる八重山出身者の力も借りながら圏域の活性化ができないかーそれが当初の問題意識である。</p> <p>そのため、まずやいまびとぅ(出身者)のネットワークをつくるのが本事業の目的である。ネットワークづくりをすすめる中で 郷友会活動での高齢化と若者離れ 交通の便ががよくなり郷里へはいつでも帰れることから、以前ほど郷友会を必要としていない 個人情報保護の観点から名簿入手が困難になってきている の問題(課題)があった。</p> <p>事業執行はほぼ予定どおりできたと思うが、組織化については個人情報収集の困難などで当初の予定どおりできなかったところがある。</p>	<p>郷友会などの諸団体についての組織化は難しいところはあるが、今回の全国各ブロックの訪問で取っ掛りはできたので次回の「2016やいまびとぅ大会」にむけて取り組んでいきたい。</p> <p>また、やいまびとぅ人材情報ネットワークシステムができたことから、そのシステムの「交流の場」を活用しながら、全国各地の郷友の方々へ組織化やネットワークへの参加を呼びかけ、その拡充強化をはかる。</p>

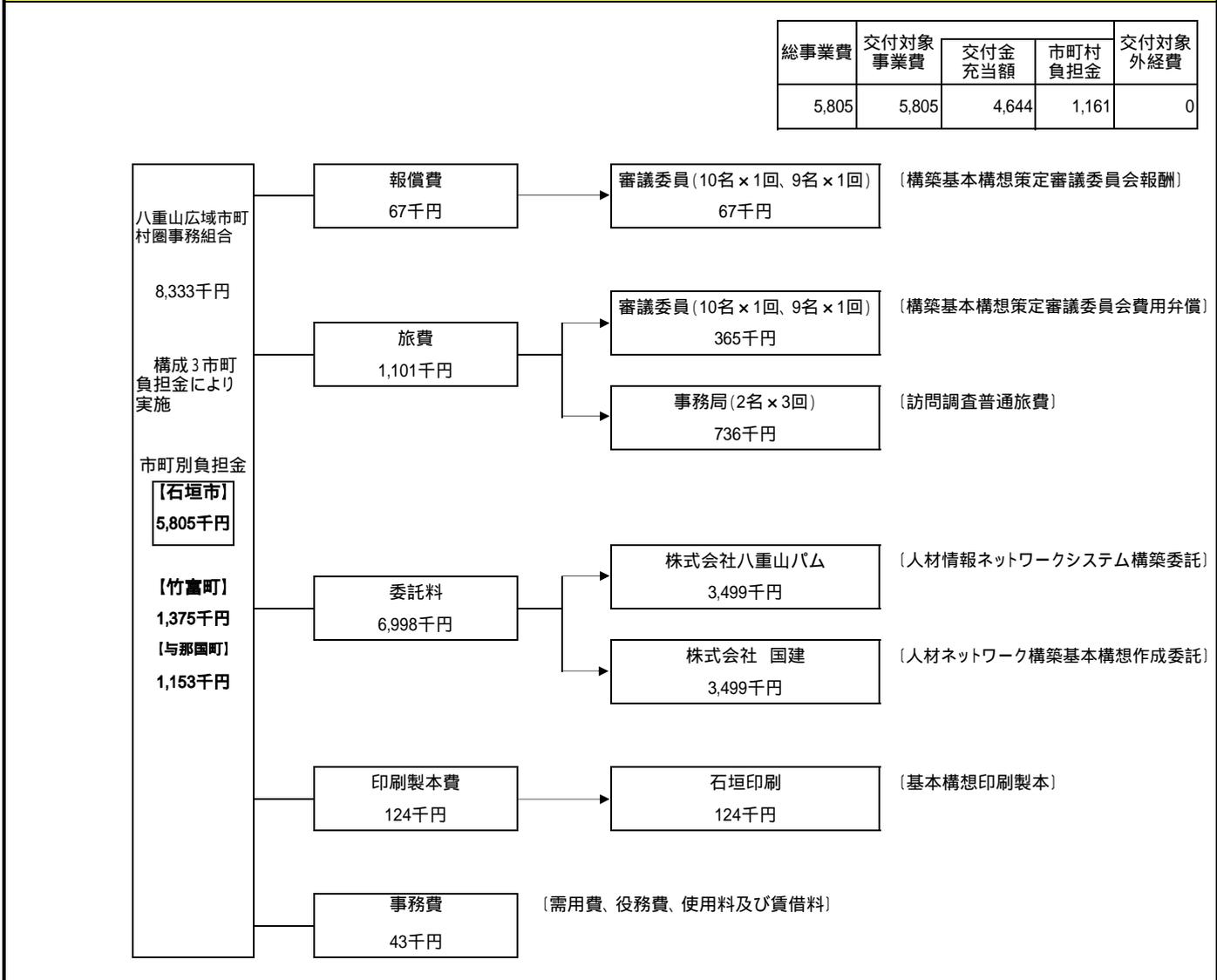
今後の取り組み方針

本事業の目的は「やいまびとぅネットワーク」の拡充強化だが、事業の推進としては今後とも八重山出身者も地元も一緒になって作りあげていくものだと考えている。

今事業で「人材情報ネットワークシステム」ができたので、それを活用し「やいまびとぅネットワーク」を拡充強化したい。具体的には郷友会や地元情報の持続的な発信や呼びかけにより、新たなやいまびとぅの取り組み、とくに若者の取り組みに努めたい。

そのうえで今後の展開として、やいまびとぅネットワークを通して、地元商品の物販事業促進、観光PR、文化交流、児童の交流などを通しての人材育成事業を推進していき、八重山圏域や郷友の方々の活性化につなげたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託業者は2社とも随契であるが1社はプロポーザルを実施し、もう1社は当事業内容により精通していることから妥当であると考え。</p> <p>執行額に減額があったもののほぼ適正規模だと考える。</p> <p>費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に必要なものと判断した。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	クルーズ船寄港誘致支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	石垣市建設部港湾課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	大型クルーズ船寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,230	6,000	6,000		
		(b)予算現額	14,230	6,000	6,000		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	14,230	6,000	6,000		
	B.執行済額	4,761	2,100	4,600			
	うち交付金充当額	3,809	1,680	3,680			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	33.5%	35.0%	76.7%			
予算の状況の説明	寄港回数が、4回から2回へ減となり、執行残の1,400千円については、負担金の減による不用である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	タグボート支援	目標	(2回)	(4回)	(4回)	()	
		実績	3回	2回	2回		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	大型クルーズ船寄港時に必要となる、大型タグボート備船料の支援を行った。支援回数の予定が2回減となった理由として、船社側による寄港のキャンセル申し入れと、対象客船が助成金交付要綱を満たしていなかった事による。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	大型クルーズ船の寄港回数	目標	()	(2回)	(4回)	(4回)	()
		実績			3回	2回	2回
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	大型クルーズ船寄港時に必要となる、大型タグボート備船料の支援を行った。支援回数の予定が2回減となった理由として、船社側によるキャンセルの申し入れと、対象客船が助成金交付要綱を満たしていなかった事による。今後、対象船舶は、H30年度の旅客船バースの完成に伴いさらに増加するものと考えられるため、引き続き誘致に向けて支援を行っていく。					

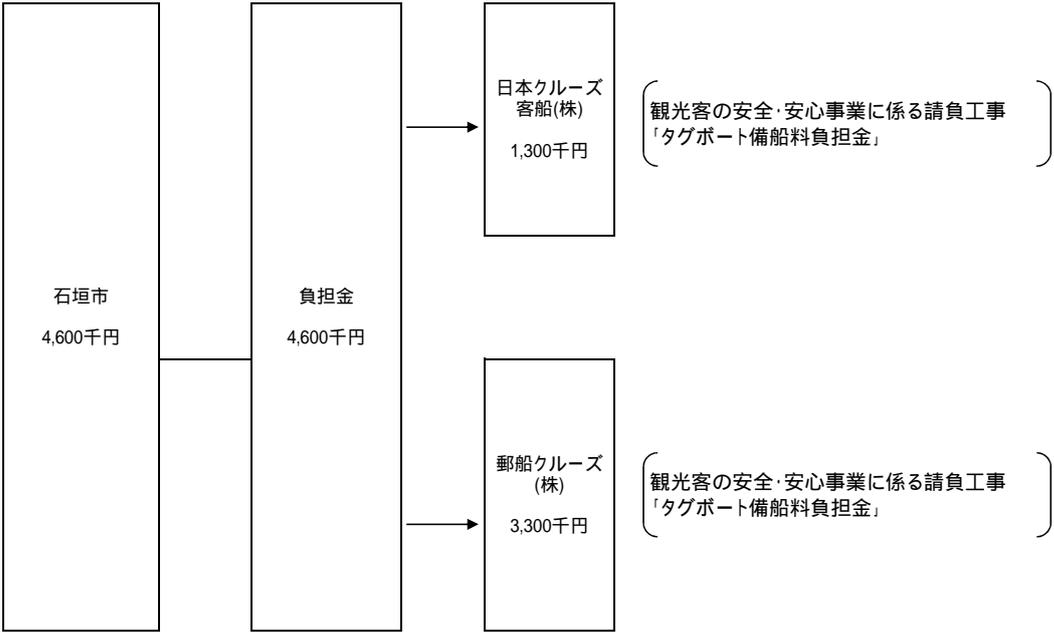
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>同事業は、11月～3月に石垣港へ寄港するクルーズ船に対し、オフシーズンのため高額となるタグボート経費の一部を助成する事により、本市へ訪れるクルーズ船及びクルーズ客の増加を図ることを目的とし、クルーズ船社からの寄港打診を基に予定回数を設定しているが、船社側によるキャンセルの申し入れ、対象客船が助成金交付要綱を満たしていない等、船社の都合、天候、岸壁の調整等により予定回数の変更があり得る。</p>	<p>寄港の判断は、予定日の直前で決定されることもあり、寄港予定回数を正確に予想する事は困難である。 また、外国船籍への支援については、事例収集等調査を行い、対象客船すべてにサービスを提供できるよう検討し、クルーズ振興の推進を図る。</p>

今後の取り組み方針

船社より打診があった場合、聞き取り及び旅程表等から情報を収集し、より正確な回数を設定する。
対象となる船舶・船社すべてにサービスを提供できるよう、事務手続きの体制を確立する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,600	4,600	3,680	920	0



資金の流 れ、費 目 ・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定は妥当である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については実績が下回り予算残が生じた。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者は5割を負担しており、負担関係は妥当である。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途は必要なものに限定されており適正である。

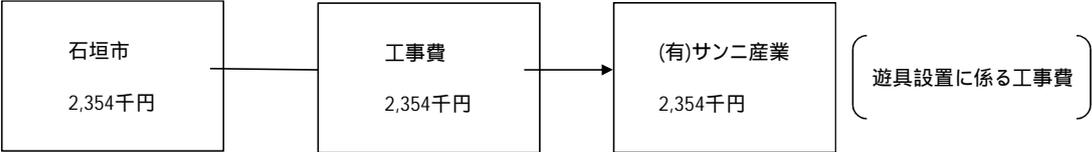
市町村名		石垣市										
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	2 - 美ら島ファミリーサポート整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ							
	担当部課名	農林水産部 水産課		事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備					
						-1-(1)						
事業内容		ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。										
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)		25年度		25年度(繰越)		26年度		
		(a)当初予算額	2,520	-	2,520	-	2,500	-	2,500	-	2,500	
	(b)予算現額	2,520	-	2,520	-	2,500	-	2,500	-	2,354		
	(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	0	-	0	-	146		
	(d)繰越額	-	-	2,520	-	-	-	1,543	-	0		
	A.計(b+d)	2,520	-	2,520	-	2,500	-	1,543	-	2,354		
	B.執行済額	0	-	2,319	-	957	-	1,505	-	2,354		
	うち交付金充当額	0	-	1,855	-	765	-	1,204	-	1,883		
	次年度繰越額	2,520	-	0	-	1,543	-	0	-	0		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	-	92.0%	-	38.3%	-	97.5%	-	100.0%		
予算の状況の説明		当初予算及び計画により、事業を実施した。執行残146千円は入札残である。										
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況									
			24年度		25年度		26年度		27年度			
	遊具施設の設置		目標	(2箇所)	(2箇所)	(2箇所)	()					
			実績	1箇所	1箇所	1箇所						
			目標	()	()	()	()					
			実績									
達成状況説明		オリジナル遊具を設置したが、小型遊具と比較し高額となるため、遊具の設置が1箇所となった。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)		24年度		25年度		26年度		目標値(年度)	
	遊具施設の設置完了		目標	()	(2箇所)	(2箇所)	(2箇所)	()				
			実績		1箇所	1箇所	1箇所					
			目標	()	()	()	()	()				
			実績									
	進捗状況説明		オリジナル遊具は、小型遊具や汎用の複合遊具に比べ高額となるが、既設遊具の種類、数、配置を考慮し、オリジナル遊具を設置した。これにより遊具施設の設置が1箇所となった。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>オリジナル遊具は汎用遊具と比較して高額となるため、予算の制約もあるが、より石垣らしさを演出できるものである。</p> <p>遊具を設置する位置や機能、規模について既存遊具を考慮し、慎重に検討する必要がある。</p>	<p>既存の小型遊具、中型遊具、オリジナル遊具と新たに設置した遊具の種類や数、配置等を踏まえ、事業対象2公園については、バランスよく整備できている。</p>

本事業については、ファミリーで訪れる観光客や地元の子どもたちに、石垣らしさを演出した遊び場提供のため公園整備を実施してきた。これまで供用した施設の活用状況を踏まえ、設置遊具の維持管理の保全につとめながら、利用者よりさらなる遊具の設置があれば、要望に応じていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,354	2,354	1,883	471	

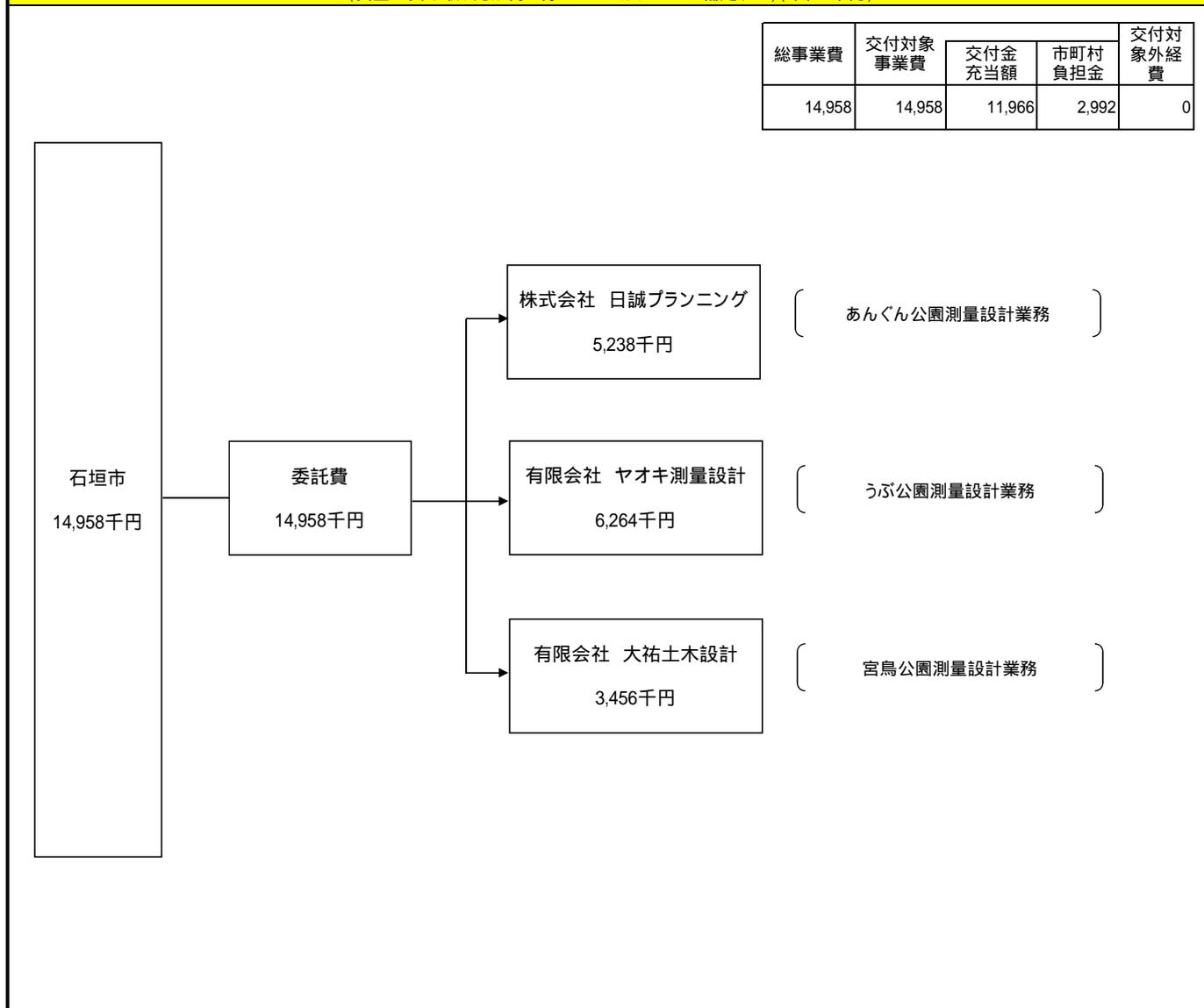


資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>工事請負契約にあたっては、指名競争入札により実施しており妥当である</p> <p>予算規模は、沖縄県の工事積算基準を採用しており適正である。</p> <p>漁港事業における補助対象外施設の整備を行っており適正である</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	亜熱帯都市公園整備促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり	
事業内容	街区公園の利活用を目的として、石垣特有の拝所を中心とした街区公園整備を行う。今年度は測量設計業務を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,000		20,000		
		(b)予算現額	4,735		15,000		
		(c)増減額(b-a)	265	0	5,000		
		(d)繰越額	-	4,735	0		
		A.計(b+d)	9,470	4,735	15,000		
	B.執行済額		0	4,735	14,958		
	うち交付金充当額		0	3,788	11,966		
	次年度繰越額		4,735	0	0		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	99.7%		
予算の状況の説明		委託業務の入札残により、5,000千円減額補正した。42千円の不用額についても委託業務の入札残によるものであり、計画している事業内容はすべて実施しており、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	街区公園3箇所の測量設計の実施(あんぐん・うぶ・宮島)	目標	(基本構想策定の実施)	(街区公園3箇所の測量設計の実施)	()	()	
		実績	基本構想策定の実施	街区公園3箇所の測量設計の実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	H25年度(繰越)事業で石垣市亜熱帯都市公園整備構想を策定。 H26年度事業で石垣市亜熱帯都市公園整備構想を基に、街区公園3箇所(あんぐん・うぶ・宮島)の測量設計業務を完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	測量設計完了	目標	(基本構想策定の実施)	(測量設計完了)		()	()
		実績	基本構想策定の実施	測量設計完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	石垣市亜熱帯都市公園整備構想を基に、街区公園3箇所(あんぐん・うぶ・宮島)の測量設計業務が完了した。成果設計報告書を基に、次年度以降に計画している用地取得・公園施設整備を展開していく。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>街区公園3箇所を平成25年度事業による石垣市亜熱帯都市公園整備構想の整備内容を反映させた測量設計を実施。</p> <p>地権者の公園整備への意向の確認及び測量設計により公園整備区域が確定したため、公園区域減少による都市計画変更及び都市計画法に基づく事業認可手続き、3公園の整備順序など公園施設整備を展開していく中で、諸手続、整備計画・年次事業費計画などの課題がある。</p>	<p>早期に公園整備が着手できるように都市計画変更と並行して事業認可手続きを行う。</p> <p>各公園の用地取得、工事費等の事業費を算出して、整備に関わる資金計画書を作成し、年次事業費計画の平準化を検討した上で、3公園の事業費割振り及び整備順序を決定していく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>H26年度で実施した測量設計の成果設計報告書を基に、3箇所の用地取得・公園施設整備に向けて事業を継続していく。 H27～H29 用地取得・公園施設整備</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託の業者選定は石垣市の指名登録している企業の中から、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>予算規模は3社見積もり、積算基準等により算出しており、適正であったと考えている。</p> <p>費目・用途については、公園整備のための測量設計業務に係る委託費であり、本事業目的に即し必要不可欠である。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2- イルカふれあい事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課		事業実施(予定)年度	平成26年度	観光客の受入体制の整備	
				沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)		
事業内容	「イルカふれあい事業」を誘致し、一緒に泳いだり、給餌したり、イルカによるセラピー等を行うことで冬場も含めた新たな観光メニューを構築し、観光誘客を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額			13,081		
		(b)予算現額			13,081		
		(c)増減額(b-a)			0		
		(d)繰越額			-		
		A.計(b+d)			13,081		
	B.執行済額				13,081		
	うち交付金充当額				10,464		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				100.0%		
予算の状況の説明		補助金の交付を行い、計画通りに執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生簀本体の設置	目標	()	()	(設置)	()	
		実績			設置		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	イルカふれあい事業を行う基盤として、生簀本体設置へ補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	生簀本体の設置完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	生簀本体機能として、シャワー室、更衣室、温調整及び仕切り網の設置を行い、イルカと一緒に泳いだりする観光メニューの受入環境を整備できた。					

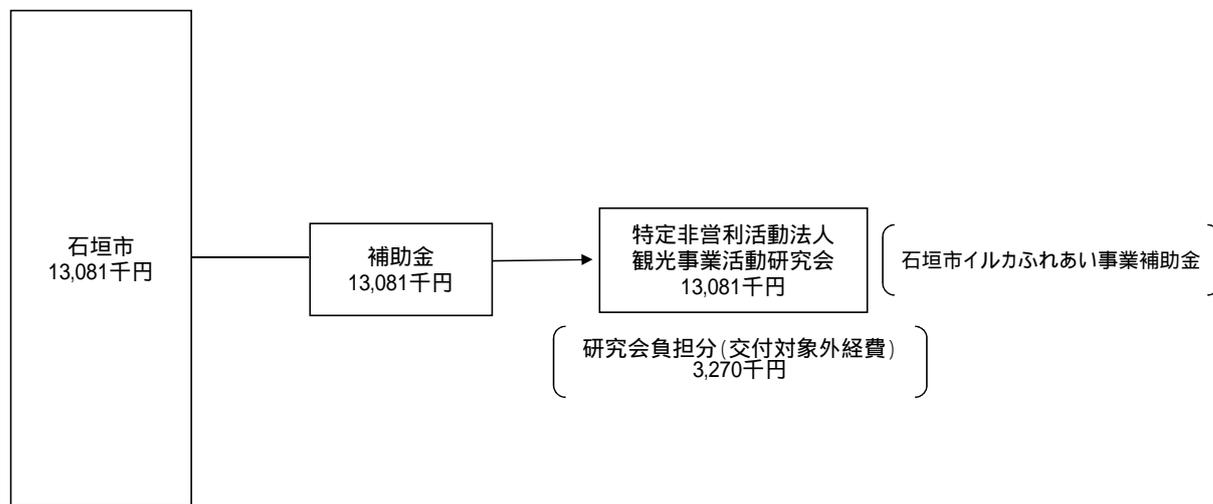
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本市の新しい海洋の観光資源の創出を図ることを目的にイルカとふれあえる施設誘致として補助を行った。イルカは生き物であり、水温の調整や健康管理に留意することが必要。台風時の対策も考慮して実施した。	今年度、整備したイルカふれあい施設の利用需要を高めるため、今後は観光資源として、観光誘客プロモーション事業などで施設の紹介などを行うていく。

今後の取り組み方針

イルカふれあい事業の推進を図るため、観光資源として誘客時に紹介などを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,351	13,081	10,464	2,617	3,270



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	補助金交付要綱を交付して、選定を行った。予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっている。 当該補助対象団体も自己資金を用いて行っている。計画した費目・使途に補助金が執行されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2- VERAアクセス道路安全安心推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-(ウ)		
	担当部課名	農林水産部 むらづくり課		事業実施(予定)年度	平成26~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備
						-1-(1)	
事業内容	本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路の整備を実施することにより、観光地としての安全・安心・快適を確保し、観光リゾート地の形成を目指す。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額			8,500		
		(b)予算現額			4,860		
		(c)増減額(b-a)			3,640		
		(d)繰越額			-		
		A.計(b+d)			4,860		
	B.執行済額				4,860		
	うち交付金充当額				3,888		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)				100%		
予算の状況の説明		当初予算に対し3,640千円減額の要因は、委託内容の見直しにより委託する作業項目を減らし、減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	実施設計(工事場所:石垣市名蔵)	目標	()	()	(実施設計完了)	()	
		実績			実施設計完了		
	建設工事(ボックスカルバート据付:L=18m)	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			未実施		
達成状況説明	本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路は、大雨発生後や台風通過後に一部の道路が陥没し通過することが困難になることが年間を通して何度もあるため、それを改善するため道路整備を実施することとした。H26年度は実施設計を、H27年度に工事を計画している。H26年度は実施設計を完了した。(H26年度成果目標の「建設工事」記載は誤り)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	実施設計完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	27年度の工事実施に向けて実施設計を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路において、道路を横断している排水管が老朽化しており、損壊による道路陥没の危険性が高い箇所がある。</p> <p>観光地としての安全・安心・快適を確保するため、平成26年度においてはアクセス道路整備のための実施設計委託業務を実施した。</p> <p>27年度に実施予定の工事については、工事期間中においても多くの観光客がVERAを訪れることが予想されるため、工事施行箇所での安全対策面及び環境衛生面での配慮、対策が必要となる。</p>	<p>工事実施時には、請負業者及びVERA観測所の職員と連携を図りながら安全面、環境面に十分配慮し工事を進めていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

27年度に工事実施予定。
 工事完了後は観光地としての安全・安心・快適を確保するため、定期的な現場巡回を実施し、施設の適切な維持管理に努める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,860	4,860	3,888	972	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 委託内容の見直しによる減額はあったが、適正な規模であった。 費目、用途については委託業務完了時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市									
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-		オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-(ア)					
	市民保健部 環境課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全					
担当部課名						-10-(1)					
事業内容	ここ数年大量に発生しているオニヒトデの駆除を継続して行い、漁業資源や観光資源でもあるサンゴ礁の保全に努める。										
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		(a)当初予算額	38,120	29,000	10,000						
	(b)予算現額	38,120	29,000	925							
	(c)増減額(b-a)	0	0	9,075							
	(d)繰越額	-	-	-							
	A.計(b+d)	38,120	29,000	925							
	B.執行済額	37,486	26,504	924							
	うち交付金充当額	29,988	21,203	739							
	次年度繰越額	0	0	0							
	執行率(%) (B/A)	98.3%	91.4%	99.9%							
予算の状況の説明	当初計画では、オニヒトデによるサンゴ食害が大きいとされる海域(事業対象海域)にてオニヒトデ駆除を行うため、ダイバーによる事業期間1,000回のダイブ作業量を計画した予算を計上したが、事業実施後調査等によりオニヒトデの生息数が激減していることが判明したため、計画していたダイブ作業量を大幅に削減した。										
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況								
			24年度		25年度		26年度		27年度		
	オニヒトデの駆除		目標	(60,000匹)	(3,456ダイブ)	(実施)	()				
			実績	44,534匹	3,456ダイブ	18ダイブ					
			目標	()	()	()	()				
			実績								
達成状況説明	当初計画では、オニヒトデによるサンゴ食害が大きいとされる海域(事業対象海域)にてオニヒトデ駆除を行うため、ダイバーによる事業期間1,000回のダイブを予定していたが、調査等によりオニヒトデの生息数が激減していることが判明した。そのため、予定したダイブ作業量を大幅に削減した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)				
	1,000ダイブ		目標	()	(60,000匹)	(3,456ダイブ)	(1,000ダイブ)	()			
			実績		44,534匹	3,456ダイブ	18ダイブ				
			目標	()	()	()	()	()			
			実績								
	進捗状況説明	平成24年度よりオニヒトデのサンゴ食害が大きいとされる海域においてオニヒトデ駆除によるサンゴ礁保全対策事業を行ってきた。平成24年度には、44,534匹のオニヒトデが駆除されたが、平成26年度、同海域にて実施したオニヒトデ駆除作業では、10匹のオニヒトデ駆除となっている。オニヒトデの生息数が大幅に減少している。									

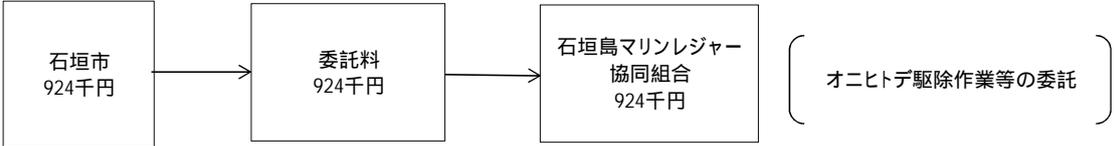
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○事業実施の背景として、石垣市の水産資源、観光資源等として貴重なサンゴ礁をオニヒトデの食害から保全する必要があった。</p> <p>○事業を実施するにあたり、海中におけるオニヒトデ駆除作業には、オニヒトデやサンゴの生態に関する知識等高い専門性が求められた。</p> <p>○现阶段ではオニヒトデ駆除の成果があがっているものの、サンゴ礁海域におけるサンゴへの環境問題は、オニヒトデの食害のみならず、生活排水、耕土流出、水温上昇による白化の影響等複雑・深刻であるため、今後も保全対策を検討する必要がある。</p>	<p>○サンゴ礁保全に関わる組織として、石西礁湖自然再生協議会がある。協議会のなかで、オニヒトデによるサンゴ食害に関する情報や、その他サンゴ礁保全に関する情報を適時共有し、役割等を連携しながら、サンゴ礁保全に努める。</p>

今後の取り組み方針

○石西礁湖自然再生協議会等関係団体と連携し、オニヒトデによるサンゴ食害等サンゴ礁保全に関する情報を共有し、サンゴ礁保全対策に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
924	924	739	185	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託先は指名競争入札による選定している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	オニヒトデ生息数減により当初計画より予算減となっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	駆除に係る人件費等必要経費のみの支出となっている。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

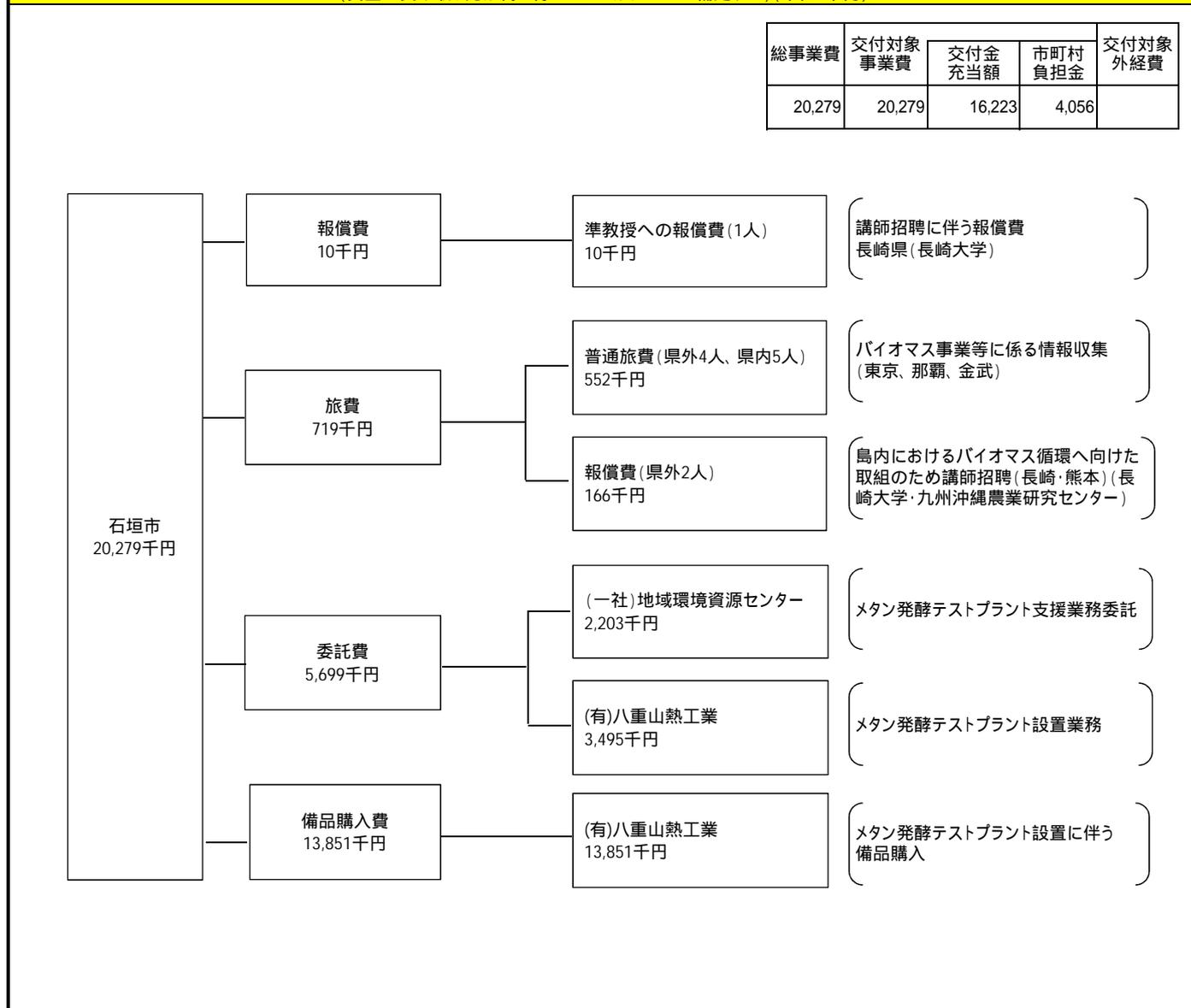
市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-		石垣市資源循環アイランド推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ		
	担当部課名	農林水産部 農政経済課		事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	グリーンエネルギーの推進	
					-10-(1)			
事業内容	「石垣市資源循環産業都市構想(仮想)」を検討し、石垣市内外の産官学連携を一層強化することで、循環の島の構築と環境と調和した農業確立を目指す。そのため、地域のバイオマス資源を活用したメタン発酵の実証試験を実施するためテストプラントを整備し、新たな産業(雇用)の創出、地域の活性化、循環石垣島プラントの確立を図る。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			9,522	12,500		
		(b)予算現額			9,449	21,972		
		(c)増減額(b-a)		0	73	9,472		
		(d)繰越額		-	0	0		
		A.計(b+d)		0	9,449	21,972		
	B.執行済額				8,355	20,279		
	うち交付金充当額				6,684	16,223		
	次年度繰越額					0		
	執行率(%) (B/A)				88.4%	92.3%		
予算の状況の説明		計画の前倒しに伴い、予算を増額した。不用額については、当初計画していた先進地視察について、視察者、視察先等について調整がなかった。また、テストプラント製作については、備品購入費を精査したことに伴い事業費の減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	「石垣市資源循環産業都市構想(仮想)」の検討(メタン発酵テストプラントの整備)	目標	()	()	(テストプラントの整備)	()		
		実績			テストプラントの整備			
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	液肥供給体制の構築へ向けた、メタン発酵テストプラントの整備							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	液肥の供給体制の構築	目標	()	()	()	(実施)	()	
		実績				テストプラントの整備		
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	これまでメタン発酵消化液肥を利用した営農はないため、メタン発酵テストプラントを設置により、液肥供給体制の構築が図れた。次年度より、テストプラントで作られる液肥を利用し、さとうきび、草地での実証試験を行っていく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>実機導入には事業費が高く、また原料等を集める入口部分、メタン発酵消化液肥の利用の出口部分において、原料回収や、液肥利用等において様々な課題がある。</p> <p>また関係機関との連携やメタン発酵施設導入へ向けては、役所内部や沖縄県との調整等もあるが情報共有の構築方法に課題がある。</p> <p>今回の取組みについては、実機導入へ向けた機種種の選定や修繕において地元で全てをできることが可能か検証する。</p>	<p>メタン発酵テストプラントを活用して、実機導入時等に際し想定されることを解決していく。</p> <p>石垣市バイオマス推進協議会や同ワーキンググループを定期的に開催し、関係機関等と情報の共有を行っていく。</p> <p>実機メタン発酵施設を導入するには、大手の企業等の参入を想定しているため、施設の修繕については、地元業者が対応できるように技術者の育成も考えていかなければならない。</p>

今後の取り組み方針

「石垣市資源循環産業都市(仮想)」の策定をめざす
メタン発酵テストプラントの性能調査を行うことで、より安価な実機メタン発酵プラントづくりの基礎資料の把握
島内における循環型農業の確立へ向けた基礎資料の把握
最適な生ゴミ収集方法の基礎資料の把握

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託費は随意契約だが、事業内容が各専門知識を熟知し、技術者が確保されており、性質及び目的が競争入札に適しない事業であるため妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	備品購入費は随意契約だが、島内で取り扱っている業者は1社のみであったことから、性質及び目的が競争入札に適しない事業であるため妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目等について事業達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した結果適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-	尖閣諸島自然環境基礎調査事業	平成26年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(1)-(ア)
				沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全
担当部課名	企画部 企画政策課	事業実施(予定)年度	平成26年度		-10-(1)

事業内容
 絶海の孤島である尖閣諸島の貴重で固有な野生生物等の生態系ならびに自然環境保護の観点など、今後これらを検討していくために資料収集等の基礎調査を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a)当初予算額			34,560
	(b)予算現額			34,560		
	(c)増減額(b-a)		0	0		
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)		0	0	34,560	
	B.執行済額				34,085	
	うち交付金充当額				27,267	
	次年度繰越額		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)				98.6%	
	予算の状況の説明	不用額475千円については、委託の発注残や、事業委託業務であった航空機による画像・映像撮影調査がとりやめとなったことによる事業費減額によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
既存資料の収集	目標	()	()	(既存資料の収集)	()
	実績			既存資料の収集	
航空機による画像等撮影	目標	()	()	(航空機による画像等撮影)	()
	実績			航空機による画像等撮影のとりやめ	
データベース作成	目標	()	()	(データベース作成)	()
	実績			データベース作成	
ビデオ、ジオラマ作成	目標	()	()	(ビデオ、ジオラマ作成)	()
	実績			ビデオ、ジオラマ作成	
報告書作成	目標	()	()	(報告書作成)	()
	実績			報告書作成	
達成状況説明	既存資料の収集においては、尖閣諸島及び周辺海域の歴史、文化、自然環境、漁業等に関する既存資料等を主に収集し整理した。この資料や衛星画像調査のデータをもとに、尖閣諸島情報のマッピングを行い、データベース化した。また、尖閣諸島の現状について多くの方に知ってもらうため、周知ビデオやパンフレット(いずれも多言語化)を作成した。航空機による画像等撮影については、尖閣諸島の主要島が国有地であることから、国との調整をしてきたが、予想以上に長引いたことや昨今の国際情勢を考慮し、本事業の年度内執行を行うべく、今回はとりやめとなった。				

H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		既存資料の収集の完了	目標	()	()	()
	実績				既存資料の収集の完了	
航空機による画像等撮影の完了	目標	()	()	()	(航空機による画像等撮影の完了)	()
	実績				航空機による画像等撮影のとりやめ	

成果目標 (指標) 及び進捗状況	データベース作成の完了	目標	()	()	()	データベース作成の完了	()
		実績	/				データベース作成の完了
	ビデオ、ジオラマ作成の完了	目標	()	()	()	ビデオ、ジオラマ作成の完了	()
		実績	/				ビデオ、ジオラマ作成の完了
	報告書作成の完了	目標	()	()	()	報告書作成の完了	()
		実績	/				報告書作成の完了
進捗状況説明	<p>既存資料の収集、データベース作成、ビデオ・ジオラマの作成等いずれも当初の成果目標を完了した。また、この成果品の内容について効果を測るため、本市にて制定されている「尖閣諸島開拓の日」記念式典の開催に併せて展示展を開催した(5日間)。その間、来場者には見学前と見学後にアンケート調査を行い尖閣諸島に対する認識度を測った。アンケート調査には、尖閣諸島の位置、歴史、自然環境、現状の4つの項目を設定した。その結果、見学前は全ての項目において40%以上が「全く知らない」、「詳しく知らない」と回答していたのに対し、見学後は各項目とも90%以上が「分かった」、「詳しくわかった」と回答しており、特に本事業にて重要としていた自然環境については、約98%の認識度向上が見られた。これら内容については、報告書にもまとめられている。航空機による画像等撮影については、前述のとおり国との調整が長引いたことや、国際情勢に配慮し、今回はとりやめとした。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>尖閣諸島は絶海の孤島であるが故に、固有の動植物が多く存在している。これらは非常に貴重であり、世界に誇れる生物多様性と自然環境ではあるが、人為的に持ち込まれたヤギの爆発的な自然増殖により大きな食害を被り、その結果、島が裸地化し土砂崩れによる島の崩壊が始まっている。このことから、一刻も早く周辺海域を含めた自然環境を保護する必要がある。しかしながら、石垣市は尖閣諸島の行政区でありながら、地理的状況や所有者による管理上の理由から基礎資料を保有していなかった。今後、自然環境を検討する際の基礎資料を整備するとともに、尖閣諸島の現状を多くの方に知ってもらうツールを作成し、尖閣諸島の自然保護の重要性を理解してもらうという課題があった。</p>	<p>既存資料を中心に尖閣諸島の過去と現在を比較すると、島の裸地化が拡大している様子が確認できた。また、今回の調査では確認することができなかったが、今後は自然環境という観点から漂着ゴミの有無についても調査する必要がある。また、尖閣諸島の資料が、いつでも閲覧できるような場所が無いことが、正しい知識の伝達不足や認識度を低迷させる要因の一つでもあったと考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今回の事業の取り組みは、平成25年3月に策定した「石垣市海洋基本計画」の実行に位置付けられるものであるため、周辺海域を含めた自然環境の保護が強く求められる。これらについては今後も引き続き、関係機関と調整を行っていく。また、周辺海域での安心・安全な漁業活動の推進のため、気象・海象観測施設、灯台、無線施設、避難港など自然環境に影響を及ぼさないインフラの整備、そして資料館の建設を国に訴えていき、多くの方に尖閣諸島についての正しい知識の共有と、理解を深めていく。</p>		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,085	34,085	27,267	6,818	0
石垣市 34,085千円	委託料 34,085千円	株式会社水圏科学コンサルタント 沖縄支店 34,085千円		
<p>事業委託 ・既存資料調査 ・衛星画像調査 ・尖閣諸島情報マッピング調査 ・尖閣諸島周知ビデオ、資料、ジオラマ、展示パネルの作成 ・認識度アンケート調査</p>				

資金の流 れ、 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募によるプロポーザル方式にて随意契約を行っており、妥当であったと考える。不用額は約1.4%であり適正規模であったと考える。自然環境調査による委託業務であるため受益者なし。本事業の目的を達するべく、委託事業者とは必要に応じて適宜調整をしており、適正に執行されていると考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3- 野生動植物保全種及び保全地域等指定検討事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(1)-(ア)		
	市民保健部環境課		事業実施(予定)年度 平成26年度		生物多様性の保全		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-10-(1)		
事業内容	島内に生息する野生動植物の保全を図るため、石垣市自然環境保全条例に基づく保全種及び保全地域等の指定について検討する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額			9,859		
		(b)予算現額			5,723		
		(c)増減額(b-a)			4,136		
		(d)繰越額			-		
		A.計(b+d)			5,723		
	B.執行済額				5,687		
	うち交付金充当額				4,549		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				99.4%		
予算の状況の説明		当初予算は、現地調査を予定していたが、現地調査を行わず既存資料・データによる調査に計画を変更したため、最終予算額との差がある。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	保全地域の指定について調査検討	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			審議会開催4回		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	石垣市自然環境保全条例に基づく保全種及び保護地区指定の検討のため、島内に生息する野生動植物の情報を整理した。保全種の指定を検討するため、特に生物の希少性に着目し、環境省レッドリスト及び沖縄県レッドデータブック等を参考に情報整理を行った。整理した情報を基に石垣市自然環境保全審議会のなかで審議し、保全種及び保護地区の指定について調査検討を行った。審議会は全4回開催したほか、大学機関等の専門家へのヒアリング、パブリックコメントを実施し、慎重に検討を重ねた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	保全地域の指定について調査検討完了	目標	(100%)	(実施)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	石垣市自然環境保全条例に基づく保全種及び保護地区の指定について、4回の審議会を開催し検討を重ねた。検討した結果は3月に市長へ答申した。平成27年5月1日付け条例に基づく保全種及び保護地区が施行された。現在、チラシ配布や看板設置等を行い、市民・観光客へ周知を図り、島内野生動植物の保全を呼びかけている。					

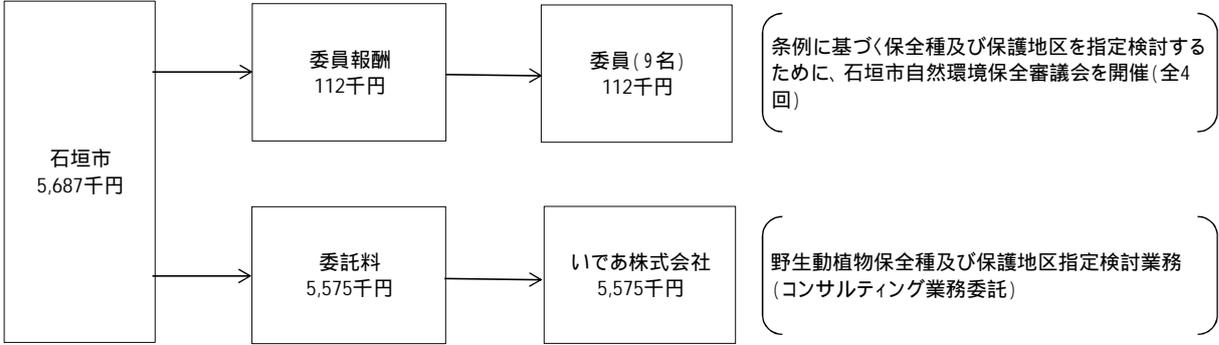
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○事業実施の背景として、島内に生息する野生動植物のうち特に希少性の高い生物に対する乱獲等の影響が懸念されていた。</p> <p>○事業実施における課題として、指定する保全種の選定、保護地区の範囲について、高い専門性が求められた。</p> <p>○今後の課題として、市民や観光客に対する、保全種に係る規制行為や保護地区の範囲についての周知や島内の生態系保全に関する啓発の推進を検討する必要がある。また、今後は、社会条件に応じた保全種や保護地区範囲の見直しを含め、新たな保全種指定等について検討する必要がある。</p>	<p>○指定された保全種、保護地区範囲の定期的な見直しの実施</p> <p>○関係行政機関や市民ボランティアとの連携による情報共有と市民・観光客への周知及び啓発活動の実施</p>

今後の取り組み方針

保全種の種類やその規制内容及び保護地区の範囲等について、市民・観光客に周知を図る。周知活動については、チラシ、ポスター、看板、広報誌等、様々な媒体を活用し、広く呼びかけるように努める。
 指定された保全種や保護地区の範囲の見直し、また、新たな保全種等の調査等を適時行っていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,687	5,687	4,549	1,138	0



資金の流、費目、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託先については指名競争入札により選定している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	島内を対象とした条例に基づく保全種・保護地区指定の検討業務であるため、予算規模は相当。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	支出は事業目的に沿ったものに限定している。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	ものづくり・マーケティング総合支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部署名	企画部商工振興課		事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 -1-(7)	
事業内容	製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行うとともにバイヤーマッチング事業や商談会を企画する。また、出展者に対して、必要な助成をする。共同加工施設整備については、調査に基づく基本方針作成に取り組む。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,677	9,409	21,986		
		(b)予算現額	5,620	9,409	20,990		
		(c)増減額(b-a)	4,057	0	996		
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	5,620	9,409	20,990		
	B.執行済額		5,597	5,164	20,300		
	うち交付金充当額		4,477	4,131	16,239		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.6%	54.9%	96.7%		
予算の状況の説明		平成26年度ものづくり・マーケティング総合支援事業は、(1)物産展事業[金沢・台北](2)共同加工施設整備検討基本計画策定(3)新特産品開発事業(4)石垣市海外物流実態調査事業などを実施した。概ね見込みどおりの予算状況となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	(1)販路拡大・マーケティング商談会・物産展の開催(国内外)	目標	(富山物産展開催)	(実施)	()	()	
		実績	富山物産展開催	台北、金沢物産展開催			
	(2)加工施設基本方針策定	目標	()	(策定)	()	()	
		実績		策定			
達成状況説明		平成26年度の物産展出展支援事業では、株式会社金沢倶楽部及びimagiaと委託契約を交わし、石川県金沢市において観光部門と連携した観光物産展を開催した。平成27年2月20日から22日までの3日間金沢市内でメディアキャラバン及び物産展を開催した。また台湾・台北市内において食の博覧会「FOOD TAIPEI」に出展し物産のPRを行った。共同加工施設については、今年度委託契約により基本計画の策定を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	(1)販路拡大・マーケティング商談会・物産展の開催(国内外)	目標	()	(開催)	()	()	()
		実績		開催			
	(2)加工施設加工施設の基本方針策定完了	目標	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
	進捗状況説明		金沢市における物産展は、前年度までの富山市開催に続き北陸における特産品PR及び販路拡大事業の一環として実施した。平成26年度は現地側の各種調整、メディア向け広報などのコーディネート、会場管理者とのやりとり等を株式会社金沢倶楽部へ、石垣側での物販用特産品の手配、伝統芸能やミュージシャンなど芸能団との調整、現地イベントのシナリオ作りなどをimagiaへそれぞれ委託して実施した。2社に委託することで、現地・地元双方で準備が同時進行できるため効果的な実施に繋げることができた。台北でのPRに関しては、海外における特産品PR及び販路拡大事業の足掛かりとして、単独の物産展ではなく、多くの人の目に触れる博覧会への出展を決めた。当面はこのような取り組みで認知度を上げ、商談等につなげていきたい。共同加工施設の整備に関しては、基本方針及び基本計画を策定した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>金沢における物産展事業については、地元側と現地側で分割委託したことにより、タイムリーな調整等がスムーズに行われたため、円滑で効率的な事業の実施に効果があったと評価できる。</p> <p>台北でのPRは、取り組み初年度ということもあり手探りの状況ではあったが、現地で商談等も行われたため一定の効果はあったと考える。</p>	<p>今回は金沢初年度ということもあり小規模での開催となったが、平成27年度からは徐々に規模を大きくしていく予定であるため、販路拡大及び特産品企画販売等に特化した第3セクターの石垣市経済振興公社との連携も必要になってくる。</p> <p>台湾内で日本の食及び物産に対し、流入の制限など厳しい対応が出てきているので今後も本市台北駐在員などと連携しながら台湾への展開を進めていきたい。</p>

今後の取り組み方針

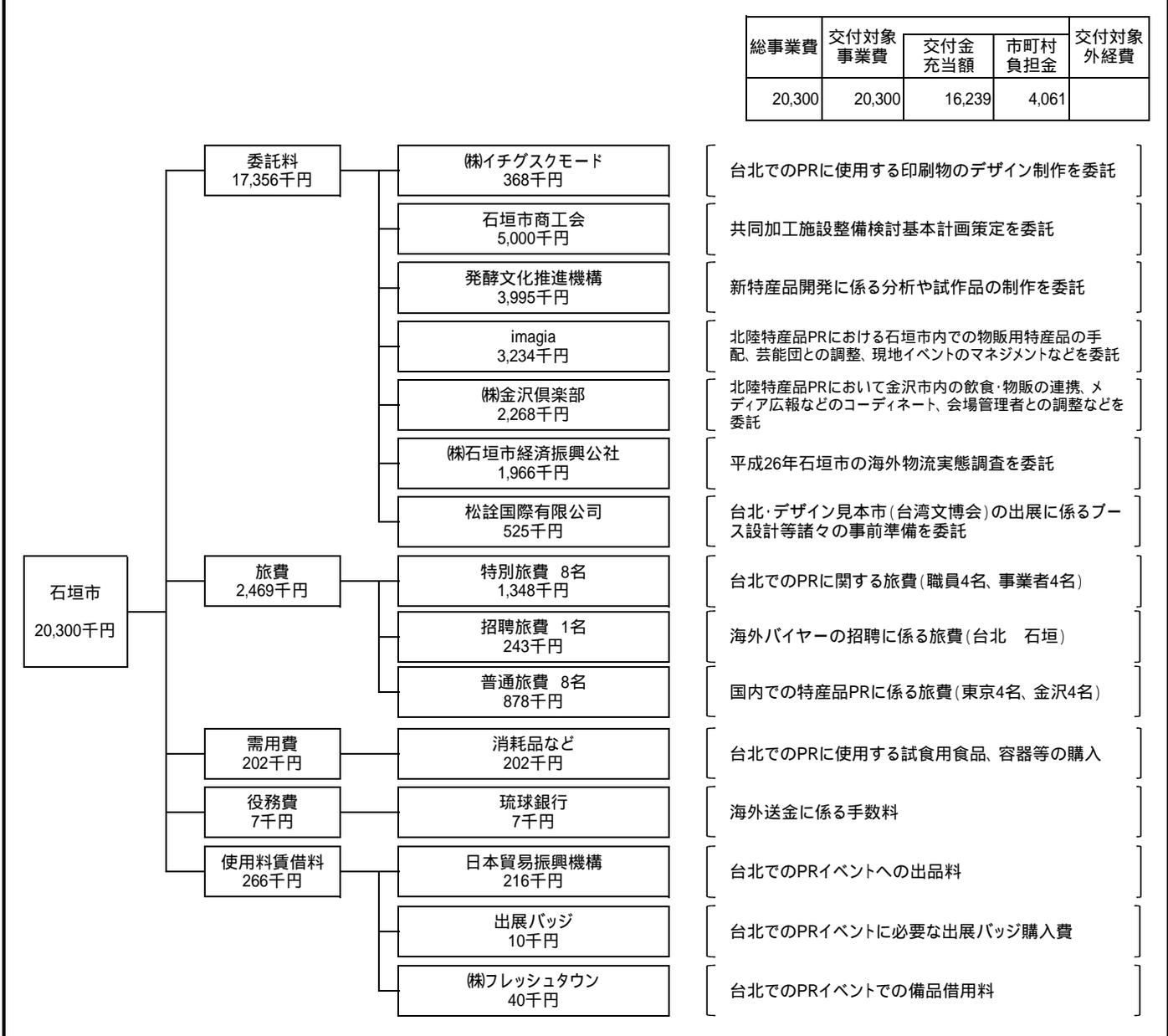
販路拡大・マーケティング関係では、概ね3年間(H26～28年度)金沢市での物産展開催を継続して行く。海外での物産PRにおいても博覧会や見本市に出展しながら単独の物産展開催の可能性も探っていく。

加工施設については、策定した基本計画に則って島産パインアップルの一次加工品をつくる加工施設の実証実験を進めていく。

新特産品開発に関しては、試作品の中から3アイテムを選択し、仕入れから製造まで石垣島内で完結できる仕組みづくりを検証し販売までつなげたい。

総合的にものづくり産業を支援する本スキームは今後も必要であり、よりレベルアップした内容となるよう工夫を凝らし、次年度以降も継続していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 用、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>物産展事業、共同加工施設整備検討基本計画策定業務、新特産品開発事業、石垣市海外物流実態調査事業に関してはいずれも「随意契約」を行ったが、事業の性格と内容を鑑みると妥当であったと言える。</p> <p>事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4- 就業支援マッチング事業・人材育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3-(10)-ウ
担当部課名	企画部商工振興課	事業実施(予定)年度 平成24～26年度	職業能力の開発
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(7)

事業内容 特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的にはセミナーや講習会等を実施する。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	39,990		3,480	4,738
(b)予算現額	35,056			2,010	4,738	
(c)増減額(b-a)	4,934		0	1,470	0	
(d)繰越額	-		20,751			
A.計(b+d)	35,056		20,751	2,010	4,738	
B.執行済額	14,305		19,117	459	1,926	
うち交付金充当額	11,444		15,293	367	1,540	
次年度繰越額	20,751		0	0	0	
執行率(%) (B/A)	40.8%		92.1%	22.8%	40.7%	
予算の状況の説明	不用額については、特産品開発セミナーでは、在東京の講師を起用した複数回のシリーズのセミナー開催を予定し予算措置を行ったが、私事都合により日程調整が不良となり実施できなかった。八重山上布では、実施した事業以外に予定していた上級者向けのセミナー開催について、予定講師との日程調整が不良となり実施できなかった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
特産品開発セミナーの実施	目標	(各種セミナー等の開催)	(各種セミナー等の開催)	(各種セミナー等の実施)	()
	実績	各種セミナー等の開催	各種セミナー等の開催	各種セミナー等の実施	
工芸品(やきもの)技術者の人材育成	目標	(開催)	(開催)	(実施)	()
	実績	開催	開催	やきもの講座の開催	
伝統工芸品(八重山上布)の技術者人材育成(セミナー学習会の実施)	目標	(開催)	(開催)	(セミナー学習会の実施)	()
	実績	開催	開催	セミナー学習会の実施	
達成状況説明	「特産品開発セミナー」では特産開発とイメージ戦略、バイヤーの商品採用の流れ、食品の法律・表示、賞味期限の設定手法、日台企業戦略、産業協力架け橋プロジェクトなど台湾でのビジネスチャンス等についての講座を実施した。「やきもの講座」については、石垣島の坏土を使った製陶技術及び製作事例、陶磁器製品欠点防止法についてのセミナーを開催した。「八重山上布技術者育成講習会」に関しては市民を対象に苧麻糸の手續講習会を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
			特産品開発セミナーの実施	目標	(0人)	()
	実績				49人参加	
やきもの技術者人材育成によるやきもの振興	目標	(0人)	(1人)	(3人)	(実施)	()
	実績		1人	18人	40人参加	
八重山上布技術者人材育成事業の実施により新たな人材が輩出	目標	(0人)	()	()	(実施)	()
	実績				15人参加	
【参考指標】八重山上布技術者育成事業服地作成に至った参加者	目標	(0人)	(3人)	(3人)	(3人)	(3)
	実績		3人	3人	3人	
【参考指標】セミナー受講後、新商品開発等を行った事業者数	目標	(0人)	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)
	実績		0人	3人	2人	
【参考指標】やきもの祭り出店事業者数	目標	(0人)	(0人)	(15人)	(17人)	(18)
	実績		0人	17人	17人	
進捗状況説明	特産品開発セミナーについては、テーマにより多少のばらつきはあったものの地元の生産者や特産品加工業者を中心に多数の来場があり、目標どおりの事業実施につなげられた。やきもの講座については、石垣島産の坏土を使用した技術、製作例などを専門的な見地から具体的かつ実地的に開催できた。また今年度初の試みで沖縄本島のやきもの事業従事者等をまわり新たな知識や技法を身に付けることができた。八重山上布技術者育成講習会では、上布の原料となる苧麻糸の手續講習会を開催したことで、技術の周知及び底辺の拡大に効果があった。					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>特産品開発については、参加者のほとんどが生産や製造に携わる市民ではあるが、開発(商品化)には一定の期間と費用がかかるため、本事業においてはセミナーを通して必要なスキルやノウハウを身に付けることを目的とし、参加者数を指標としている。</p> <p>八重山上布技術者育成は、国の伝統的工芸品に指定される織物技術の伝承を主とした産業全体の底上げを狙いとしている。今回の講習会には若い世代の参加もあったが、より増やしていけるようにしたい。</p>	<p>講習やセミナーの具体的な目的、到達点の設定を再考し、的確な対象者に対する的確な時期に事業を実施していきたい。</p> <p>対象者に確実に届くような広報の方法なども考えていかなければならない。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>人材育成事業は息の長い取り組みが必要であるとの認識から、次年度以降も継続していきたい。</p> <p>今後は、ものづくり・マーケティング事業の一環として八重山上布及び石垣島の坏土を使用したやきもの人材育成事業を実施していく。</p>		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,926</td> <td>1,926</td> <td>1,540</td> <td>386</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,926	1,926	1,540	386		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,926	1,926	1,540	386											
石垣市 1,926千円	報償費 76千円	講師謝礼 6名 76千円	[やきもの技術者講習2名、特産品開発セミナー4名の講師謝礼]											
	旅費 854千円	講師旅費 6名 394千円	[上記講師の旅費]											
		やきもの技術者育成事業旅費 460千円	[沖縄本島での視察研修(職員1名、事業者14名)の旅費]											
	広告料 156千円	八重山毎日新聞、八重山日報 156千円	[特産品開発セミナー開催告知広告出稿料]											
	原材料費 3千円	大浜工房 3千円	[やきもの技術者講習にて使用する坏土の購入]											
委託料 837千円	石垣市織物事業協同組合 837千円	[市民向け苧麻糸手織技術者養成業務を委託]												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法は、地方自治法や石垣市財務規則等、法令に従い適正に行えた。 予算規模については、当初予定していた事業実施ができなかったことにより執行率が下がり不用額を計上してしまったため、事前の講師等との日程調整を綿密に行なわなければならない。 費目、使途は事業目的に即し必要なものに限定されていた。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ	
担当部課名	企画部商工振興課		事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 -1-(7)
事業内容	石垣市商工会、まちづくり会社をはじめとする民間まちづくり組織等を交えて、実施する事業を具体的にリストアップし、行政計画(アクションプラン)に位置付ける。また、事業の企画、調整、実施管理等の業務を行うマネジメント体制の構築を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,054	2,100	10,000		
		(b)予算現額	3,152	1,995	10,000		
		(c)増減額(b-a)	902	105	0		
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,152	1,995	10,000		
	B.執行済額		2,555	1,995	9,972		
	うち交付金充当額		2,043	1,596	7,977		
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		81.1%	100.0%	99.7%		
予算の状況の説明		本事業の平成26年度予算は、商店街及び中心市街地活性化並びに商業振興に資する「商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)」の策定に充てることとしており、策定に係る委託料を予算計上し当初の予定通り執行することが出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定	目標	()	(商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定)	(商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定)	()	
		実績		基本コンセプト並びにまちづくりビジョン策定	策定		
	「市民と観光客が[異日常]を楽しめるまち」を基本方針として検討「行政主導プロジェクト」「民間関与型プロジェクト」の検討	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
達成状況説明	今年度委託事業により、「石垣まちなか活性化戦略計画」を策定することができた。今後はこの計画を基に商業地及び中心市街地の活性化を推進していく。この計画を推進するために、方針の検討・民間関与型のプロジェクトを検討した。リーディングプロジェクトとして「(仮称)八重山フレッシュマーケット」を検討し、その実証実験として「やいま石垣さんばしマーケット」の実施を計画した。「やいま石垣さんばしマーケット」についてはH27年度に実施する予定である。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	商業地及び中心市街地活性化計画(仮称)策定の完了	目標	()	()	(策定)	(策定完了)	()
		実績			未策定	策定完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成26年度の目標であった商業地及び中心市街地活性化計画「石垣まちなか活性化戦略計画」の策定を行った。						

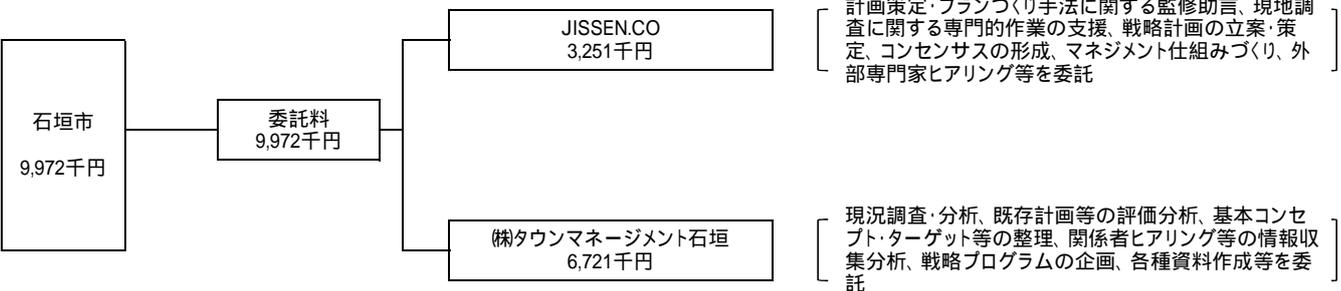
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>平成25年の新空港開港の効果もあり観光客数は好調に推移しているものの人口減少や外部環境の変化などの影響を受けて減少することも想定しなければならない。</p> <p>他の観光商業地との差別化を図るためにも中心商業地及びまちなかにおける観光、商業活性化、都市環境整備等に関わる施策を網羅した行政計画が必要であった。</p> <p>本事業の実施に際しては本市のまちづくり会社であるタウンマネジメント石垣及び全体的なプロデュースを行うJISSEN.COに委託を行った。</p> <p>関係各課の持つ各種計画や過去5年及び向う5年程度の実施事業(予定)を把握したが、より詳細な事業の掘り起しについては引き続き実施していくことになる。</p>	<p>本事業の目的は、まちなか活性化戦略計画の策定にあるのではなく計画の確実な推進にある。</p> <p>平成27年度からは計画中のリーディング事業を推進していくが、商店街及び中心市街地の活性化においては、各課の実施予定事業の把握にとどまらずプロデュース機能としての提案なども実施していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

策定された計画を基に、マネジメント体制が機能し、まちの活性化につながる諸活動が実際に行われるかがこれからの正念場。石垣市まちなかの活性化の新時代の幕開けととらえ、よりレベルアップした内容にしなければならないので、リーディング事業である「(仮称)八重山フレッシュマーケット」の実証実験「やいま石垣さんばしマーケット」や「公設市場リニューアル」を中心とした事業を次年度以降も継続していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
9,972	9,972	7,977	1,995	



資金の流、費目、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>本市のまちづくり会社であるタウンマネジメント石垣とプロデュースを行うJISSEN.COと随意契約を締結した。本事業の趣旨目的に照らしまちづくり事業の実績等を考慮した結果であり適当な委託であると判断できる。</p> <p>事業に要した経費は当初見積どおりであり適正であった。すべての科目において直接実施のため受益者負担はない。費目、使途ともに実施事業に必要な範囲に限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4- 文化産業創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(5)-ウ		
	担当部課名 企画部企画政策課		事業実施(予定)年度 平成25~27年度		文化コンテンツ産業の振興		
事業内容	沖縄県の中でも更に独特の文化や伝統芸能等の豊富な地域資源を持つ本市において、それらを国内外へ広くPRし、文化産業の振興を図るため、本市に所縁のあるクリエイターによる展示会等を開催し、文化産業(第4次産業、第5次産業)の創出を図る。						
	実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	15,000	15,000	25,840		
		(b)予算現額	15,000	15,000	25,840		
		(c)増減額(b-a)		0	0		
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	15,000	15,000	25,840		
	B.執行済額		86	13,760	19,796		
	うち交付金充当額			11,008	15,837		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			91.7%	76.6%		
予算の状況の説明		プロダクションEXPOや台湾デザインEXPOへの出展に向けた準備や手続きのほか、渋谷ヒカリエ、ロフト4店舗(渋谷、池袋、横浜、梅田)での展開など、民間からの誘いを受けての展示及びイベントの実施等、当該事業のPRプログラムが年度の前半に立て続けにあったため、クリエイター・アーカイブに係る委託契約について年度半ばでの契約となった。それにより、執行率が77%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	人材のアーカイブ化	目標	()	(30人)	(実施)	()	
		実績		35人	53人		
	次世代育成プログラムの実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			5回		
	EXPO等を活用した人材の国内外へのPR事業	目標	()	(PR)	(PR)	()	
実績			ワークショップやイベント出演等	EXPOや展示企画等			
達成状況説明	昨年度よりおこなっているクリエイターのアーカイブ化については、新たに追加したクリエイターを含めて53組となった。また、クリエイターを対象とした育成プログラムについて、国内の著名なデザイナーやクリエイターを招いておこない、彼らとの交流を通して、クリエイティブ・ツーリズムという、新たな側面が当該事業の可能性としてまだまだではあるが生まれてきている。PRプログラムについても、昨年実施出来なかった台湾でのEXPO出展もおこなう事が出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	製作受注件数	目標	()	()	()	(3件)	()
		実績				7件 個々への受注を除く	
	受講者数	目標	()	()	()	(10人)	()
		実績				16人/回 5回の平均受講者数	
	PR事業回数	目標	()	()	()	(3回)	()
		実績				8回	
進捗状況説明	制作受注件数については、展示アイテムやロフト店舗での特設販売コーナー展開等といった実際のプロダクトの制作から、EXPOブースのデザインやロゴデザインのコンペティション、クリエイターを複合的に活用したアイテム制作(石垣島の水道水のペットボトル制作)もおこなうなど、様々な事例を作る事ができ、今後の展開に弾みをつける事が出来た。また、今年度初めて実施したクリエイター等を対象とした育成プログラムも当初予定していた人員よりも多くの方が参加してくれた。PR事業回数については、民間事業からもPRに繋がる依頼案件を受ける事ができ、当初予定していた回数より増えた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業は平成25年度より実施し、人材のアーカイブ化・PRを積極的に行っており、大規模なEXPOでは台湾からの招待や東京でのイベントに参加をした。昨年度は大きなイベントでのPR以外に渋谷ヒカリエや代官山の店舗やアンテナショップ等で自主企画のPR事業を行っている。</p> <p>PR事業ではクリエイターの作品を実際に展示するほか、世界、特にアジアのマーケットも視野に入れて3か国語(日本語・英語・中国語)のPRパンフレットを制作し、配布をしている。</p> <p>外部からの受注実績としては、県外の制作会社より沖縄キャンペーン事業のロゴやイラストなどのキービジュアル制作依頼や新石垣空港開港1周年記念文字・ロゴデザイン等、主にイベントでのロゴ作成やポスター・パンフレット作成の依頼が多くを占めている。</p> <p>人材のアーカイブ化や切れ目なくにつなげていくための人材育成も一定程度成果があり、クリエイター自身の作品販売も含めて外部からの発注も増えているため民間主導へと転換していく時期にきている。</p> <p>話題作りによる認知度アップやクリエイター等のモチベーションアップにも繋がる為、PR事業については今後とも継続していく必要があるが、より効果的なPRに向けPR方針の再検討が必要である。</p>	<p>今後の更なる事業効果を出していく為に、民間との連携が必要である。(ディレクション、プロモーション戦略等)</p> <p>より積極的な営業活動の展開に向け行政主体の対応から、専門的な知識を持っているディレクターやクリエイター等が中心となった体制づくりが必要である。</p> <p>H26年度に実施したPRでは大きなEXPO等への出展もあるが、自分達で企画したPRの方が、来場者へより密にPRが出来ており、更なる事業効果の向上のため単独でのPR活動にも力を入れる。</p>

今後の取り組み方針

民間が主体となった体制構築に向け、本事業に参加しているクリエイターを中心とした組織作りに取り組む。オフィシャルWEBサイトやPR事業を通して、新たなクリエイター参加を促す。(クリエイティブな人材は、今後ますます必要となってくるので、最低限の条件を満たせば加入できるようなシステムを作る)

PRについては、単独でのPRプログラムに重点を置き企画、実施していく。

PRに繋がるとされる民間からの案件については精査をした上で柔軟に対応し、更なる事業効果を図っていく。

取り組みを可視化するために、平成27年7月には一般社団法人「石垣島クリエイティブフラッグ(ICF)」として法人化を行った。これによりプロモーションからビジネスへと転換を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

資金の流れ、費用	評価	点検項目	評価に関する説明	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">石垣市 19,796千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">委託費 12,165千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">使用料 645千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">事務費 6,986千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 報償費 / 旅費 需用費 / 役務費 </div> </div>		<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(合)パワナ 98千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">セブンデザイン 179千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(株)イチグスクモード 44千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">個人 56千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">個人 32千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">木曜ROCKERS DECO 125千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">アトリエみさや 57千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">個人 449千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">自由落體設計(台湾) 1,150千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(株)リトルコミュニティラボ 9,974千円</div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">PR映像作成委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース壁面パネル制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース用装飾パーツ制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース壁面デザイン制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース壁面文字デザイン制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース及び舞台装飾デザイン等制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">旗デザイン制作委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース・ディレクション委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">ブース施工委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">クリエイター・アーカイブ企画委託料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div>	
			<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">職員 47千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">個人 54千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(株)ISM 297千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">佳典設計有限公司(台湾) 247千円</div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">台湾出張に係る経費 (タクシー使用料、ルーター使用料)</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">PR用写真賃借料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">展示会「rooms」ブース出展料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">{</div> <div style="margin-right: 10px;">楽器レンタル料</div> <div style="margin-left: 10px;">}</div> </div>

資金の流れ、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託の業者選定はプロポーザル入札により実施しており、妥当であったと考えている。((株)リトルコミュニティラボ)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額の主な理由としては、年度途中での委託契約となったこと、台湾デザインEXPOブース出展に係る費用の軽減による残額となる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費用・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については検査、確認しており、適正であった。
		費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-	石垣市農水産物等流通戦略構築調査実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	企画部商工振興課		事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化 -1-(7)	
事業内容	平成25年度実施の調査事業(品目調査・輸送ルート・マルシェ適地検討)の内容を踏まえ、各種実証事業を実施し、新石垣空港開港後における新たな流通戦略の構築へ向けた取り組みを行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			6,000	30,920		
		(b)予算現額			6,000	30,920		
		(c)増減額(b-a)			0	0		
		(d)繰越額			-			
		A.計(b+d)			6,000	30,920		
	B.執行済額				5,995	30,893		
	うち交付金充当額				4,796	24,714		
	次年度繰越額				0			
	執行率(%) (B/A)				99.9%	99.9%		
予算の状況の説明		平成26年度事業は、委託契約締結により昨年度実施した調査を基に東京でマルシェを開催した。当初の計画通りに執行することが出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度		
	マルシェの開催(農水産物販売・調理販売)	目標	()	(実施)	()	()		
		実績		実施				
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	東京でのアンテナショップ「石垣島商店」の運営に加えて、幅広い地域での石垣島や店舗の知名度アップや販路拡大のため定期的に複数の場所でマルシェを展開し、パパイア・四角豆・オクラ等の野菜やラー油・ピパーツ・塩などの調味料、黒糖やお茶などの加工品を販売した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	流通ルート体系の構築	目標	(0)	()	(構築)	()	()	
		実績			構築			
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	石垣市内と東京都内の拠点整備によるコストの効率化と物流の一元管理、また卸業者を利用せず販売することで中間コストをかけずに島のモノを東京で販売できるようにする仕組みづくりの構築に関する実証を行った。						

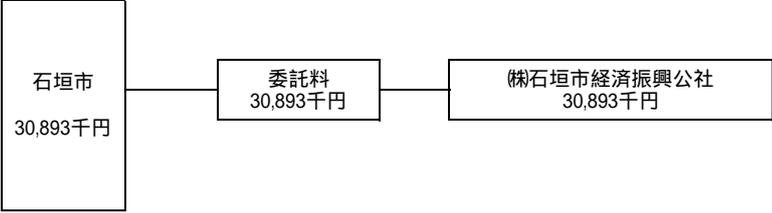
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市は多種な農産品を有しているが、その出荷に関しては物理的距離や制裁制限など輸送効率の悪さが収益拡大を妨げていることが長年の課題となっており、農産物の販路拡大及び流通ルートの確保、開発が求められている。</p> <p>今回の検証によって、流通ルート体系の構築に関する実証など一定の効果を得たが、パイン・マンゴーなどフルーツの主力商品の時期からずれる冬の戦略等に課題を残した。</p> <p>また石垣島商店に関しては、渋谷区代官山という立地上、徒歩で買い物に訪れる利用客が多かったため、大きな野菜の持ち運びには不便という声も聞かれた。</p> <p>一方で最終加工を東京で行う弁当の宅配、イベントやパーティでのケーキリングサービス、マルシェなどのイベント出展に関しては効果があった。</p>	<p>左記のような課題は出たが、今回と同様の場所で展開するのであれば、都内の利用客の目線に合わせた加工を行うサービスとして弁当をより強化すること、またレストラン機能を強化することにより効果的な店舗を実現できる可能性が高い。</p> <p>今回の検証を基に、再度戦略を練り直す必要がある。</p>

今後の取り組み方針

本事業の目的は、民間事業者の経営に役立てる流通モデルを明示することであるが、H26に実施するマルシェ事業の内容と成果を見定めた上で、今後の展開へとつなげたいと思う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
30,893	30,893	24,714	6,179	



〔東京でのマルシェの運営、島産原材料の仕入れ販売、飲食メニューの提供、広報・イベント・商談など販路開拓に資する諸活動の委託〕

資金の流 れ、費 目 の 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託先は株式会社石垣市経済振興公社と随意契約を締結した。昨年度実施した調査事業及び今年度の実証事業の目的達成のためには地元と出口(島外で発生する消費需要)をつなぐ総合マネジメントが不可欠であることから同公社が適当であると判断した。</p> <p>・事業に要した経費は当初見積どおりであり適正であった。</p> <p>・すべての科目において直接実施のため受益者負担はない。</p> <p>・費目、使途ともに実施事業に必要な範囲に限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 石垣市

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (5- 熱帯果樹栽培研究事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (3-3-(7)-ア), 担当部課名 (農林水産部 農政経済課), 事業実施(予定)年度 (平成24~27年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (-1-(6)), おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備

事業内容 熱帯果樹産業の振興を図るため、石垣市パパイア研究所のノウハウを活用し、パパイアを使った食材の研究、商品化やパパイア以外の熱帯果樹の栽培研究を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円) (「交付金」+「市町村負担」ベース), (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明 (研究員の退職に伴う報酬額及び関連する研究費の減額により執行率が当初予定より下がった。)

Table with 5 columns: H26活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: 育種及び栽培研究 (目標, 実績), 熱帯果樹苗配布 (目標, 実績), 達成状況説明 (育種及び栽培研究については、マンゴー根域制限栽培研究を平成24年度より引き続いて実施した。マンゴーの根域栽培技術の実証については、新栽培技術の実証区と既存の栽培技術を比較した生育状況調査が複数年必要である。苗の配布については、パッションフルーツの苗の配布を予定していたが、苗の親木が台風で発育不良となり十分な数の苗を確保することができず、未配布となった。)

Table with 7 columns: H26成果目標(指標), 基準値(年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(33年度). Rows include: パパイアの優良矮性品種の候補の選抜 (目標, 実績), マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果) (目標, 実績), パッションフルーツの種苗配布(300株) (目標, 実績), [参考指標] 優良矮性品種の栽培農家数(パパイア) (目標, 実績)

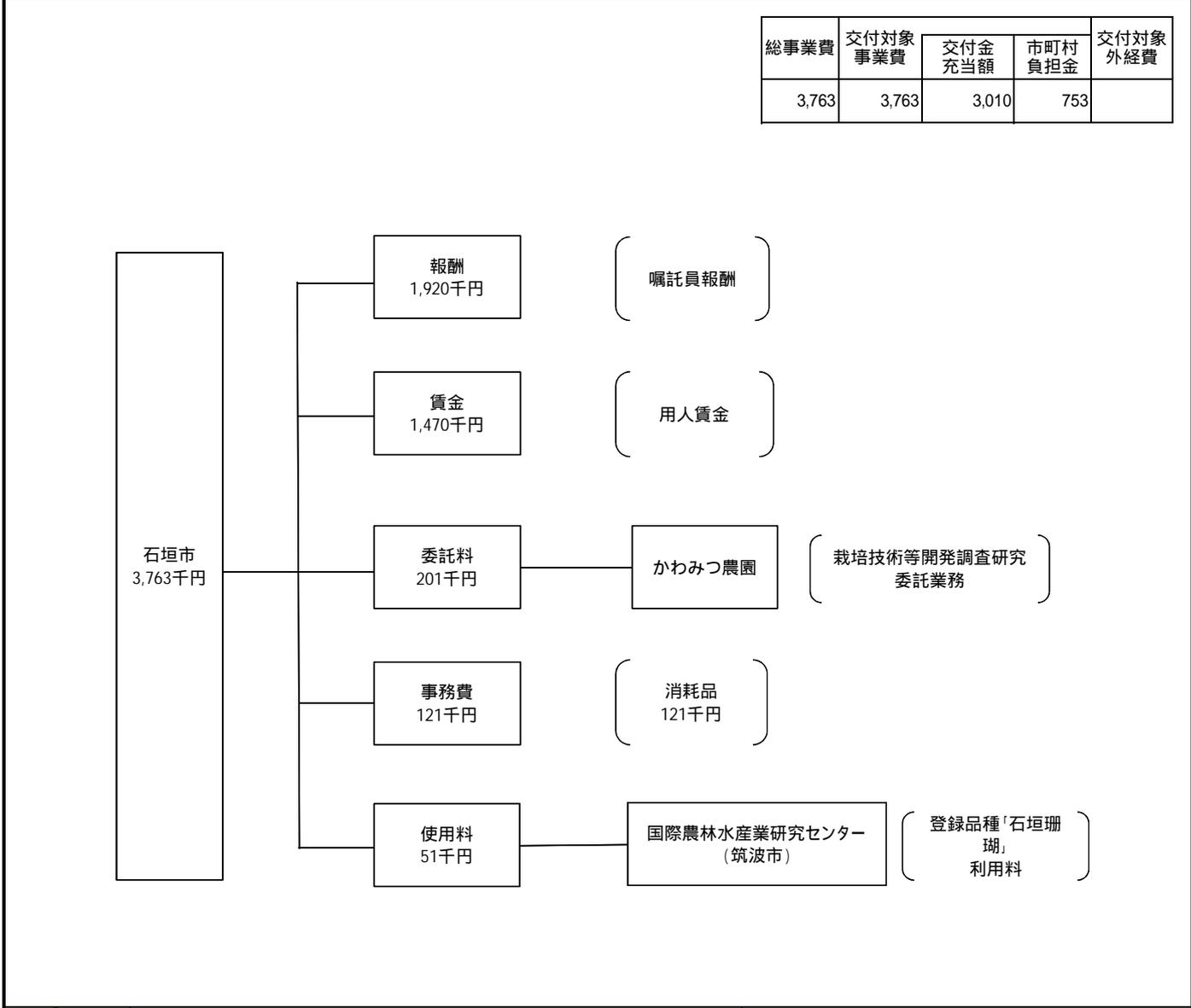
進捗状況説明 パパイア優良矮性品種を作出するため、平成24年度に交配試験を行い交雑種の種子を確保し、平成25年度に育成を行い果肉の品質について研究を行った。平成26年度は育成目標に近い2個体を選抜して研究を継続した。新品種の作出については、様々な系統を繰り返し選抜し、検証していく必要があるため10年間ほどの長期的な期間を要する。優良矮性品種の作出ができれば、品質のよいパパイアということで栽培農家数の増も期待できるが、現段階ではまだその状況には至っていない。マンゴーの新栽培技術の実証試験についても平成24年度より引き続き実施した。こちらについても、通常の栽培方法との比較した生育状況調査が複数年必要ことから、引き続き実施していく。パッションフルーツの苗配布については、熱帯果樹の市民への普及を目的としている。親木へ差し木を行って苗を増やすという方法を行う予定であったが、時期外れの台風により親木が発育不良となり十分な苗を確保することができず、未配布となった。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>熱帯果樹事業はパパイヤ・マンゴーの生産拡大を目標としており、パパイヤについては優良矮性品種の作出に取り組み、マンゴーについては新たな栽培方法の確立について取り組んだ。</p> <p>マンゴーの根域制限栽培技術の実証については、熱帯果樹センターが専用の温室や圃場を所有していないため、栽培農家に作業を委託して実施した。その為、(当該農家の営農活動との兼ね合いなどから)作業効率が十分ではない。</p>	<p>パパイヤの新品種の作出については、引き続き優良種子の選出に取り組む。</p> <p>マンゴーの根域制限栽培技術の実証をさらに効率的に進めるためには、適切な作業が実施できる環境を整備する必要がある。また、気候変動等経年変化によるデータ収集を図る観点から取り組みの継続が望まれる。</p>

今後の取り組み方針

パパイヤの新品種育成については、選抜した個体の研究を引き続き行う。
マンゴーの栽培方法確立については、栽培環境の効率化を図っていく。
熱帯果樹の苗配布については、台風等気象状況の影響を受けにくく且つ生育に影響のない時期を見極めて行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	研究員の想定外の早期退職により人員不足が生じてしまい、執行率が低下している。 費目・用途は必要最低限なものに限っており適切であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5- 生鮮水産物流通条件不利性解消事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-(イ)		
	農林水産部水産課		事業実施(予定)年度 平成25～33年度		亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(6)		
事業内容	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう、支援を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,849	15,396			
		(b)予算現額	3,850	1,322			
		(c)増減額(b-a)	1	14,074			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	3,850	1,322			
	B.執行済額		19	1,321			
	うち交付金充当額		15	1,057			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		0.5%	99.9%			
予算の状況の説明		本事業は平成25年度の12月に内諾し、1月からの事業開始となったため25年度事業の事業積算と26年度の事業積算が同時に行われ、25年度事業終了時の補助率の見直し等が加味されていなかったため、当初予算額の大幅な減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	生鮮水産物の輸送費補助の実施	目標	生鮮水産物(57,451kgの輸送費)補助の実施	生鮮水産物の輸送費補助の実施	()	()	
		実績	生鮮水産物18,822kgの輸送費補助の実施	生鮮水産物の輸送費補助の実施			
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	平成26年度の生鮮水産物が沖縄本島まで輸送される際に輸送費補助を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	生鮮水産物の輸送費補助の完了	目標	()	生鮮水産物57,451kgの輸送費補助の実施	生鮮水産物の輸送費補助の完了	()	()
		実績	/	生鮮水産物18,822kgの輸送費補助の実施	生鮮水産物の輸送費補助の完了	/	/
			目標	()	()	()	()
			実績	/			/
	進捗状況説明	平成26年度の生鮮水産物120,127kgが沖縄本島まで輸送され、円滑に輸送費補助を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	空路輸送額80円/kgに対して69円/kgと陸路単価が高価格設定となっているため、まだ十分な補助単価になっていないと考える。	陸路輸送費の情報収集や単価設定のあり方などを研究して、今後も継続して更なる離島における生鮮物流通条件不利性解消に努めたい。

今後の取り組み方針

予算規模については、今年度実績を参考に適正な事業量を積算し、不用額を出さないように努める。
現在の補助単価では離島における生鮮物流通条件不利性解消に十分とはいえないと考えるので、今後は県事業を参考にするなど補助単価の見直しも含めて関係部局と調整を図り、事業を推進していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,321	1,321	1,057	264	



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ・受益者との負担関係については、一部を受益者が負担しているため、適正であるとする。 ・予算規模は予算措置時期の関係で大幅な減額補正となった。
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	特用植物利活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	全国ハーブサミットの開催を機に、本市におけるハーブ文化を内外に発信すると共に、ハーブの利活用についてライブラリーとして取りまとめ、先人の知恵として継承していくと共に商品開発を推進する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額			2,500		
		(b)予算現額			8,200		
		(c)増減額(b-a)	0	0	5,700		
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		0	0	8,200		
	B.執行済額				6,274		
	うち交付金充当額				5,019		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)				76.5%		
予算の状況の説明		ハーブフェスティバル規模拡大により事業費の増額を行った。補助金申請に対し2回概算払いにより補助金を交付した。事業完了後の報告書、収支計算書に基づき精算した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	全国ハーブサミットの開催	目標	()	()	(開催)	()	
		実績			開催		
	石垣市ハーブフェスティバルの開催	目標	()	()	(開催)	()	
		実績			開催		
達成状況説明	第22回全国ハーブサミットを開催した。また、翌日からは石垣市ハーブフェスティバルを2日間開催した。ハーブサミットでは一般向けに記念講演とパネルディスカッションを、ハーブフェスティバルではハーブ体験プログラムやオープンガーデン等を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	サミット、フェスティバル関連参加者	目標	()	()	()	(6,000人)	()
		実績				9,108人	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	全国ハーブサミットは年に1回の開催で、前開催地の沖縄県南城市より引継ぎ平成26年度波石垣市で第22回全国ハーブサミットを開催した。石垣市ハーブフェスティバルに関しては、実行委員会主催で開催した。ハーブサミット及びハーブフェスティバル開催期間中はハーブウィークと銘打ち、様々なイベントを実施した。参加者数は6,000人の目標を大きく上回る9,000人あまりの人数となった。					

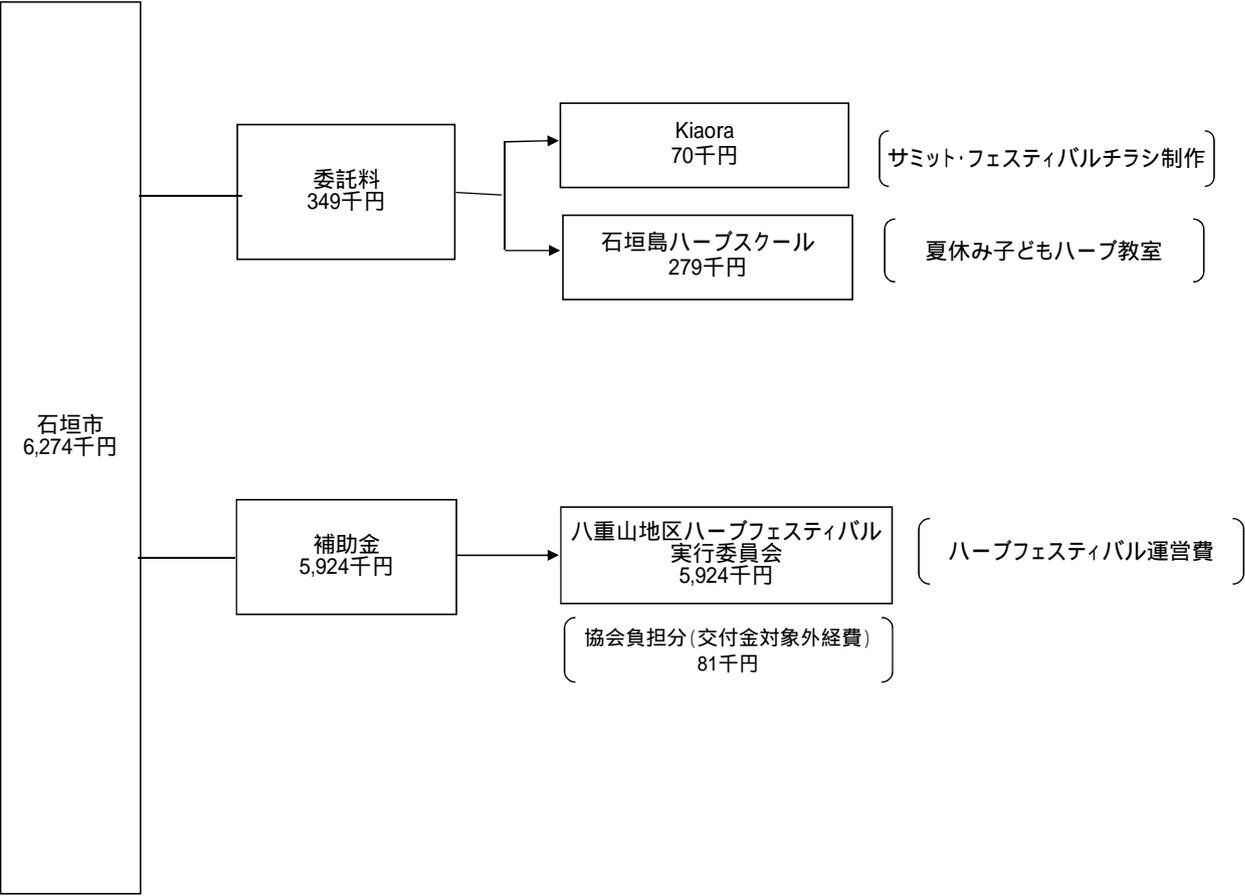
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市では昔よりハーブを家庭菜園で栽培し食材や薬草として利用している。新たな観光資源として活用をすべく、ハーブサミット・ハーブフェスティバルの開催を通じてハーブの魅力をPRした。</p> <p>全国ハーブサミットはANAインターコンチネンタルを会場に記念講演等を行った。ハーブフェスティバルは石垣市健康福祉センターを主会場に講演、販売、体験等を行った。ハーブフェスティバルについては、来場者も多数あり、新たな観光資源としてのハーブをPRすることに関しては十分に効果があった。</p>	<p>資源としての島ハーブの利活用について今後検討を行う必要がある。</p> <p>ハーブの魅力のPRについても継続して行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

生産者及びハーブに携わる人の把握やハーブを身近に感じてもらえるような環境・体制づくり等を取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,355	6,274	5,019	1,255	81



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託費は随意契約であるが、性質及び目的が競争入札に適しないため妥当であったと考える。 補助金についてはフェスティバルの主催団体であり、支出先については妥当である。 費目・用途についても目的に即しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5- 特産品加工施設整備調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		3-1-(1)-イ			
	農林水産部 農政経済課		事業実施(予定)年度 平成26年度		陸域・水辺環境の保全			
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(6)			
事業内容	甘藷加工施設建設及び機械導入により安定的に加工品の供給を図るため、加工場の整備に向けて、生産者及び実需者の意向調査を行うとともに、先進地の取り組みについて調査し、今後の整備事業導入に資する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額				2,000		
		(b)予算現額				2,000		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0			
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	0	0	2,000			
	B.執行済額				1,817			
	うち交付金充当額				1,454			
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)				90.9%			
予算の状況の説明		不用額については、旅費や需用費等の残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	生産者及び実需者意向調査アンケート実施	目標	()	()	(実施)	()		
		実績			実施			
	先進事例調査	目標	()	()	(調査)	()		
		実績			調査			
達成状況説明	生産者及び一次加工品利用者、一般消費者へアンケート調査を行った。また、先進事例調査を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	加工施設の規模を決定	目標	()	()	()	(決定)	()	
		実績				未達成		
	先進事例調査	目標	()	()	()	(1回)	()	
		実績				1回		
	進捗状況説明	加工場の整備に向けて、生産者及び実需者へアンケート調査を行った。加工施設の規模については、今後のさとうきびとの輪作や原料確保のための生産農家の拡大を検討する必要がある。先進地視察では、宮崎県及び鹿児島県へ行き、圃場規模、収穫作業の機械化、栽培技術の平準化、鳥獣対策等を視察した。						

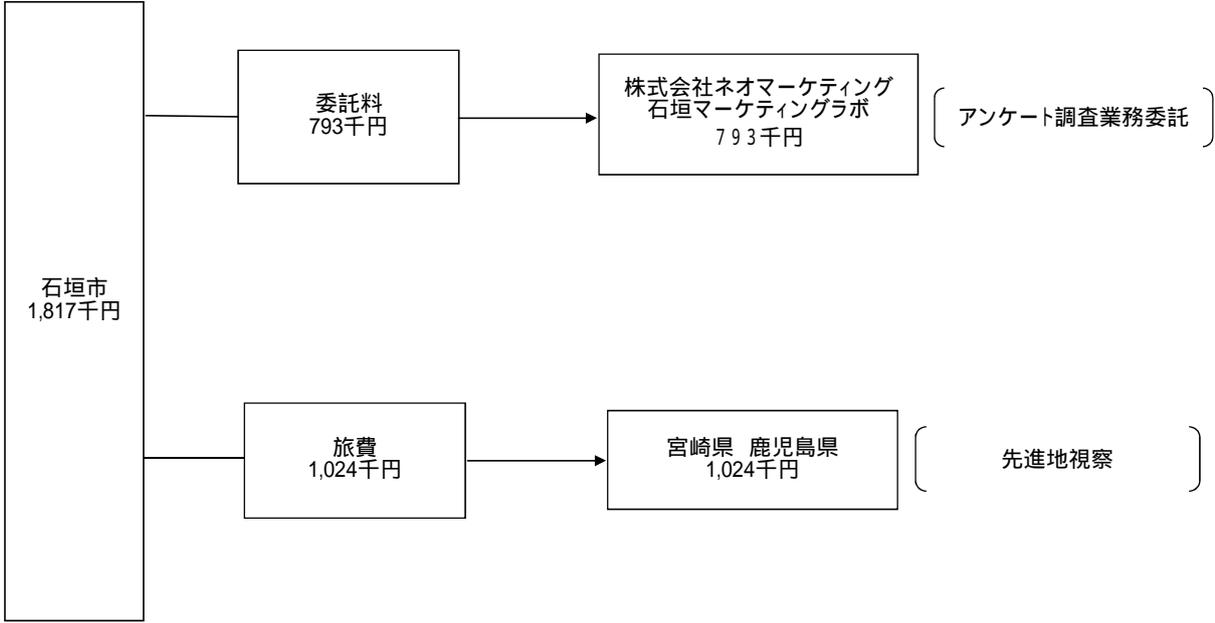
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新空港開港により観光客が増加し、お土産品等の安定的な製品の供給が求められている。現在使用している加工施設では、狭隘で作業効率も悪く原料を捌ききれず、安全面や衛生面においても課題である。加工施設の拡大、機械を導入することでこれまで捌ききれなかった物の加工や、原料の生産拡大による工場での雇用創出、作業・生産向上に繋がり、安全で安心な製品が提供できるようアンケート調査、先進事例視察を行った。</p> <p>鳥獣害被害の不安がある。</p> <p>島内産の紅芋が少なく、やむをえなく沖縄産を使用している。</p>	<p>鳥獣被害についての対策を行う必要がある。</p> <p>生産者の拡大についての取り組みが求められる。</p>

今後の取り組み方針

加工施設整備に向けて規模の検討、出荷の制限をなくし周年収穫できる体制づくり、安定した反収を上げるためにウイルスフリー苗の確保、栽培技術の平準化、キジ・クジャク・イノシシ等の鳥獣対策を取り組んでいく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,817	1,817	1,454	363	



資金の流 れ、費 目 の 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託費に関しては効果的な設問方法、リンク及び解析等について専門的な知識を有するため妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途についても目的に即してあり適正であった。	

市町村名		石垣市									
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	5-	さとうきび振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(7)-ア					
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備						
事業内容	<p>機械刈りにより収穫されたさとうきび原料に混入する副産物(葉殻、土砂等)や異物(大石、金物)を選別する機械を導入し、計画的な圧縮処理と品質向上を図る。また、選別された副産物(葉殻)を細かく破碎する機械を導入することにより、副産物の利用価値を高め農地での還元を図り、良好な土づくりを促進する。</p>										
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		(a)当初予算額					127,360				
	(b)予算現額					119,840					
	(c)増減額(b-a)		0		0	7,520					
	(d)繰越額		-								
	A.計(b+d)		0		0	119,840					
	B.執行済額					119,840					
	うち交付金充当額					95,872					
	次年度繰越額		0		0	0					
	執行率(%) (B/A)					100.0%					
予算の状況の説明	事業計画どおりの適正執行がなされた。										
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況								
			24年度		25年度		26年度		27年度		
	ロールスクリーン及び破碎機の整備・稼働	目標	()	()	()	(整備・稼働)	()				
		実績				整備・稼働					
		目標	()	()	()	()					
		実績									
達成状況説明	さとうきび夾雑物除去施設(集中脱葉施設)のトラッシュ除去施設(トロンメル)を改良し、ロールスクリーンを導入して近代化を実施した結果、トラッシュ除去効率の向上につながり、結果、効率的な操業が行えた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)				
	トラッシュ除去率の改善 現状47.19% 目標55%	目標	()	()	()	(55%)	(55%)				
		実績				54%					
		目標	()	()	()	()	()				
		実績									
	進捗状況説明	<p>トラッシュ除去率は、昨年度47.19%から54%に向上し、目標に対してもほぼ達成している。</p> <p>なお、除去率が目標値に到達しなかった理由(1%)は、さとうきびの作型(品種)により葉部分の除去がしやすい品種とそうでない品種があるため、効率が差が生じてしまったこと(葉が密集して除去が比較して困難な品種に割合が予想以上に多く搬入されたこと)が挙げられる。</p> <p>今後収穫品種の構成比により効率的なトラッシュ除去が期待される。</p>									

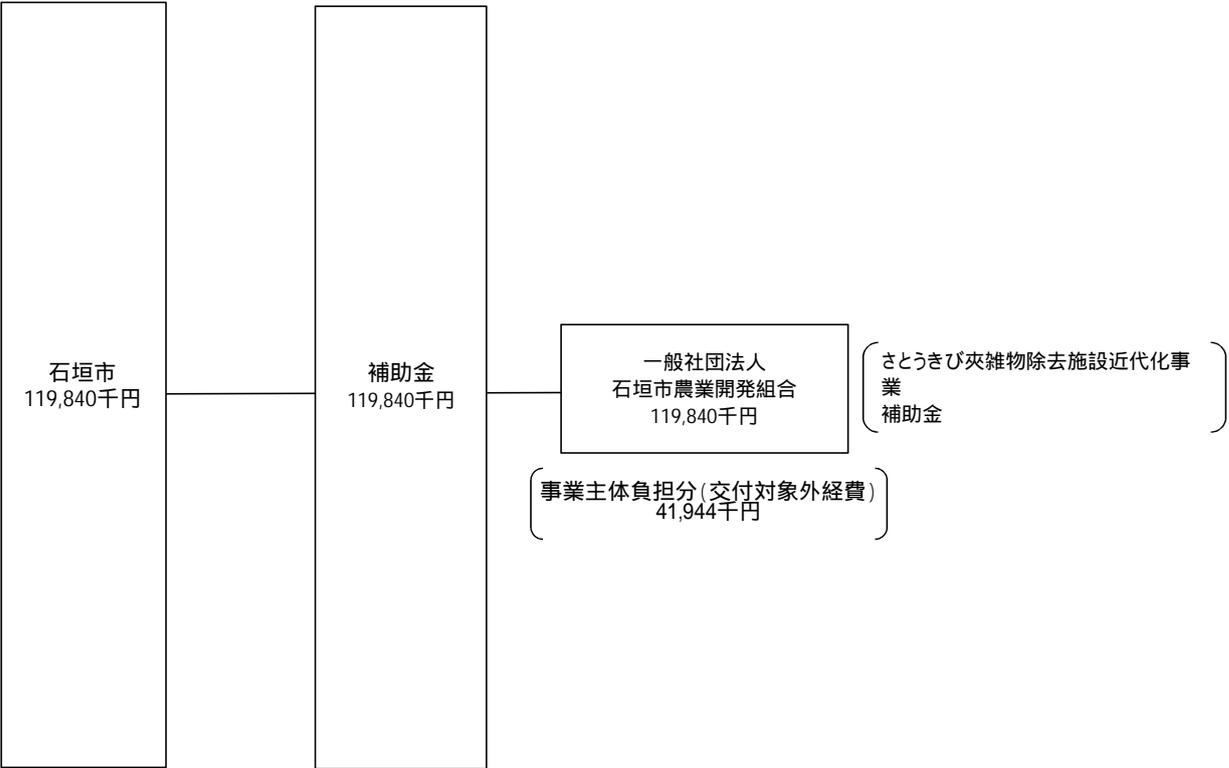
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	計画に基づく事業の実施が円滑に行われ、本格稼働におけるトラブルもなくトラッシュ除去率向上に貢献した。	収穫されるさとうきびの構成を適正な比率にすることによりより効率的な除去率が達成できると見込まれる為、農家向けの啓発等を実施する。

今後の取り組み方針

高齢化に対応した機械化一貫体系の収穫システムの構築と、これに伴い発生するトラッシュの農地還元による持続的な農業及び農地保全効果が期待できる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
161,784	119,840	95,872	23,968	41,944



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法、予算規模、費目及び使途について、適正な執行ができた。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-	地域防災力強化育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	消防本部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	災害に強い県土づくりと防災愛誠の強化
			沖縄振興基本方針該当箇所	-10-(2)

事業内容	自主防災組織ごとに救急救助資機材と収納倉庫を整備し地域防災組織の強化と育成を図り、災害時に住民や観光客に衛生的な飲料水を供給出来るよう給水パックを購入し備蓄する。
------	---

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	43,543	40,300	53,402		
	(b)予算現額	40,954	35,377	44,883		
	(c)増減額(b-a)	2,589	4,923	8,519		
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	40,954	35,377	44,883		
	B.執行済額	40,824	35,377	43,965		
	うち交付金充当額	32,658	28,301	35,171		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.7%	100.0%	98.0%		
予算の状況の説明	計画していた自主防災組織の立上げ(10箇所)及び防災倉庫・救急救助資機材の配備は、すべて実施できており適正であったと考える。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		救急救助資機材と収納倉庫を整備	目標 (16箇所)	(10箇所)	(整備)
	実績	16箇所	10箇所	10箇所	
	目標	()	()	(整備)	()
	実績			整備	
達成状況説明	平成26年度は倉庫の整備と救急救助資機材の配備を実施した。今年度は市街地に6箇所(双葉、美崎町、天川、平真団地、宮良団地、中央商店街地区)と西北部地区に3箇所(大高、多良間、兼城地区)、内陸部に1箇所(名蔵地区)の計10箇所に自主防災組織の立上げと救急救助資機材(AED、救助工具等)の配備を完了した。その他に、災害時に対応できるよう給水パックを5,000個購入し、備蓄した。				

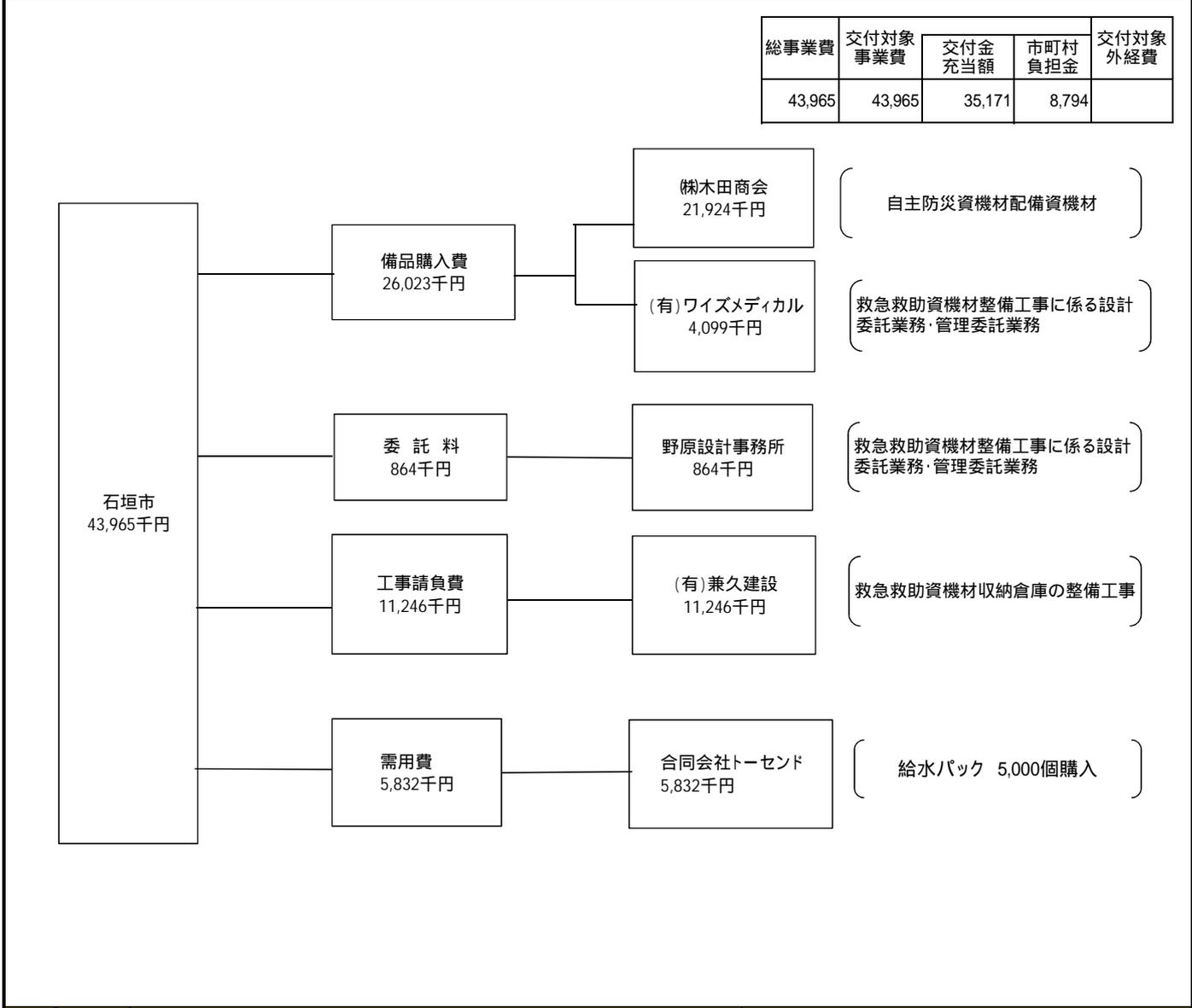
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		救急救助資機材と収納倉庫の整備	目標 ()	()	()	(10)	()
			実績			10	
		給水パック購入備蓄:5,000個	目標 ()	()	()	(5,000個)	()
	実績			5,000個			
進捗状況説明	市内65箇所で自主防災組織の立上げと救急救助資機材収納倉庫の整備、並びに救急救助資機材を配備することを目標として平成24年度より事業を進めている。平成26年度は10箇所の地域で自主防災組織が設立され、同時にその地域に収納倉庫の整備と資機材の配備を行った。また、その他の地域でも自主防災組織設立の動きがみられることから、今後も事業を実施していきたい。給水パックを5,000個購入し、高台にある石垣浄水場内倉庫に保管を行っている。災害時に発生が予測される断水時に使用する衛生的な容器が確保できた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	各公民館、自治会等に自主防災組織の必要性等を説明し立ち上げを促すが理解、承諾してもらえない地域が見られる。	地域により人口や世帯数に差があり、必要資機材の数にも開きがあるため、それぞれに応じた必要資機材の整備をする必要がある。
	資機材収納倉庫の建設位置についてはお互い協議し進めていく必要がある。 給水パックを災害時に必要な数、5,000個を購入し、高台にある石垣浄水場内(標高54.8m)倉庫に保管することにより、災害時及び緊急時に、飲料用として貯水できる衛生的な容器を市民及び観光客へ配布可能となった。	自主防災会連絡協議会を通じて各自主防災会に積極的な訓練実施の呼びかけと自治体が行う総合訓練等に積極的に参加するよう取り組む必要がある。 耐用年数が5年であるため、保管状況(紫外線等により劣化しないよう)に気をつける必要がある。在庫数の把握も必要。

今後の取り組み方針

H24、25、26年度事業での36箇所の自主防災組織の立ち上げに加え、平成27年度も目標の10箇所の地域に組織設立の促進を図っていくと同時に、これからも自主防災会に対し充実した活動ができるよう指導監督の強化をおこない、これまで以上に安心・安全な石垣市の建設に取り組む、その成果を内外に広く広報し観光振興等に寄与していきたいと思います。
給水パックについては、必要数を5,000個としているので、出庫した際の在庫数の管理を適切に行う。在庫数の減少や給水パックの状態によって、4～5年毎に適宜補充又は買い換えを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事、備品については指名競争入札を行ったため支出先の選定方法は適正であったと考える。 受益者との負担関係は、自主防災と協議を重ね、資器材配備後の管理等について、取決めを設けており、適正であると考え。 費目、用途についても事業目的に合致しており、適正であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	防災避難道路整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部署名	農林水産部	むらづくり課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)	
事業内容	予想される大地震時における安全な農村集落の環境整備をするため、津波避難道路を整備する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,000	27,360	6,000		
		(b)予算現額	18,000	13,680	4,700		
		(c)増減額(b-a)	0	13,680	1,300		
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	18,000	13,680	4,700			
	B.執行済額	17,999	13,497	4,622			
	うち交付金充当額	14,399	10,797	3,697			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.7%	98.3%			
予算の状況の説明	白保地区の一時避難場所を計画どおり実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災避難道路整備工事	目標	(390 m)	(270m)	(実施)	()	
		実績	390 m	270m	130m		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	白保地区の津波一時避難場所へ迅速かつ適切に避難可能な避難道路を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	白保地区防災避難道路整備の完了	目標	(0 m)	(390 m)	(270m)	(実施)	()
		実績		390 m	270m	130m	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	整備により砂利道路からアスファルト道路になり迅速かつ安全な避難が出来るようになった。					

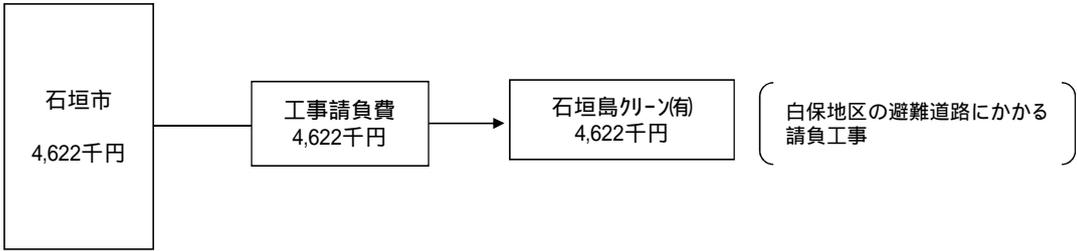
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>石垣市地域防災計画に基づく平久保地区、明石地区、白保地区の津波一時避難場所へ迅速かつ適切に避難ができるように避難経路を整備し安全な農村環境を整えるために事業を実施することとなった。</p> <p>上記3地区において整備された避難道路を実際に使って避難訓練を行い迅速かつ安全な避難が出来るようになっており推進上の問題は特にありません。</p>	<p>推進上の課題がないことから改善余地は特にありません。</p>

今後の取り組み方針

今後は、整備された避難道路を活用し避難訓練を行い予想される災害に対応していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,622	4,622	3,697	925	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負工事は地元建設業者を指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 積算基準に基づき設計しており適正な規模と考えている。 避難道路の整備に必要な費用であり目的に即していると考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-	防災体制整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)
担当部課名	総務部防災危機管理室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				災害に強い県土づくりと防災体制の強化
				-10-(2)

事業内容
地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、情報伝達手段である防災無線について、未整備地区や難聴地区への整備及び改善を図り、情報伝達システム整備基本計画を策定する。また、津波避難ビル等への避難標識の設置、備蓄倉庫の整備を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	112,849		34,855	33,852
		(b)予算現額	112,380		34,855	33,852
		(c)増減額(b-a)	469	0	0	0
		(d)繰越額	-	99,955		0
		A.計(b+d)	112,380	99,955	34,855	33,852
	B.執行済額		12,425	94,573	33,816	31,351
	うち交付金充当額		9,940	75,658	27,053	25,081
	次年度繰越額		99,955		0	0
	執行率(%) (B/A)		11.1%	94.6%	97.0%	92.6%
	予算の状況の説明		当初計画していた海拔表示シート設置及び避難標識整備箇所が増となったが、予算の範囲内で実施した。不要額2,501千円については、委託料・工事請負費の入札残である。			

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
防災無線屋外拡声子局設置	目標	(12基)	(16基)	(2基)	()	
	実績	0基	16基	2基		
海拔表示設置	目標	(0)	(200箇所)	(20箇所)	()	
	実績	0	200箇所	30箇所		
避難標識整備	目標	(0)	(100箇所)	(8箇所)	()	
	実績	0	104箇所	16箇所		
防災備蓄倉庫整備	目標	(0)	(1棟)	(1棟)	()	
	実績	0	1棟	1棟		
防災等情報伝達システム整備に向けた計画策定	目標	(0)	(0)	(計画策定)	()	
	実績	0	0	策定実施		
達成状況説明	防災行政無線未整備地区へ防災無線拡声子局2基の設置、主要交差点等に海拔表示シート30箇所設置した。災害時に孤立する恐れのある北部地区へ防災備蓄倉庫1棟設置した。石垣市が指定した津波一時避難ビルへ避難標識16箇所設置した。防災情報伝達の多様化を図るため既存システムの現況調査と補充システムについての調査検討を行い、防災情報システム多様化整備基本計画を策定した。					

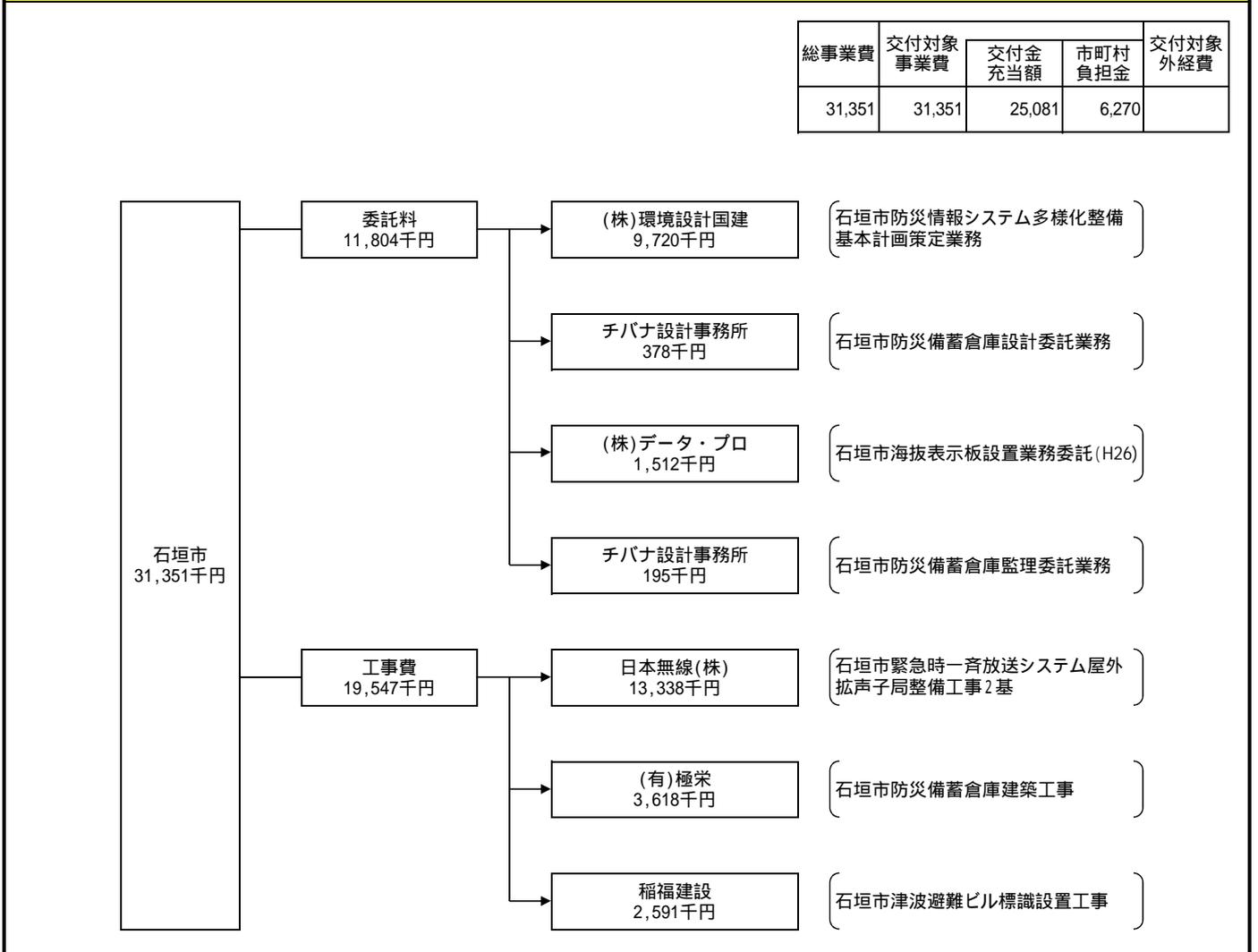
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
			防災無線屋外拡声子局整備完了	目標	(35)	(12)
	実績		0	16	2	
海拔表示設置完了	目標	()	()	(200)	(20)	(220)
	実績			200	30	
避難標識整備完了	目標	()	()	(100)	(8)	(120)
	実績			104	16	
防災備蓄倉庫設置完了	目標	()	()	(1)	(1)	(3)
	実績			1	1	
防災等情報伝達システム整備基本計画策定完了	目標	()	()	()	(計画策定)	()
	実績				策定実施	
進捗状況説明	防災無線(緊急時一斉放送システム)屋外拡声子局の整備により、於茂登、兼城地区の防災情報伝達体制が整備された。海拔表示や避難標識を整備し、日頃から市民が目にする事で、災害時に迅速な避難に繋がる体制が構築された。既設防災無線の音達調査で難聴地域の把握を行い、補充する情報伝達手段の検討及び地震・津波・台風等各種災害でも住民への情報伝達が途絶しない多様化されたシステムの比較検討を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	防災行政無線スピーカーの音達範囲は限られており、既存スピーカーの性能を向上させるなど難聴地域対策が必要である。	既設防災無線スピーカーより音達距離があり、明瞭性向上にも効果が期待できる高性能スピーカーを導入するなど、難聴地域解消に向けた整備が必要である。

今後の取り組み方針

防災無線未整備地区への整備及び難聴地域の解消に向けた情報伝達手段の構築を目指す。また、増加している観光客の動態把握を行い避難受入検証と避難所の見直し検討を行い地域防災計画の修正を行うとともに、計画に基づいた食糧等を備蓄する。災害時に実働的な災害対応を行うため、災害対策本部及び避難所運営に必要な環境整備を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	防災備蓄倉庫の設計・監理委託については少額随意契約において処理し、それ以外の委託・工事は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 予算規模・費目・用途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

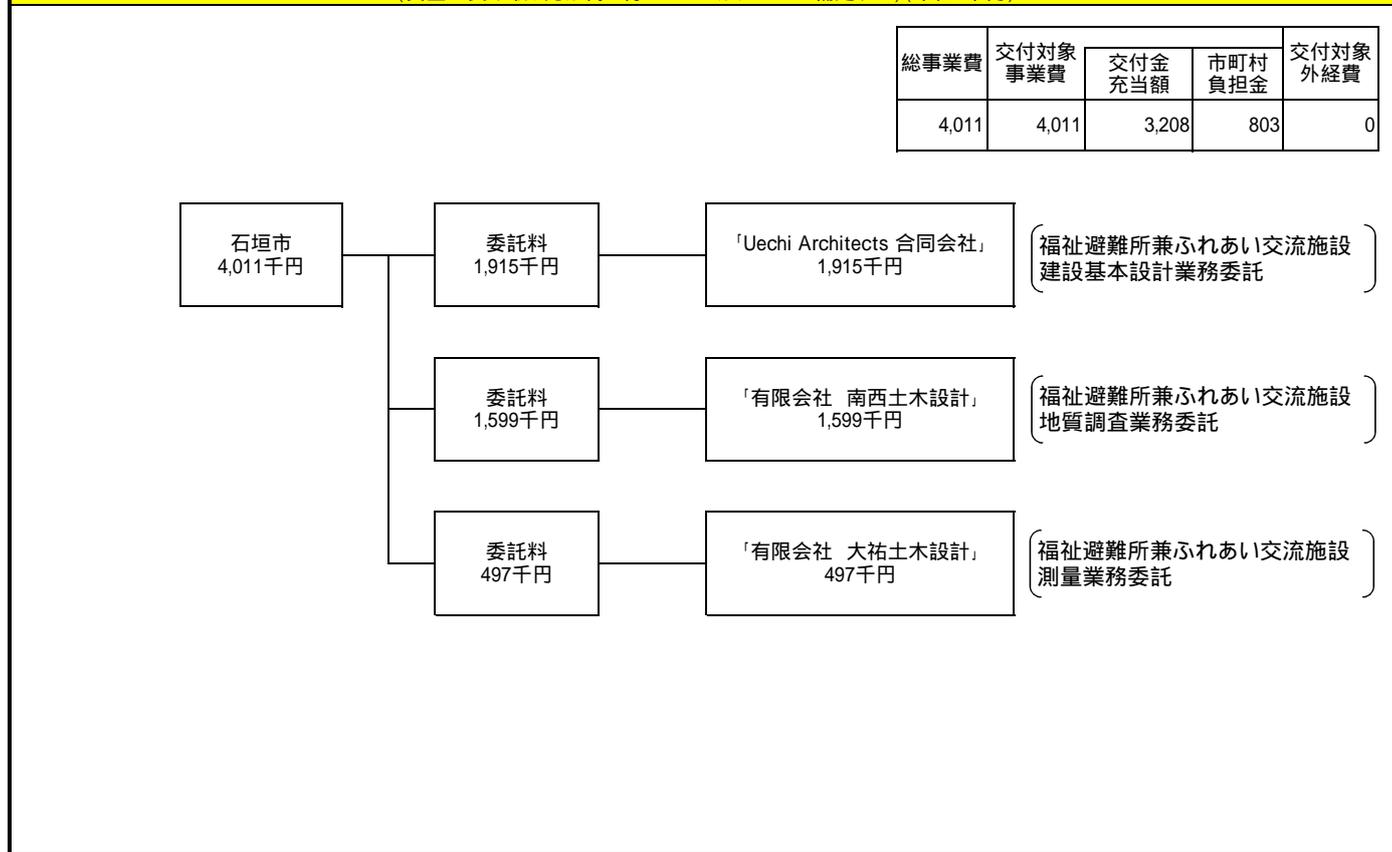
市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	福祉部 福祉総務課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 10 - (2)	
事業内容	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者が、安心安全に避難生活がおくれるよう「福祉避難所」の整備を行う。今年度は、基本計画に沿って具体的な「基本設計」に取り組む。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,830	22,285	5,700		
		(b)予算現額	4,757	0	4,011		
		(c)増減額(b-a)	73	22,285	1,689		
		(d)繰越額	-	0	0		
	A.計(b+d)		4,757	0	4,011		
	B.執行済額		4,757	0	4,011		
	うち交付金充当額		3,805	0	3,208		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%		
予算の状況の説明		基本設計に加え、測量及び地質調査を業者へ委託。 基本設計及び地質調査については、指名競争入札により業者を選定、測量は随意契約により委託を行った。 委託料合計額4,011千円。不用額1,689千円については、補正により減額処理を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	基本設計策定	目標	(基本計画策定)	(基本設計策定)	(基本設計策定)	()	
		実績	策定済み	調査研究	基本設計策定		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成24年度に策定した石垣市福祉避難所兼ふれあい交流施設建設基本計画を基に、児童・高齢者・障がい者等の当事者団体や関係組織等から意見聴取したうえで、基本設計を業者委託により作成。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	基本設計策定完了	目標	()	(基本計画策定)	(基本設計策定)	(基本設計策定)	(建設・供用開始)
		実績		策定済み	調査研究	基本設計策定	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	基本設計及び測量に加え、平成27年度に予定している実施設計に向けた地質調査を業務委託し作成。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成25年度に調査研究を実施、建設場所の変更を行った。</p> <p>平成26年度は、変更後の建設場所における測量、地質調査及び基本設計を策定。法令に基づき適正に指名競争入札及び随意契約により業務委託を行った。</p>	<p>平成25年度に建設場所を変更。同敷地内に公民館や保育所があることから、当該施設を含めた一体的な活用を図ることで、福祉避難所兼ふれあい交流の拠点として最大限機能を活かすことができるよう計画しているが、今後実施に向けて関係機関等との連携体制の確保や具体的な方針を定める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

平成27年度に実施設計策定、計画どおり適正かつ速やかに業務委託を行う。また、平成28年度に建設、平成29年度中の供用開始を目指し取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	基本設計及び地質調査については、指名競争入札により選定、予算規模は適正な規模となっている。 測量については、委託額と照らし合わせ、地方自治法及び石垣市財務規則に基づき見積書の比較により業者を選定し、随意契約を行った。 すべての委託に関して、施設建設に必要なものであり、妥当・適正な事務処理を行った。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-	ICT教育強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章5-(4)-7
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)

事業内容	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材の充実を図り、ICT教育を有効活用した教育環境整備を行う。
------	---

実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()
------	-----------------------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	0	16,000	11,589		
		(b)予算現額	5,351	16,000	6,954		
		(c)増減額(b-a)	5,351	0	4,635		
		(d)繰越額	-	0	0		
		A.計(b+d)	5,351	16,000	6,954		
	B.執行済額		5,229	15,959	6,653		
	うち交付金充当額		4,183	12,767	5,322		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		97.7%	99.7%	95.7%		
	予算の状況の説明		デジタル教科書等の消耗品について、定価の4割程度の有利な価格で調達できたことで、事業費全体を抑制できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	デジタル教科書、学習プリント作成問題データベースを整備(全小中学校)	目標	(教育用ソフトの配布 小学校20校)	(実施)	(全小中学校 実施)	()
		実績	教育用ソフトの配布 小学校20校	実施	全小中学校 実施	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	<p>H24年度よりICT教育の環境整備を行っている。H24年度に教育用ソフト(フラッシュ教材)を全小学校へ整備し、H25・26年度にはデジタル教科書等の整備を行った。デジタル教科書・学習プリント作成問題データベースの詳細については次のとおりである。</p> <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 小学校(国・算・社)、中学校(国・数・英) 学習プリント作成「問題データベース」を全小中学校の整備 <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書 小学校(理)3年～6年生対象 デジタル教科書 中学校(理・社)全学年 学習プリント作成データベース小学校(国・算)全学年、(理・社)3年～6年生対象 学習プリント作成データベース中学校(国・社・数・理・英)全学年 					

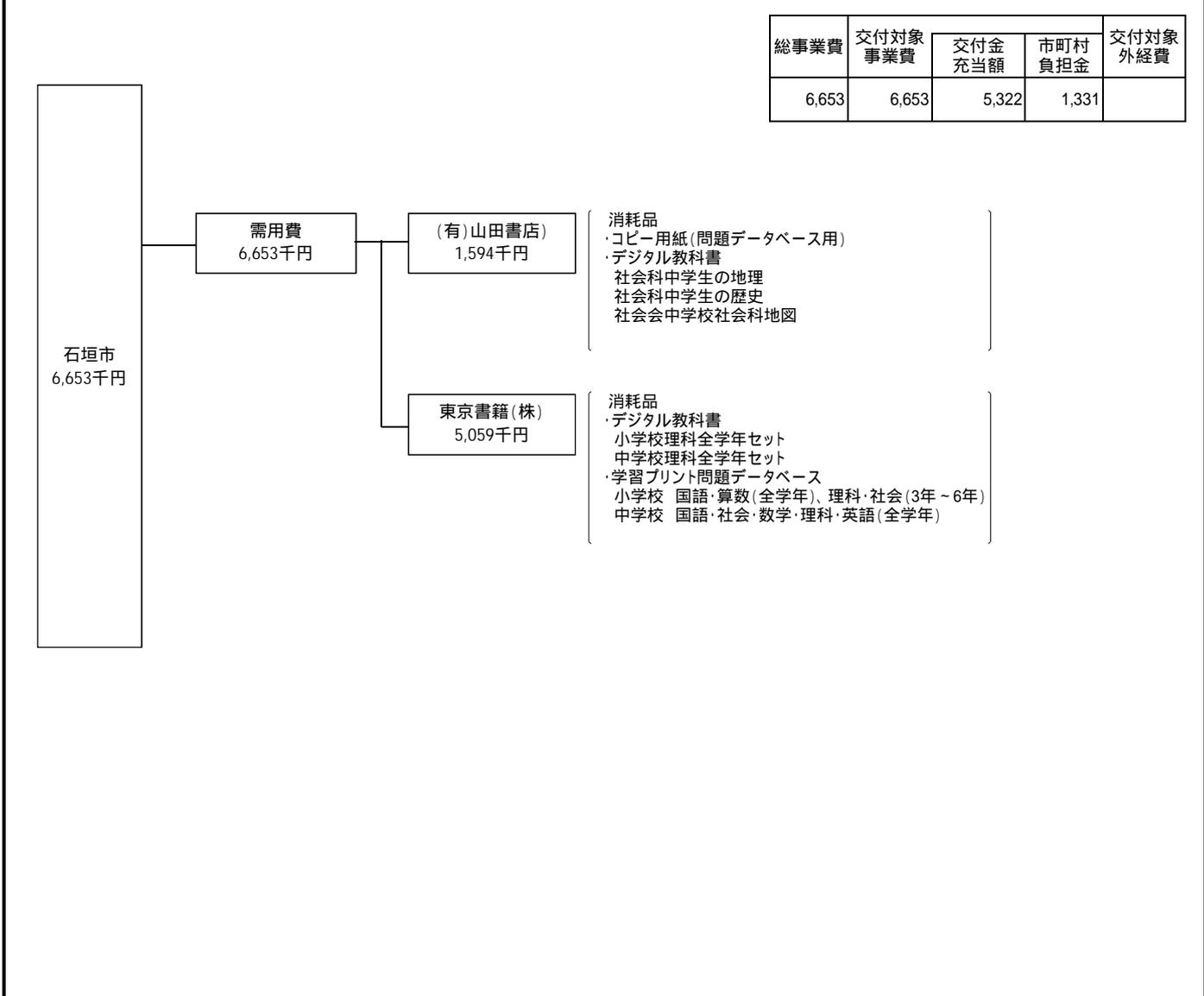
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
			デジタル教科書(2教科)の整備完了(全小中学校)	目標	()	(小学校20校 整備)	(全小中学校 整備)
	学習プリント作成ソフト等の整備完了(全小中学校)	目標	()	(小学校20校 整備)	(全小中学校 整備)	(全小中学校 整備)	()
		実績		小学校20校 整備完了	全小中学校 整備完了	全小中学校 整備完了	
[参考指標] 市内小学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率	目標	(国語A 61% 算数A 75%)	(国語A 66% 算数A 78%)	(国語A 78% 算数A 69%)	(国語A 61% 算数A 71%)	()	
	実績		国語A 78% 算数A 69%	国語A 61% 算数A 71%	国語A 73% 算数A 81%		
進捗状況説明	<p>H24年度よりICT教育の環境整備を行っている。H24年度に教育用ソフト(フラッシュ教材)を全小学校へ整備し、H25・26年度にはデジタル教科書等の整備を行った。市内の全小中学校へ整備することによって、どの学校においても同じ環境でICTを活用した学びができるようになってきている。デジタル教科書等を導入することによって、黒板への板書と電子黒板の使い分けをすることででき、効率よく授業をすすめることができるようになってきている。参考指標として全国学力・学習状況調査においても、特に算数Aで平均正答率が向上しており、本事業の効果が少なからず反映されているものと考えている。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学校では、デジタル教科書4教科(国語、算数、理科、社会)やフラッシュ型教材が整備された。</p> <p>中学校では、デジタル教科書5教科(国語、数学、英語、理科、社会)が整備されたが、PCを移動してセットしなければならないなどの不便なところもあるので、タブレット型PCにインストールして利用できるようにする。</p> <p>中学校では、校内の無線LAN環境を整えたと活用幅も広がると思うので、環境整備を充実する必要がある。</p> <p>研修会等を行って、ICT機器を活用した教員のリーダーづくりを推進し、その普及に努める必要がある。</p>	<p>デジタル教科書や教材を活用した研修会の実施とリーダーづくり。</p> <p>ICTを活用している先進校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施。</p> <p>ICT活用を支える支援員の活動内容の充実。</p>

今後の取り組み方針

デジタル教科書や教材を活用した研修会の実施とリーダーづくり。
 ICTを活用している先進校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施。
 ICT活用を支える支援員の活動内容の充実。
 問題作成データベースの継続導入により、学校教育の効率化を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定については、地域の実情並びに見積書等により適切に選定している。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-	外国語学習支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章5-(4)-7 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度 平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)

事業内容	小学校5・6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、市立小中学校へ外国語学習指導員の配置等の活動を支援する。			
------	---	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	0	9,051	9,624		
	(b)予算現額	4,450	9,051	9,624		
	(c)増減額(b-a)	4,450	0	0		
	(d)繰越額	-	0	0		
	A.計(b+d)	4,450	9,051	9,624		
	B.執行済額	3,888	8,461	9,267		
	うち交付金充当額	3,103	6,769	7,413		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	87.4%	93.5%	96.3%		
予算の状況の説明	小学校の外国語学習支援員(ALT)は、平成24年度に1人、25年度に1人増員し、平成26年度は中学校1人、小学校3人体制である。給与に関しては、平成24年度は15万円/月、25年度からは18万円/月に増額し支援員の処遇改善と人材の確保に努めている。外国語学習支援員を中学校1人、小学校3人の計4人を配置し、事業計画どおり執行ができた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	外国語学習支援員の配置	目標	小学校:2人 中学校:1人	小学校:3人 中学校:1人	(小学校:3人 中学校:1人)	()
		実績	小学校:2人 中学校:1人	小学校:3人 中学校:1人	小学校:3人 中学校:1人	
	目標	()		()	()	
	実績					
達成状況説明	ALTの学校訪問回数が少し減っているが、月に1～2回のミーティングの時間を設けたり、視察研修への参加がその理由である。ミーティングや研修、ALT相互の情報交換、新しい教材作成に時間を充てることで、ALTの資質の向上を図りさらに効果的な支援を図っている。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			外国語学習支援員配置数(小学校3人、中学校1人)	目標	(小学校:1人 中学校:1人)	(小学校:2人 中学校:1人)	(小学校:3人 中学校:1人)
		実績		小学校:2人 中学校:1人	小学校:3人 中学校:1人	小学校:3人 中学校:1人	
	[参考指標]標準学力調査及び県学力到達度調査での平均正答率	目標	(標準:60.5 到達:51.8)	(標準:61.0 到達:52.0)	(標準:61.5 到達:52.5)	(標準:52.1 到達:50.0)	(英語1年:70% 英語2年:60%)
	実績		標準:61.2 到達:53.1	標準:43.0 到達:47.8	標準:50.3 到達:46.8		

進捗状況説明	外国語学習支援員数は、目標値を達成しているが、2020年から英語の教科化に伴い、英語の授業時間が増えることを考えると、支援員数を増やす必要がある。 平均正答率について、標準学力調査(3年)では、25年度を比較した場合、約7ポイント上昇したが、到達度調査(2年)では1ポイント下がっている。特定の学校が平均正答率を下げている状況がある。 平成26年度の参考指標の目標は、前年度の実績にあわせて設定している。参考指標の目標が下がっているのは25年度の実績が下がっているためである。
--------	--

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>小学校の外国語活動は、小学校5・6年生のみ必修科目となっており、4年生以下の授業を支援機会が少ない状況がある。また、外国語活動の授業では、英語の語句を書いたり、教え込んだりすることができないため、数値化が難しい。</p> <p>中学校では、ALTの活用として、コミュニケーション活動に充てる学校が多い。</p>	<p>小学校に対し、5・6年生の授業を多く計画するよう提案したり、「総合的な活動の時間」に国際理解教育の時間をつくってもらったり、授業以外にALTを活用する。</p> <p>ALTを単元テストやミニテスト対策を中心とした授業に参加する機会を作ってもらおう。</p>

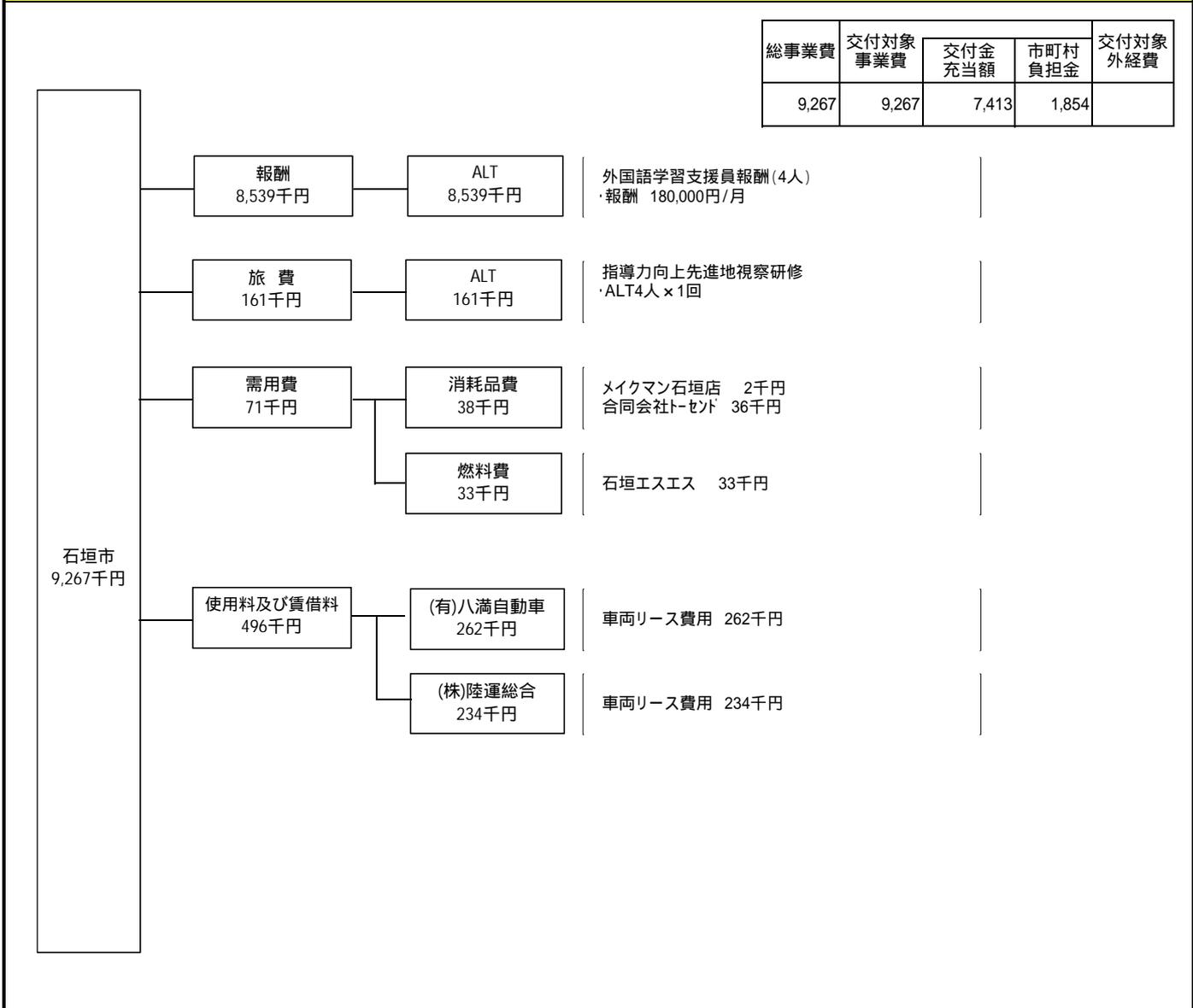
今後の取り組み方針

小学校では、5・6年生の外国語活動の授業を中心に、特別活動や総合的な学習の時間の中でALTを活用してもらいながら、できるだけ多くの児童と関われるように取り組んでいく。

中学校では、コミュニケーション活動を通し、授業で習ったことを運用できるような取組を実施し、同時にミニテスト等に向けて生徒をアシストできるような支援を行う。

すべての小学生が月1回程度の外国語支援員との授業を実施できるようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定方法については、公募により選考、採用している。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	児童・生徒派遣費助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の拡充 -3-(1)	
事業内容	児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,660	12,950	34,600		
		(b)予算現額	9,660	12,950	34,735		
		(c)増減額(b-a)	0	0	135		
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		9,660	12,950	34,735		
	B.執行済額		6,000	12,580	34,592		
	うち交付金充当額		4,800	10,064	27,673		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		62.1%	97.1%	99.6%		
予算の状況の説明		予算不足により、年度末の派遣に補助出来なかった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	児童生徒の派遣補助(県内・県外)	目標	(1,000人)	(2,000人)	(実施)	()	
		実績	1,097人	2,294人	実施		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市外又は県外で開催される大会等に派遣される児童・生徒に補助金を支給し、保護者の負担軽減を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	県内派遣完了	目標	()	(1,000人)	(2,000人)	(3,000人)	()
		実績		1,097人	2,294人	3,797人	
	県外派遣完了	目標	()	()	(295人)	(250人)	()
		実績			203人	301人	
	進捗状況説明	目標値は平成24、25年度の事業実績に基づき設定した。 県内派遣は、想定以上に多くの団体から申請があり、当初の見込み人数を上回る実績となった。 県外派遣については、県大会等の成績が良く、多くの児童生徒が派遣に行ったため、目標を上回る実績となった。					

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	コースアドバイザー事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部課名	いきいき学び課青少年係	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 -3-(1)	
事業内容	こどもたちの環境整備を図るため、不登校、引きこもり等の児童生徒への支援体制を整備する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,230	8,563	8,561		
		(b)予算現額	6,933	8,543	8,561		
		(c)増減額(b-a)	1,297	20	0		
		(d)繰越額	-	-	-		
		A.計(b+d)	6,933	8,543	8,561		
	B.執行済額	5,496	8,334	8,050			
	うち交付金充当額	4,396	6,667	6,440			
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	79.3%	97.6%	94.0%			
予算の状況の説明	使用料及び賃借料予算不足のため、需用費消耗品費より流用し執行した。共済費、旅費、需用費、役務費に執行残額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	コースアドバイザーの配置	目標	(3人)	(3人)	(配置)	()	
		実績	3人	3人	配置		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	石垣市教育委員会教育部いきいき学び課青少年センター内に平成24年9月より、コースアドバイザー3名を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	相談支援の受理件数	目標	17人			15件	()
		実績				12件	
		目標					()
		実績					
	進捗状況説明	H24年度、H25年度は、不登校児童の低減を目標にした。基準年度を事業開始前のH23年度の不登校児童数とし、成果目標を小学生1人、中学生1人を、学校復帰、進路決定に向け取り組むこととした。H26年度は、成果目標の設定を前年度より改善(わかりやすく)し、支援相談受理件数としている。相談事案のうち、進路決定等で3件、支援のリファ-3件、継続支援1件、その他5件(相談解決2件、家庭支援終了2件、支援拒否1件)となっている。受理件数15件の目標に対して12件であり、目標は達成できている。受理件数が増えることは、不登校・引きこもり等の児童生徒が多数いるということになることから、受理件数・相談件数の減は望ましいことと考えている。					

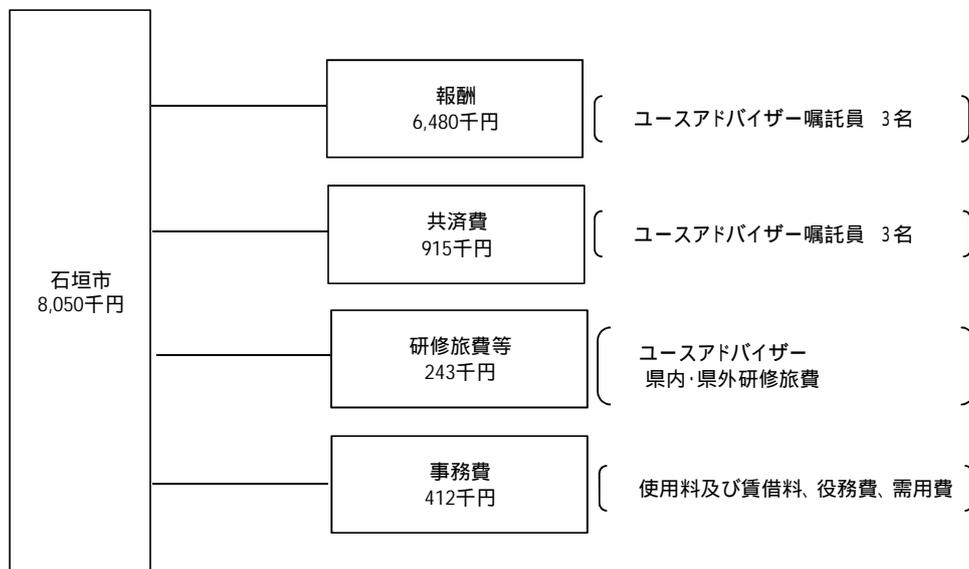
		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	不登校児童は、本人の事由(心因性、学校環境不適應)の場合や、家庭環境による場合等がある。本人によるところは、在籍校からの相談申請により連携し、取組むことが可能であるが、家庭環境、保護者に関しては、相談申請が厳しい状況にある。よって、家庭支援の相談体制を整える必要がある。 相談事案に対し、児童生徒への直接的な支援とあわせて、家庭支援が必要な場合は、センター職員(生活指導員)と連携し、総合的な支援体制を整える必要がある。 子ども若者相談事案に関する支援を行う必要がある。	在籍校からの相談申請時に、保護者の面談を実施し、家庭状況等を勘案し保護者支援を実施する。 子ども若者相談事案(原則39歳まで)への支援を次年度以降実施する。

今後の取組み方針

- ・家庭支援の必要性を、相談時に保護者面談を実施することにより把握し、保護者の理解を得る。
- ・義務教育課程以外の、子ども若者及び家庭支援を行う。
- ・子ども若者支援地域協議会の設置に伴い、相談事案の支援を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
8,050	8,050	6,440	1,610	



資金の流 れ、費 目 の 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定は、ユースアドバイザーを公募により選考し採用、旅費は、事前予約等により必要最小限の支出に努め、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 予算規模、費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費であり、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7- すこやか子育て支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-1
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度 平成24～33年度	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
		沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)

事業内容 幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施するため、保育士の配置を行う。

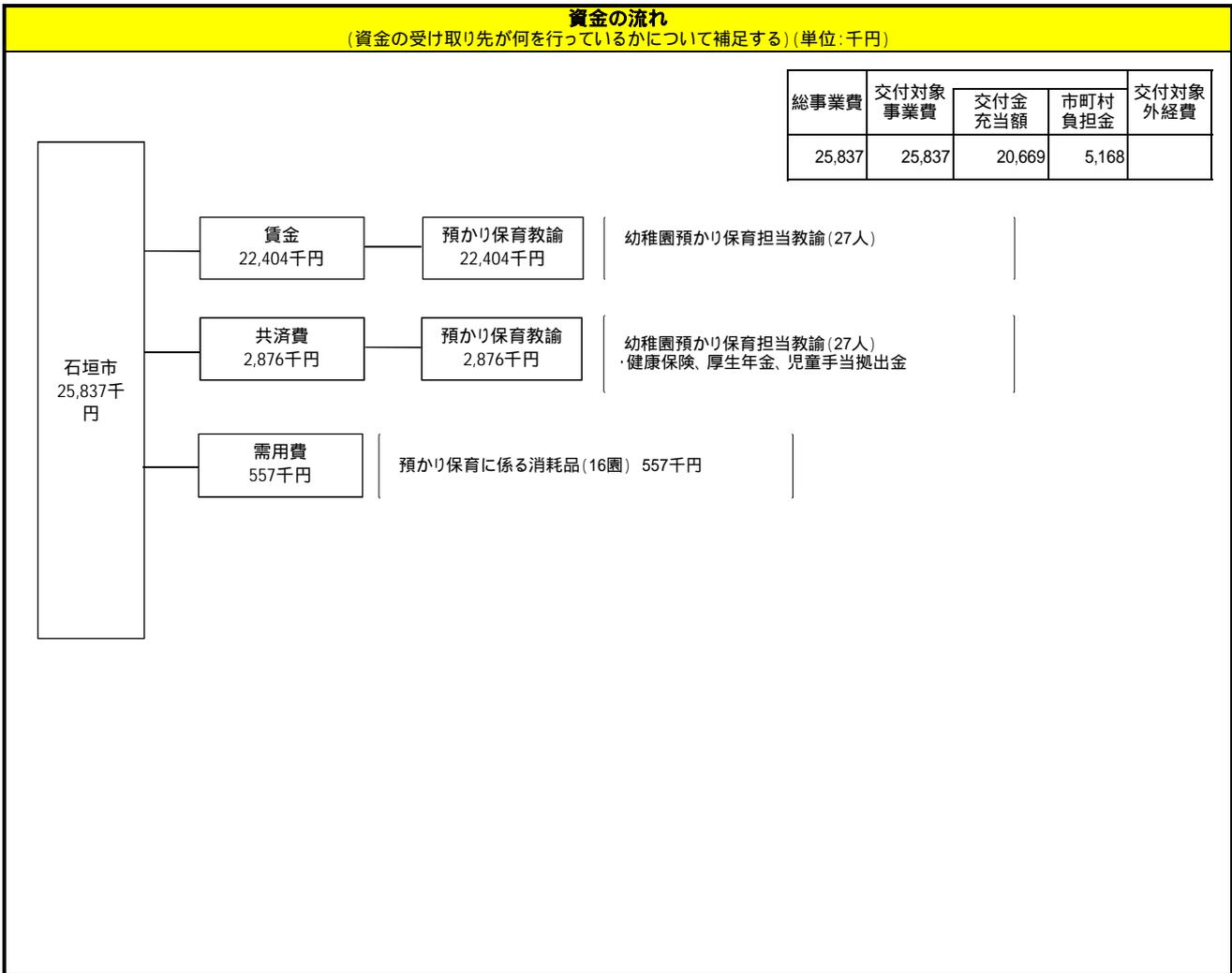
実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 ('交付金'+ '市町村負担' ベース)	(a)当初予算額	8,371	35,068	28,887		
	(b)予算現額	10,190	38,182	26,400		
	(c)増減額(b-a)	1,819	3,114	2,487		
	(d)繰越額	-	0	0		
	A.計(b+d)	10,190	38,182	26,400		
	B.執行済額	7,195	30,157	25,837		
	うち交付金充当額	5,789	24,125	20,669		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	70.6%	79.0%	97.9%		
	予算の状況の説明	事業開始当初4月において、16園中3園に職員の配置ができなかったため、用人賃金分2,487千円の減額補正(3月補正)を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
預かり保育担当者設置数 幼稚園16人	目標	(4人)	(7人)	(16人)	()
	実績	4人	7人	16人	
新規預かり保育3園実施	目標	()	(3園実施)	(3園実施)	()
	実績		3園実施	該当無し	
市内預かり保育4園実施に伴う備品購入	目標	()	(4園備品購入)	(4園備品購入)	()
	実績		4園備品購入	該当無し	
達成状況説明	H26年度4月より18園中16園にて地域の事態に応じた預かり保育を実施。保護者の就労支援と子育ての支援が図られた。新規預かり保育3園実施並びに市内預かり保育4園実施に伴う備品購入については、H25年度末に完了することができたため、H26年度においては該当しない。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
			市内全園預かり保育の実施	目標	(0園)	(4園)
	実績		4園	7園	全園	
幼稚園における預かり利用者の増加数 受入増数:130名見込み	目標	()	(80人)	(130人)	(130人)	(320人)
	実績		19人	106人	236人	
市内預かり保育4園実施に伴う備品購入完了	目標	()	()	(4園備品購入完了)	(4園備品購入完了)	()
	実績			4園備品購入完了	該当無し	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	預かり保育について、H25年度は夏季休業中の8月に残り3園が実施したことで全園実施となったが、H26年度は4月当初より全園で開始した。預かり保育利用者数は、給食を希望する保護者が多い。また、保育士を確保するための処遇改善に取り組んでいく。幼稚園における預かり利用者の増加数については、全園実施となったことで目標を達成できた。市内預かり保育4園実施に伴う備品購入については、H25年度末に完了することができたため該当無しとなった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	H24年度預かり保育に関する調査では、7割近くの保護者が預かり保育を希望している。H26年度は、年度当初から全園対象に実施したが、極小規模園においては定員割れ、大規模園においては待機等、地域の実情に応じて利用者数に差異がみられた。	預かり保育定員数の見直しや預かり保育担当者の処遇改善を図る。
今後の取り組み方針		
保護者の就労支援及び子育て支援を図るため、預かり定員数を改正し目標数の達成を目指す。預かり保育担当者研修会を年3回実施し、預かり保育の充実や担当者の資質向上に資する。		



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定は、公募により選考、採用しており預かり保育実施園並びに定員数により適切に配置している。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

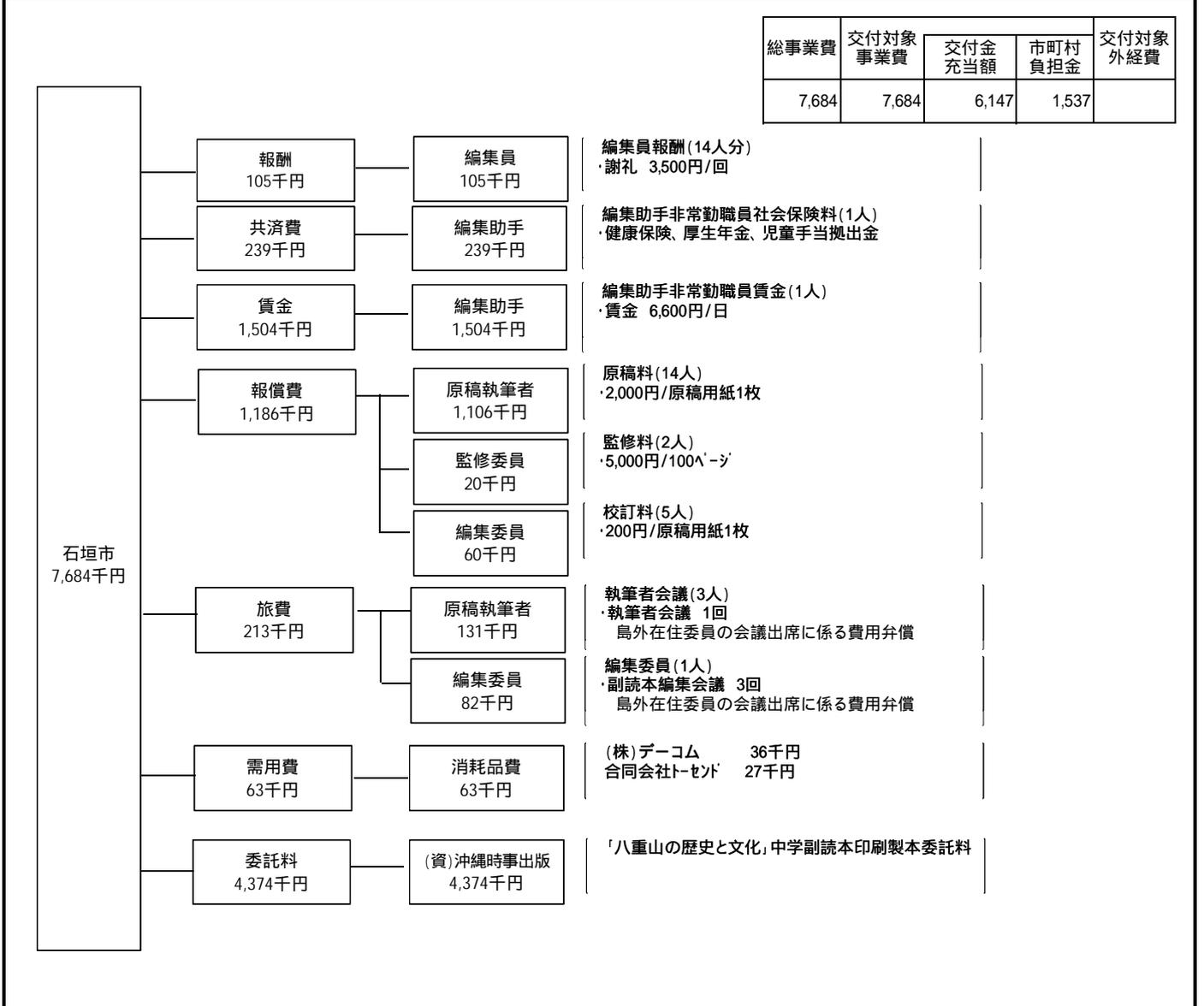
市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	「八重山の歴史と文化」編集・発刊事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-7	
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり -3-(1)	
事業内容	本市の中学生に郷土の歴史や文化に理解を深めてもらうための冊子を編集・刊行する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)			2,691	7,506		
				2,691	7,765		
			0	0	259		
			-	0	0		
			0	2,691	7,765		
	B.執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額			492	7,684		
				393	6,147		
			0	0	0		
			#DIV/0!	18.3%	99.0%		
予算の状況の説明	平成26年度末で「八重山の歴史と文化」副読本の完成に至り、99%の執行率となっている。 市賃金職員管理規程の一部改正により、賃金職員の報酬の賃金加算分19千円について増額補正(9月補正)を行っている。 賃金職員に係る共済費(社会保険料)240千円について増額流用を行っている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	項目立て、編集委員(執筆者)の配置及び調査研究を行い発刊。	目標	()	()	(編集員配置副読本発刊)	()	
		実績			編集員配置副読本発刊		
		目標	()		()	()	
	実績						
達成状況説明	編集委員会を小委員会(歴史、文化、自然、資料)に分け、10人の委員を配置。また執筆者を専門分野に9人配置した。執筆者より原稿の提出が遅れたが、予定どおり平成26年度末で「八重山の歴史と文化」郷土学習書を発刊できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	郷土学習書の発刊	目標	()	()	()	(2,500部)	()
		実績				2,500部	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	編集委員会を3回、執筆者会議を1回開催している。 「八重山の歴史と文化」郷土学習副読本を2,500部発刊できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>原稿提出の遅れがあり、編集作業に影響があった。</p> <p>編集委員の日程調整が難しく、編集会議の変更が相次いだ。</p>	<p>学校指導課内に事務局をおくと、他の業務に支障が起きるため、外部の専門機関の業者への委託が望ましい。</p>

今後の取り組み方針

中学校の授業での活用を働きかける。
郷土を学ぶ入門資料としては、これまでに無い豊富な資料を盛り込んだ教材となっているため、今後も継続して学校へ配布できるよう予算化を図る。
市内全中学校に石垣市の子どもたちが郷土の歴史や文化、自然に誇りと愛着を持つ人間の育成を図るため、郷土を学ぶ教材として配布する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支払先の選定方法については、本事業の目的達成のため必要な見識を有する者を選定、採用しており適正である。また、旅費は事前予約等の割引を活用している。 費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

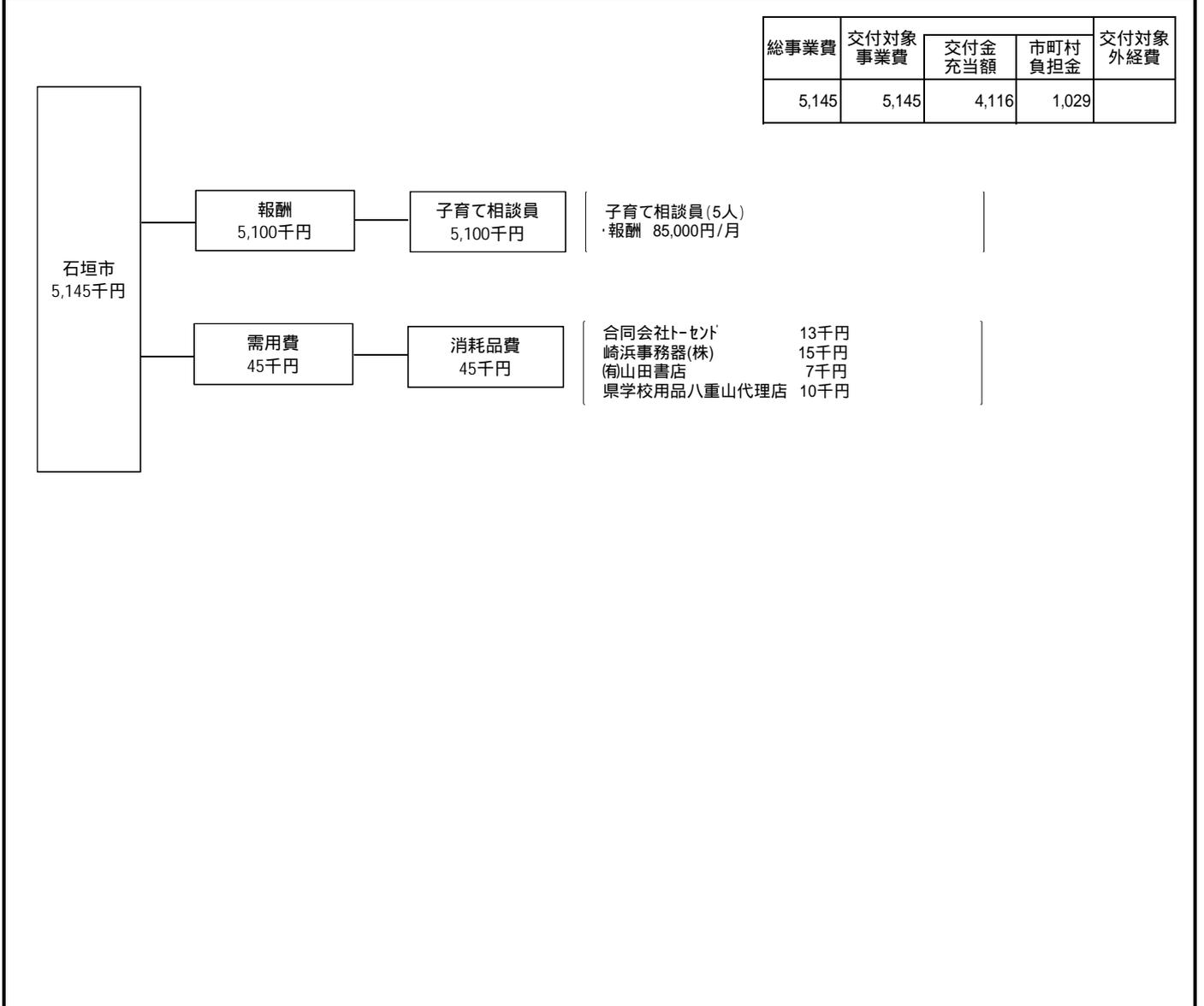
市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	地域交流子育て相談事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-1	
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 -3-(1)	
事業内容	市街地の幼稚園5園に相談員を配置し、多様なニーズに対応した育児相談等の地域子育て支援、保育サービスの充実、児童の幼児期の教育に関する相談を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		4,250	5,150		
		(b)予算現額		4,250	5,150		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	-	0	0		
		A.計(b+d)	0	4,250	5,150		
	B.執行済額			3,805	5,145		
	うち交付金充当額			3,044	4,116		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)			89.5%	99.9%		
予算の状況の説明		事業計画どおり子育て相談員5人を配置し、円滑な事業執行ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	地域子育て相談員配置	目標	()	(配置)	(配置)	()	
		実績		配置	配置		
		目標	()		()	()	
		実績					
達成状況説明	子育て相談員を市内3園、農村地区2園の5園に配置し、全幼稚園で子育て相談事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	子育て相談業務件数	目標	()	()	(50件)	(180件)	()
		実績			24件	98件	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成26年度は、地域交流子育て相談事業運営委員会を開催し、事業の周知徹底を図った。また、子育て講演会を開催したり、全幼稚園(18園)で子育てに関する相談(98件)に応じたりする等、地域における幼児期の教育センター的役割を担うことが出来た。一方で、全18園に対して5名の相談員が配置園(拠点となる園)において相談対応しており、配置園以外での相談件数が伸びなかったことで目標値に達しなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域交流子育て相談事業運営委員会を開催し、事業内容の周知徹底を図ったことで、前年度よりも相談件数が多くなったが目標値には届かなかった。	相談しやすい環境づくりや担当園との更なる構築へ向けた取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

相談員連絡会を月1回開催し、情報交換会や今後の相談活動について、更なる取り組みを図り目標件数の達成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支払先の選定方法については、公募により選考、採用している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものが等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-		平和推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ	
	市民保健部 市民生活課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開	
担当部署名						- 3 - (1)	
事業内容	次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる。また「沖縄慰霊の日」に『全戦没者追悼式並びに平和祈念式』等を実行し、石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを強化する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,308	2,019	2,493		
		(b)予算現額	5,308	2,019	2,200		
		(c)増減額(b-a)	0	0	293		
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	5,308	2,019	2,200		
	B.執行済額		5,077	1,911	1,695		
	うち交付金充当額		4,062	1,528	1,356		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		95.6%	94.7%	77.0%		
予算の状況の説明		12月補正で普通旅費の予算293千円を減額した。不用額504千円については派遣旅費の減や委託料の見積による減額、消耗品数量の減などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	広島・長崎への平和大使派遣	目標	(-)	(派遣)	(派遣)	()	
		実績	-	派遣	派遣		
	平和フォーラム・講演会開催	目標	(-)	(-)	(開催)	()	
		実績	-	-	開催		
	平和モニュメント屋外説明プレート作成	目標	(-)	(-)	(作成)	()	
実績		-	-	作成			
達成状況説明	「広島・長崎への平和大使派遣」については、例年通り「平和を考える絵画・作文」の上位入賞者を派遣し、平和を考え平和を学ぶ機会をつくることができた。 平和フォーラム等は目標通り開催した。 「平和モニュメント屋外説明プレート」を作成し、島内に残されている慰霊碑等を市民を始め多くの人に周知することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	広島・長崎への平和大使派遣	目標	()	(-)	(4人)	(4人)	()
		実績		-	4人	3人	
	平和フォーラム等参加者	目標	()	(-)	(-)	(700人)	()
		実績		-	-	700人	
	平和モニュメント屋外説明プレート作成	目標	()	(-)	(-)	(3体)	()
		実績		-	-	2体	
進捗状況説明	「広島・長崎への平和大使派遣」については、目標の4人に対し実績は3人とどまった。これは派遣生徒の家庭の事情による辞退があったためである。 「平和フォーラム等の開催」については目標を達成し、「平和大使派遣」等これら一年間の平和推進事業について「平成26年度石垣市平和推進事業」冊子を作成、市内小中学生に配布したことで、児童生徒が平和を考え平和を学ぶ機会づくりができた。 「平和モニュメント説明プレート」は予定のうち2体作成した。残る1体については、設置にあたり調整が必要となったため、作成にいたらなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>終戦から長い年月が経ち戦争を体験した世代が少なくなるなか、戦争の記憶を風化させないための取組がますます重要になっている。</p> <p>広島・長崎平和大使の派遣</p> <p>・市内全小中学校、庁内他課の協力及び派遣先との連携のもと行うことができた。</p> <p>平和フォーラム等への取組み</p> <p>・「対馬丸」の悲劇から70年の節目の年に体験者をお招きして講演会を開催し、大変意義のある内容となった。</p> <p>平和モニュメント屋外説明プレート作成</p> <p>・対象モニュメントの決定は管理者(団体)との調整や継承意義の検討等、慎重に推進する必要がある。</p>	<p>この事業を進めるにあたり、関係機関の意見をくみ取る必要がある。</p> <p>「マリア犠牲者、全戦没者追悼式並びに平和祈念式」</p> <p>・計画通りの回数、参列者で執り行うことができ、今後も市民団体等の協力を得ながら、同様に執り行っていく。</p> <p>広島・長崎平和大使の派遣</p> <p>・今後とも関係先との協力、連携のもと遂行していく。</p> <p>平和モニュメント屋外プレート作成</p> <p>・平和調整委員会の意見等を取り入れ、作成対象モニュメントを決定する。</p>

今後の取り組み方針

広島・長崎平和大使の派遣

・今後とも関係先との協力、連携のもと遂行していく。

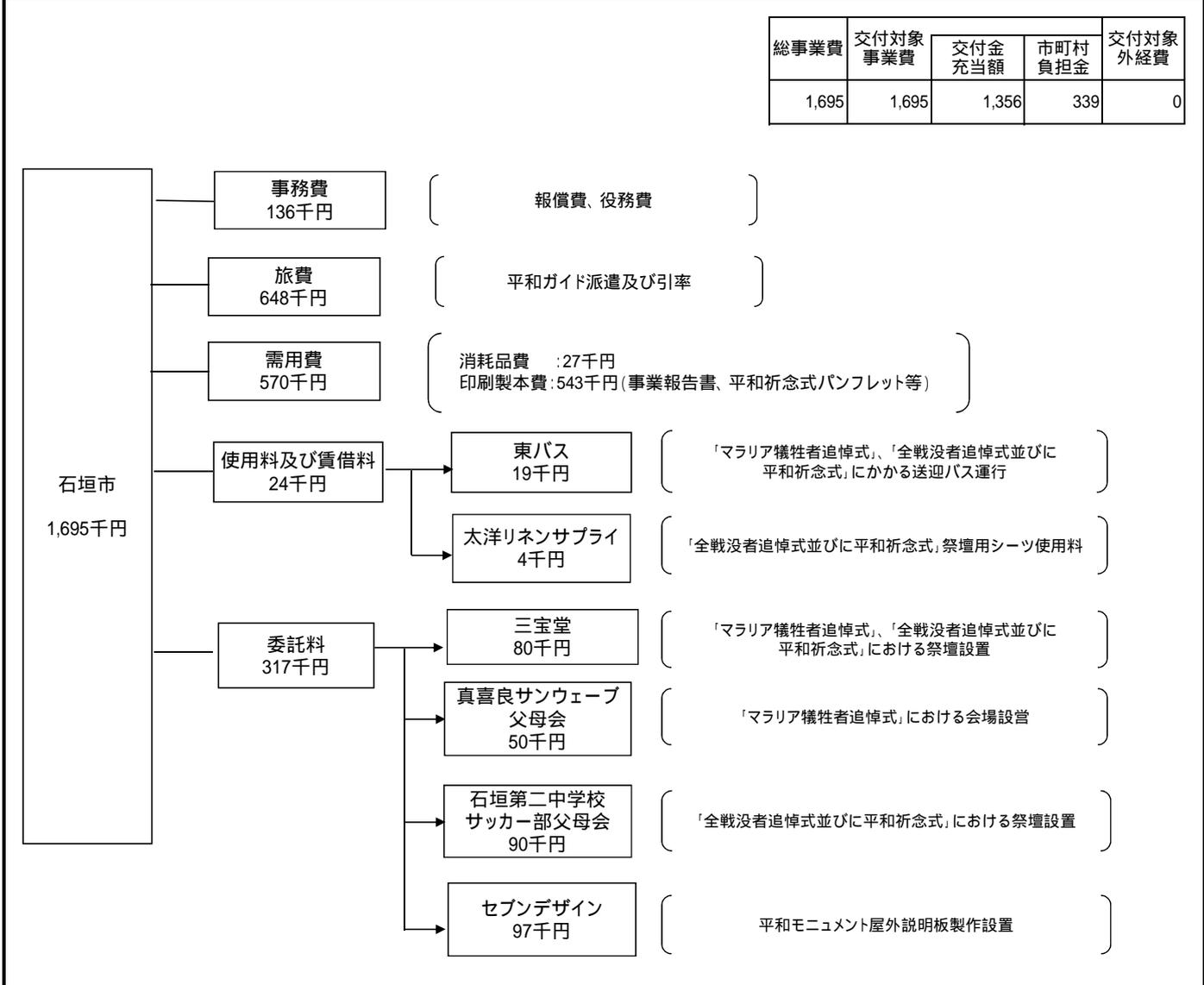
平和フォーラム等への取組み

・戦争体験者の声を聞く機会をつくる。

平和モニュメント屋外説明プレート作成

・継続して作成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



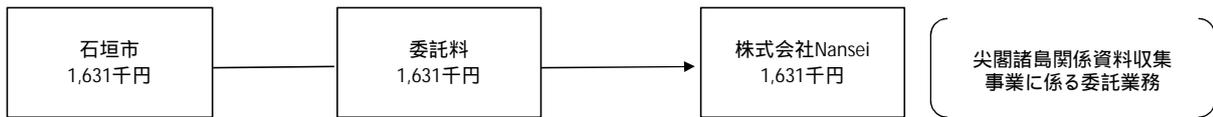
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先はそれぞれの業務内容において妥当であった。予算規模、費目・用途については、事業内容や事業目的達成の観点から適正であるか支出等に関する書類により確認したところ、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	尖閣諸島関係資料収集事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育部 市史編集課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 -3-(1)	
事業内容	尖閣諸島に関するこれまでの動向を概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事を収集し、日付や内容等から目的の記事が検索できるようデータベースを構築する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		1,572	1,652		
		(b)予算現額		1,004	1,652		
		(c)増減額(b-a)		568	0		
		(d)繰越額		-	-		
	A.計(b+d)			1,004	1,652		
	B.執行済額			983	1,631		
	うち交付金充当額			786	1,304		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			97.9%	98.7%		
予算の状況の説明		事業計画通りに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	戦前・戦後の新聞及び官報から収集された記事をデータベース化する。	目標	戦後の地元紙から(記事の収集・データベース化を実施。	()	()	()	()
		実績	戦後の地元紙から記事の収集・データベース化を行なった。				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	H25年度より事業を実施しており、H25年度には戦前の新聞記事、官報から尖閣諸島関係記事の収集を行っている。H26年度には、戦後の地元紙(八重山毎日新聞・八重山日報)から尖閣諸島関係記事の収集を行ない、データベース化、記事を日付や見出しで検索可能な簡易検索機能も構築した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	新聞等のデータベース化:500件	目標	()	(500件)	()	()	()
		実績		1,007件			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	戦後の地元紙(八重山毎日新聞・八重山日報)から尖閣諸島関係記事の収集を行い、データベース化、記事を日付や見出しで検索可能な簡易検索機能も開発した。新聞のデータベース化:1,007件					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>収集対象新聞の使用権を有している事業者に業務委託を行い、戦後発行の地元紙(八重山毎日新聞・八重山日報)から尖閣関係記事の収集・データベース化を行った。併せて、当該記事を日付や見出しで検索可能な簡易検索機能も構築した。</p>	<p>収集対象新聞の使用権を有している事業者に業務委託したことで、効率的な記事の収集及び記事のデータベース化が図れた。</p>
今後の取り組み方針		
<p>H25年度にテキストデータ化した記事のデータベース化、県紙から尖閣関係記事の収集・データベース化を行い、Web上での公開に向け事業の推進を行って行く。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,631	1,631	1,304	327	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	収集対象新聞の使用権を有する事業者に業務を委託しており、妥当であったと考慮する。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の2%以内であり適正な規模であったと考慮する。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目、使途については事業目的に即し、必要なものであったと考慮する。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

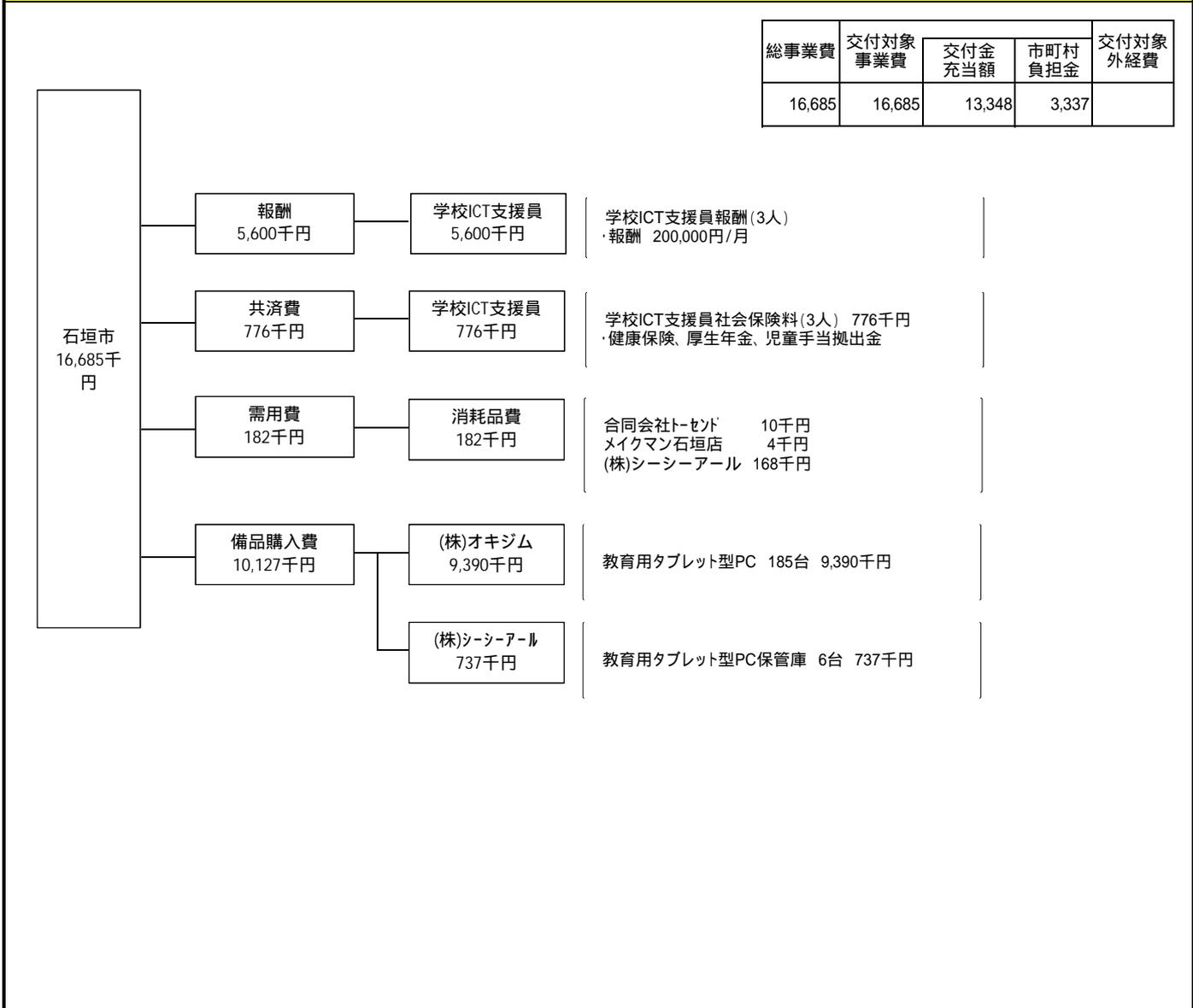
市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	ICT教育充実事業(情報端末器配備事業)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-7	
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会・情報社会に対応した教育の推進 -3-(1)	
事業内容	情報端末機(タブレット型PC)を活用することにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えた特別教育の充実とICT教育の推進による学力の向上、さらに主体的な活動及び遠隔協働学習を取り入れた「21世紀型スキル」を身に付けた人材の育成を図る。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		31,832	16,239		
		(b)予算現額		31,832	20,739		
		(c)増減額(b-a)	0	0	4,500		
		(d)繰越額	-	0	0		
		A.計(b+d)	0	31,832	20,739		
	B.執行済額		27,753	16,685			
	うち交付金充当額		22,202	13,348			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)		87.2%	80.5%			
予算の状況の説明	消耗品費についてタブレット型PCケース購入を計画していたが、調達機種に適合する製品を調達できなかったため、2410千円の不用額となった。 報酬、共済費について、ICT学校支援員の配置が6月に1人、7月に2人となったことにより524千円が不用額となった。 備品購入費について、タブレットPC購入に係る入札残400千円となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	タブレット型PCを整備する。	目標	()	(小学校20校 特別支援学級 14学級)	(整備)	()	
		実績		小学校20校 特別支援学級 14学級	整備		
		目標	()		()	()	
		実績					
	達成状況説明	教育用タブレット型PC185台にアプリケーションをインストールして中学校9校に平成26年8月に配布完了。 教育用タブレット保管庫6台を中学校9校に平成26年8月に購入・設置完了。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	タブレット型PCの整備(全中学校に1学級分)	目標	()	()	(小学校20校 特別支援学級 14学級)	(全中学校に 1学級分)	()
		実績			小学校20校 特別支援学級 14学級	全中学校に 1学級分	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	教育用タブレット型PC185台にアプリケーションをインストールして中学校9校に平成26年8月に配布完了。 教育用タブレット保管庫6台を中学校9校に平成26年8月に購入・設置完了。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>小学校では、電子黒板や無線LANが整備されたが、電子黒板とタブレットPCを連携するシステムが構築されていない。また、回線速度や対応機器が使用台数に対応できないなどの欠点もある。</p> <p>中学校では、タブレット型PCを整備したが、その活用のためにさらなる無線LAN環境の整備と充実が必要である。 研修等で活用方法について研究を深め、利用状況が良くなれば学習効果が得るものと考ええる。</p>	<p>タブレット型PC等の有効活用のための研修会の実施。</p> <p>ICTを活用している先進校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施。</p> <p>ICT活用を支える支援員の充実。</p>

今後の取り組み方針

タブレット型PC等の有効活用のための研修会の実施とミドルリーダーの育成。
 ICTを活用している先進校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施。
 ICT活用を支える支援員の充実。
 校内ネットワーク環境(無線LAN、小型サーバー)の整備。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



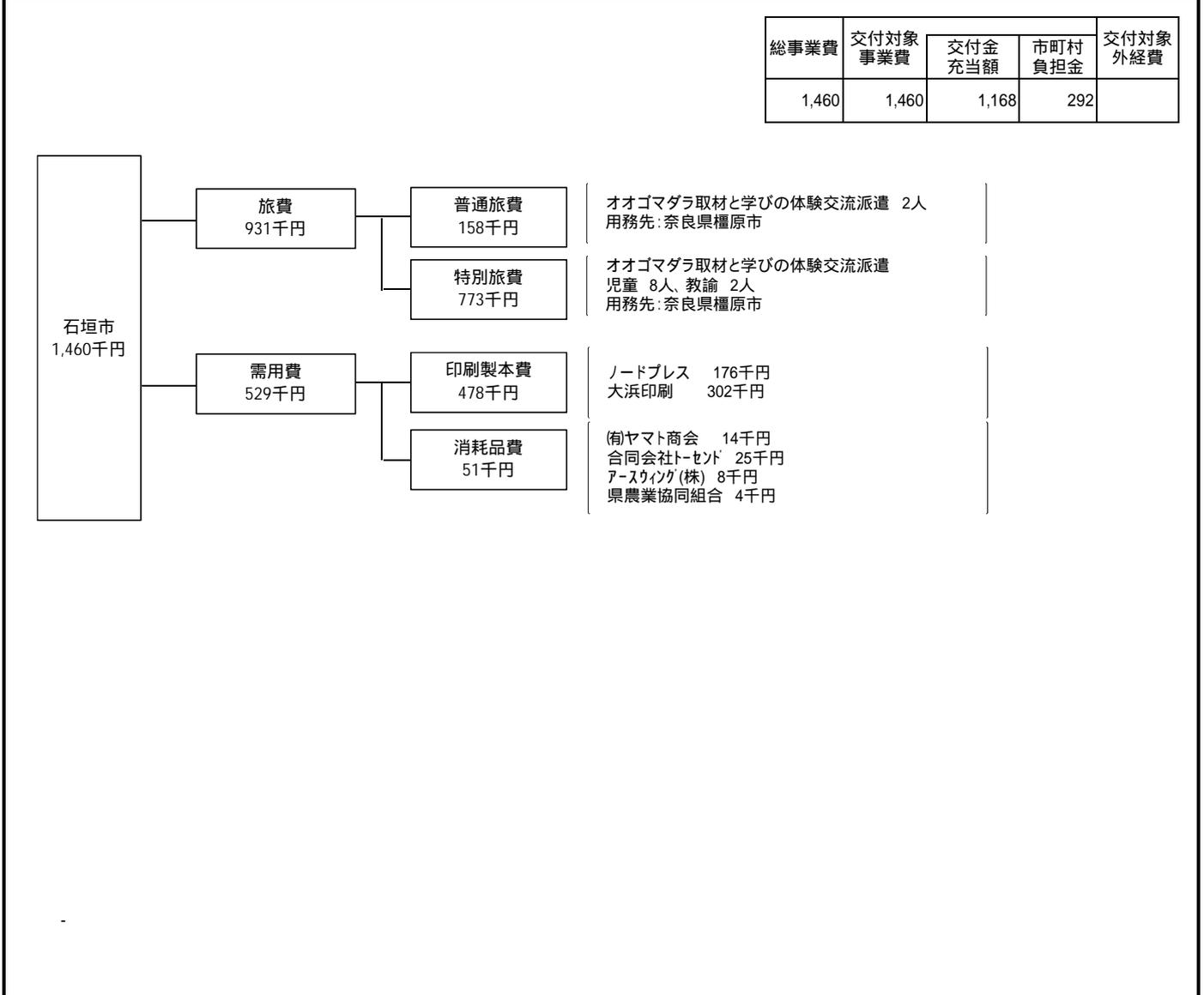
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>支払先の選定方法については、公募により選考、採用している。また、備品購入等に当たっては地域の実情及び見積書により適切に選定している。</p> <p>費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7- オオゴマダラ地域交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-7			
	教育 学校指導課		事業実施(予定)年度 平成25～29年度		教育機会の拡充			
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-3-(1)			
事業内容	奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			2,320	2,020		
		(b)予算現額			2,320	1,552		
		(c)増減額(b-a)		0	0	468		
		(d)繰越額		-	0	0		
		A.計(b+d)		0	2,320	1,552		
	B.執行済額			1,766	1,460			
	うち交付金充当額			1,413	1,168			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率(%) (B/A)			76.1%	94.1%			
予算の状況の説明		奈良県橿原市との交流活動として指導主事2人、小学校教諭2人、児童8人の派遣研修旅費については、ホテルパック等を利用し経費を抑えられたことで執行残627千円となった。オオゴマダラ飼育・観察に係る教材購入等概ね事業計画どおりに執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成	目標	()	(作成)	(作成)	()		
		実績		作成	作成			
	児童が橿原市昆虫館での取材活動を行うための派遣実施	目標	()	(児童8名派遣100%)	(派遣)	()		
		実績		児童6名派遣75%	派遣			
達成状況説明	平成26年11月に奈良県橿原市の昆虫館へ8名の児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行った。平成27年3月に、オオゴマダラの生態と飼育に関する「副教材」「飼育・観察ノート」を作成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	オオゴマダラの生態と飼育に関する教材作成完了	目標	()	()	(作成完了)	(作成)	()	
		実績			作成完了	作成		
	児童が橿原市昆虫館で取材活動を行うための派遣完了	目標	()	()	(派遣完了)	(派遣完了)	()	
		実績			派遣完了	派遣完了		
	昆虫館取材後の学習報告会の完了	目標	()	()	(報告会実施)	(報告会実施)	()	
		実績			報告会実施	報告会実施		
	進捗状況説明	平成26年11月に奈良県橿原市の昆虫館へ8名の児童を派遣し、取材と学びの体験交流を行った。平成26年12月に石垣市オオゴマダラ体験交流報告会を実施した。平成27年3月に、オオゴマダラの生態と飼育に関する「副教材」「飼育・観察ノート」を作成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>奈良県橿原市昆虫館の好意で「オオゴマダラ出前授業」を行った。地域独自の開催はできないか、バナナ公園(蝶園)との連携も含め検討が必要である。</p> <p>5月の連休明けからの20校同時観察となるため、観察に必要な卵の確保が難しく、橿原市昆虫館に依頼している。しかし、冷蔵による輸送のためかほとんどが孵化しない現状がある。島内で卵を確保するシステムを構築する必要がある。</p> <p>副教材と飼育観察ノートの改善。</p>	<p>橿原市昆虫館並び地域の蝶園(バナナ公園蝶園)との連携の在り方。</p> <p>各学校に蝶園を設置し、オオゴマダラの卵や食草を確保する取組を行う必要がある。近隣校には、立派な蝶園を設置した学校もあり、卵や食草を確保するなどの連携を図る。</p> <p>副教材と飼育観察ノートを専門機関に見てもらい、改善・充実を図る。</p>

今後の取り組み方針
<p>各学校に蝶園を設置し、オオゴマダラの卵や食草を確保する取組を行う必要がある。</p> <p>近隣校との連携。</p> <p>副教材と観察飼育ノートの改善。</p> <p>橿原市昆虫館及びバナナ公園(蝶園)との連携の在り方。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>支払先の選定方法については、見積書等により適切に選定している。旅費は事前予約による割引等を活用している。費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-	学力底上げ推進支援に係る支援員派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
担当部課名	教育部 学校指導課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 -3-(1)		
事業内容	市街地校の各小中学校に学校教育支援員を配置し、授業等をサポートすることで、学校の状況に応じた適切な学習や体験活動の支援を行い、児童生徒の学力向上を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			27,000	49,130		
		(b)予算現額			27,000	39,600		
		(c)増減額(b-a)		0	0	9,530		
		(d)繰越額		-	0	0		
	A.計(b+d)			0	27,000	39,600		
	B.執行済額				17,970	39,502		
	うち交付金充当額				14,376	31,602		
	次年度繰越額			0	0	0		
	執行率(%) (B/A)				66.6%	99.8%		
予算の状況の説明		平成26年12月に学校教育支援員26人目を配置し完了した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	各小中学校に学校教育支援員配置	目標	()	(配置)	(配置)	()		
		実績		配置	配置			
		目標	()		()	()		
		実績						
達成状況説明	4月当初に20名の学校教育支援員が確保できなかった。2学期より、適切な人材が確保できるようになったので、予算の範囲内で派遣した。平成26年12月までに学校支援員26人を配置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	支援員導入率:72%	目標	()	()	(72%)	(72%)	()	
		実績			58.3%	100%		
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	4月当初に20名の学校教育支援員が確保できなかった。2学期からは、学校教育支援員として適切な人材が確保できるようになったので、予算の範囲内で増員した。平成26年12月までに市内13校に学校支援員26名を配置した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>学校教育支援員は、1日6時間、週29時間の勤務形態を取っているが、学校現場からは、フルタイムを希望する声が大きいので平成27年度は、フルタイムの形態に変更した方が良い。</p> <p>支援員を配置した各小中学校からは、大変素晴らしい事業で是非拡大して欲しいとの要望があるので、増員を図る。</p> <p>支援員の有効活用に向けた研修や実践校を視察して、支援活動の改善を図る。</p>	<p>平成27年度は、勤務形態をフルタイムに変更し、支援活動の充実を図る。</p> <p>市立小中学校のほとんどの学校で、支援員を希望しており、増員と予算の確保が必要である。</p> <p>支援員を活用している先進校を視察し学力向上に結びつく有効な配置を計画する。 講師を招聘しての研修会等を実施し、支援員のレベルアップを図る。</p>

今後の取り組み方針

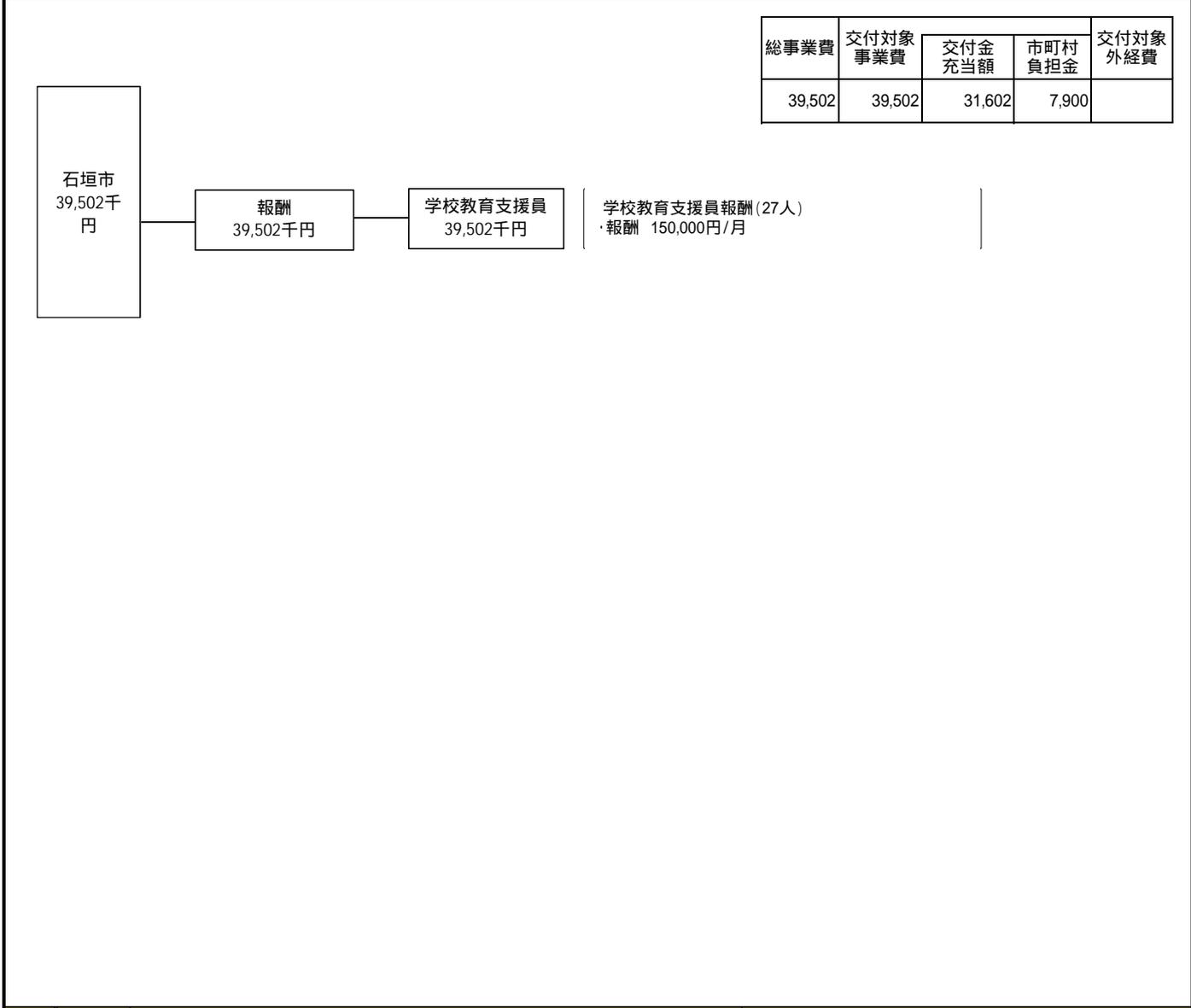
市立小中学校のほとんどの学校で、支援員を希望しており、増員と予算の確保を図る。

勤務時間をフルタイムに変更し、活動の充実を図る。

支援員を有効に活用するため、先進校を視察し学力向上に結びつく有効な配置を計画する。

講師を招聘しての研修会等を実施し、支援員のレベルアップを図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支払先の選定方法については、公募により選考、採用している。 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

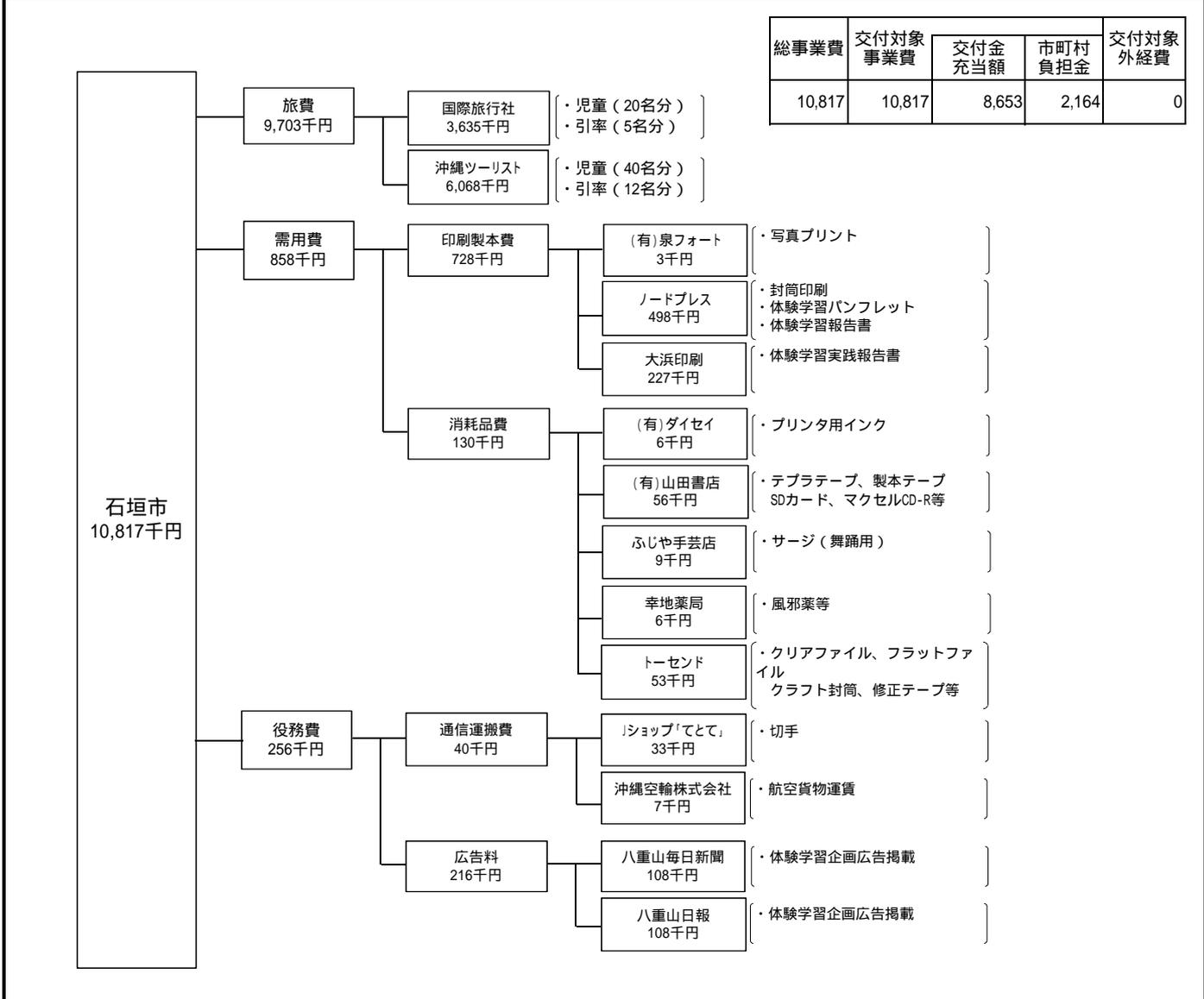
市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7 -		体験学習助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
	国際社会、情報社会に対応した教育の推進							
担当部署名	教育部 いきいき学び課		事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)	
事業内容	本市に住んでいる児童・生徒の体験学習の機会が制限されているため、他の地域に比べて児童・生徒の体験学習の機会の格差が生じている。他府県と本市の文化や芸術、産業での相違を学習しながら人的交流を推進し、学習向上を図り児童、生徒のコミュニケーションスキルを高める。また、東日本大震災の被害にあった地域を体験学習することにより、「共感」「思いやり」の心を育む。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			8,731	11,344		
		(b)予算現額			8,571	11,344		
		(c)増減額(b-a)			160	0		
		(d)繰越額			-	-		
		A.計(b+d)			8,571	11,344		
	B.執行済額				8,469	10,817		
	うち交付金充当額				6,797	8,653		
	次年度繰越額				0	0		
	執行率(%) (B/A)				98.8%	95.4%		
予算の状況の説明		本事業の計画内容は実施することができた。活動目標及び成果目標の達成・進捗状況より適正に執行したものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	体験学習の実施(京都・奈良)	目標	()	(小学生20名)	(小学生20名)	()		
		実績		小学生20名	小学生20名			
	体験学習の実施(東京)	目標	()	(中学生30名)	(中学生20名)	()		
		実績		中学生30名	中学生20名			
	交流体験学習の実施(岩手県北上市)	目標	()	()	(中学生20名)	()		
		実績			中学生20名			
	体験学習報告会の開催	目標	()	()	(1回)	()		
		実績			それぞれ1回			
達成状況説明		児童、生徒合計60人で体験学習を実施することができた。中学生において、石垣市の現状、八重山の文化・歴史、八重山と関連する沖縄の文化、慶應義塾について様々な観点から講師を招聘し全5回の事前学習会を開催した。その学習会で習得した知識をもとに、東大生と意見交換会を行うなど有意義な学習ができた。また、慶應義塾大学、国会議事堂、日本銀行など、離島にいとかなか行くことができない施設等の体験もでき貴重な体験学習となった。10月より事業化された、岩手県の北上市との交流事業は、学校指導課の協力のもと、北上市の中学生と、お互いの文化について、また、東日本大震災による津波体験や、240余年前に本市が経験した明和の大津波の被害を話し、今後の災害への対応等について学習を行い、交流を深めた。帰島後は、市民向けに報告会を開催し、総まとめとして実績報告書の作成も行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	体験学習報告会の開催	目標	()	()	(1回)	(1回)	()	
		実績			1回	1回		
	アンケートを実施し、体験学習を通して「共感」や「思いやり」の心が育まれるなど、事後の意識向上率85%以上達成。	目標	()	()	()	(85%以上)	()	
		実績				90%		
進捗状況説明		体験学習に向けての事前、事後学習及び報告会等、概ねスケジュールどおり進捗できた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習に向けての事前、事後学習及び報告会準備等において、中学校の行事が多く、参加のスケジュール等に苦勞した。 ・さらに、岩手県北上市との交流事業を追加で行うこととなり、上記と合わせたスケジュール管理に苦勞した。 ・今年度体験学習に参加した生徒については、次年度の体験学習における事前学習のサポート要員として活用すると、よりよい体験学習ができるのではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校指導課など関係する部署と連携を密にしながらい計画を立てて実行する必要がある。 ・参加者の選定時に、次年度の体験学習事前学習会のサポート要員となることも条件として挙げ、より良い事前学習を行いたい。

今後の取り組み方針

本市の児童・生徒の学力向上とコミュニケーション能力を高め、キャリア教育に資するため、このような体験学習の場を増やしていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定については、本市財務規則に基づき、見積合わせ等により行い、妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については事業目的達成の観点から、必要なものであるのか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認し、適正であった。また児童・生徒・引率の参加者全員は旅行命令に基づき体験学習に臨んだ。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	保険料や拝観料、飲食代等については参加者負担とした。

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7 - 子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (1) - ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	いきいき学び課青少年係	事業実施(予定)年度	平成26～33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 3 - (1)

事業内容
石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者に対し、地域の関係機関・個人がネットワークを形成し連携し、第一次的な窓口として総合相談センターにおいて相談対応を行う。また、対象者の把握のために実態調査を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額		3,422			
		(b)予算現額		2,702			
		(c)増減額(b-a)		720			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)		2,702			
	B.執行済額				2,039		
	うち交付金充当額				1,631		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				75.5%		
	予算の状況の説明		本事業の目的達成のため、ひきこもり等の実態把握が必要であることから、アンケート調査を実施する旨の事業計画変更を行い、費用については車両賃借料を流用した。巡回訪問車両の未配備による賃借料及び子ども若者相談員の8月配置に伴い人件費・共済費の執行残が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
相談対応の実施	目標	()	()	(実施)	()
	実績			実施	
	目標	()	()	(調査実施)	()
	実績			調査実施	
達成状況説明	石垣市教育委員会教育部いきいき学び課青少年センター内に平成26年8月より、子ども若者相談員を1名を配置し、平成27年2月に「ひきこもり等の実態把握に関するアンケート調査」を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		子ども若者の受理相談件数	目標	()	()	()	(60件)
	実績					75件	
	対象者の実態把握	目標	()	()	()	(実施)	()
実績					実施		
進捗状況説明	石垣市教育委員会教育部いきいき学び課青少年センター内に平成26年8月より、子ども若者相談員を1名を配置し、平成27年2月に「ひきこもり等の実態把握に関するアンケート調査」を実施した。子ども若者の受理相談件数(平成26年度実績)について、相談者8名に対し延べ75回の相談(電話・来所)に応じた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>義務教育期間の子ども達の不登校や引きこもり、問題行動等については、複数の行政機関や民間を含めた教育機関、団体の支援があり、ある程度の情報の共有や連携が図っているが、義務教育終了後については、その支援が途切れてしまうという課題がある。</p> <p>本市には、困難を有する子ども若者に対する民間の支援団体が少ないなど、社会的資源の乏しさから、義務教育期以降の青少年の相談窓口となる支援機関の設置が求められる。</p> <p>「子ども若者総合相談センター・地域協議会」を設置し、本市の実情に合わせ、不足する社会資源や人材を確保すると共に包括的な支援機関として本事業を実施していく必要がある。</p>	<p>「子ども若者総合相談窓口」の認知度を上げるため、新聞・パンフレット・ホームページ等を活用した、広報活動に努める。</p>

今後の取組み方針

総合相談センターへ相談員(嘱託)を配置する。また、平成27年度より、石垣市子ども若者総合相談窓口相談業務等のスーパーバイザーを配置し、子ども若者相談員への指導・助言及び出張相談会等を開催し、相談窓口業務の充実を図る。

H26年度に実施した、ひきこもり等の実態調査に基づき、民生委員やその他地域の社会資源を活用し対象者個人の掘り起し等のほか、必要な対策を検討し具体的な支援につなげる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,039	2,039	1,631	408	0



資金の流 れ、費 目 の 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定は、子ども若者相談員を公募により選考し採用、旅費は、事前予約等により必要最小限の支出に努め、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模、費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費であり、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	予算規模、費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費であり、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	予算規模、費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費であり、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7- 文化資産収蔵庫整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア
担当部課名	教育部 図書館	事業実施(予定)年度 平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所
		沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
		- 3 - (1)	

事業内容	戦火を逃れた貴重な地域の史料を収蔵保管する為、八重山圏域で唯一の図書館の4階に収蔵庫を増設する事により、適切な管理と津波被災から防除を行う。				
------	--	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額		30,000	65,821		
	(b)予算現額		23,318	65,875		
	(c)増減額(b-a)	0	6,682	54		
	(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)	0	23,318	65,875		
	B.執行済額		23,277	65,845		
	うち交付金充当額		18,621	52,676		
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		99.8%	100%		
予算の状況の説明	当初計画どおり執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		収蔵庫の整備	目標 () () (収蔵庫の整備) ()	実績	
	目標 () () () ()	実績			
達成状況説明	H25年度は設計書の作成及び建築確認申請を実施し、平成26年度に監理業務委託、建築工事、設備工事、消火施設工事を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		目標 () () () (収蔵庫の整備完了) ()	実績			収蔵庫の整備完了	
		目標 () () () () ()	実績				
		目標 () () () () ()	実績				
進捗状況説明	H25年度は保管場所確保・移転準備を実施し、H26年度に監理業務委託、建築工事、設備工事、消火施設工事を実施した。これにより津波などの災害から貴重な資料等を守ることができている。						

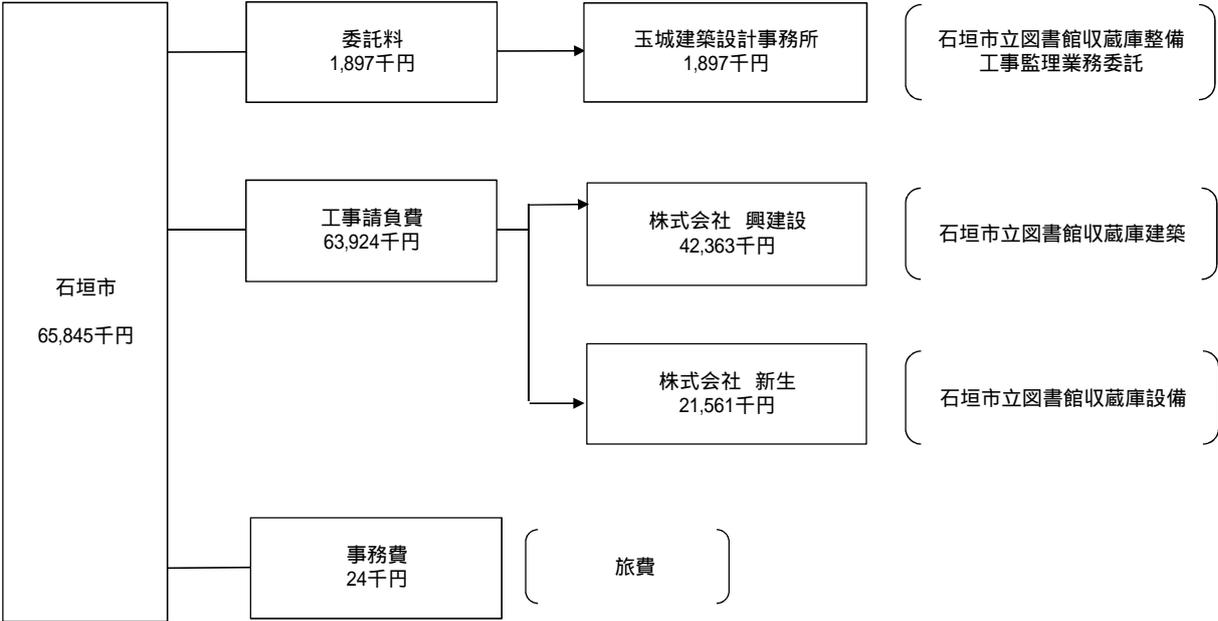
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>石垣市立図書館は八重山圏域における唯一の図書館であり、過去の貴重資料、文化資産を津波などの災害から守り、収蔵保管することが必要とされる。</p> <p>現在、2階、3階に収蔵庫を設置しているが、貴重資料を収蔵保管する為、また津波対策として4階への収蔵庫の増設を行った。</p> <p>工事に際しては、開館中の実施であることから、利用者へ影響がないように留意し進めた。また、増設予定階が無窓階となることから、消防設備等の検討も合わせて行い工事を実施した。</p>	<p>左記留意点を検討し、それらを満たした建築・設備・消火施設工事を実施した。</p>

今後の取り組み方針

4階収蔵庫の増設により、津波被災の防除と資料の収蔵可能数が増えたことから、今後は所蔵資料内容のさらなる充実を図っていきたい。また、八重山圏域唯一の公共図書館として、図書館所蔵資料が地域の児童生徒及び住民へ活用されるように、読書推進活動や情報提供の積極的な取組みを行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
65,845	65,845	52,676	13,169	



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者及び工事請負業者選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 予算規模については執行率は100%であり適正な規模であった。 費目・用途について事業目的達成の観点から必要であるか等については額の確定時において検査・確認しており、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	郷土文化学習事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育部 図書館	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	小学校低学年の郷土学習資料として「やえやま探検隊シリーズ」を編集し、市内各学校集合学習に活用するため、発行する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			3,000		
		(b)予算現額			3,000		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	-		0		
		A.計(b+d)	0	0	3,000		
	B.執行済額				2,916		
	うち交付金充当額				2,332		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				97.2%		
予算の状況の説明		当初計画どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	郷土資料の発行配布	目標	()	()	(1000部)	()	
		実績			1,000部		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	『やえやま探検隊』については、平成26年3月27日までに編集・刊行が完了し、本市の他、竹富町・与那国町も含む八重山地域の小中学校を中心に、関係機関へ828部を無料配布し、残り172部を資料破損等の際の対応用として保管した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	郷土資料の発行配布	目標	()	()	()	(1,000部)	()
		実績				1,000部	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成26年3月27日までに編集・刊行が完了し、市内の小中学校を含む関係機関へ無料配布され、教育現場等において活用されている。					

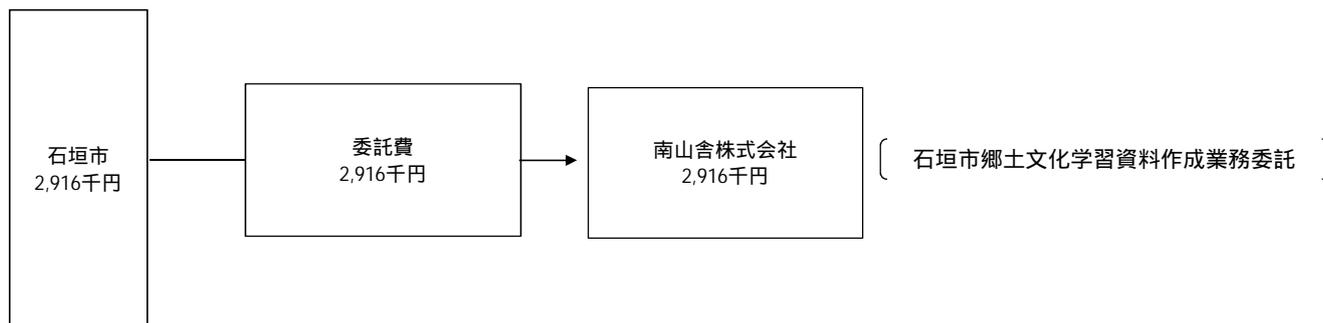
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>児童生徒の郷土学習が活発に行われるようになってきたが、児童・生徒向けの郷土資料は少なく、八重山地域においては児童向け資料は無いに等しい状況にある。そのため、子どもたちの調べたいという思いに十分な対応ができておらず、その状況を改善するために本事業を行った。</p> <p>これまで発行された『やえやま探検隊』シリーズ ~ を合冊し、編集・発行を行った。当初、平成27年3月20日に完了予定であったが、校正作業及び校正による資料の修正により期間補正が生じたため、委託業務期間を平成27年3月27日へ変更した。</p>	<p>1,000部発行配布の目標は達成したため、今後は活用を図っていく。</p>

今後の取り組み方針

地域に根ざした教育を育むために、小学校低学年にわかりやすい地域の伝統・文化資料が必要であり、郷土学習充実のために今後とも郷土学習資料の充実を図りたい。『やえやま探検隊シリーズ』の学校図書館や授業等の教育現場での活用を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,916	2,916	2,332	584	



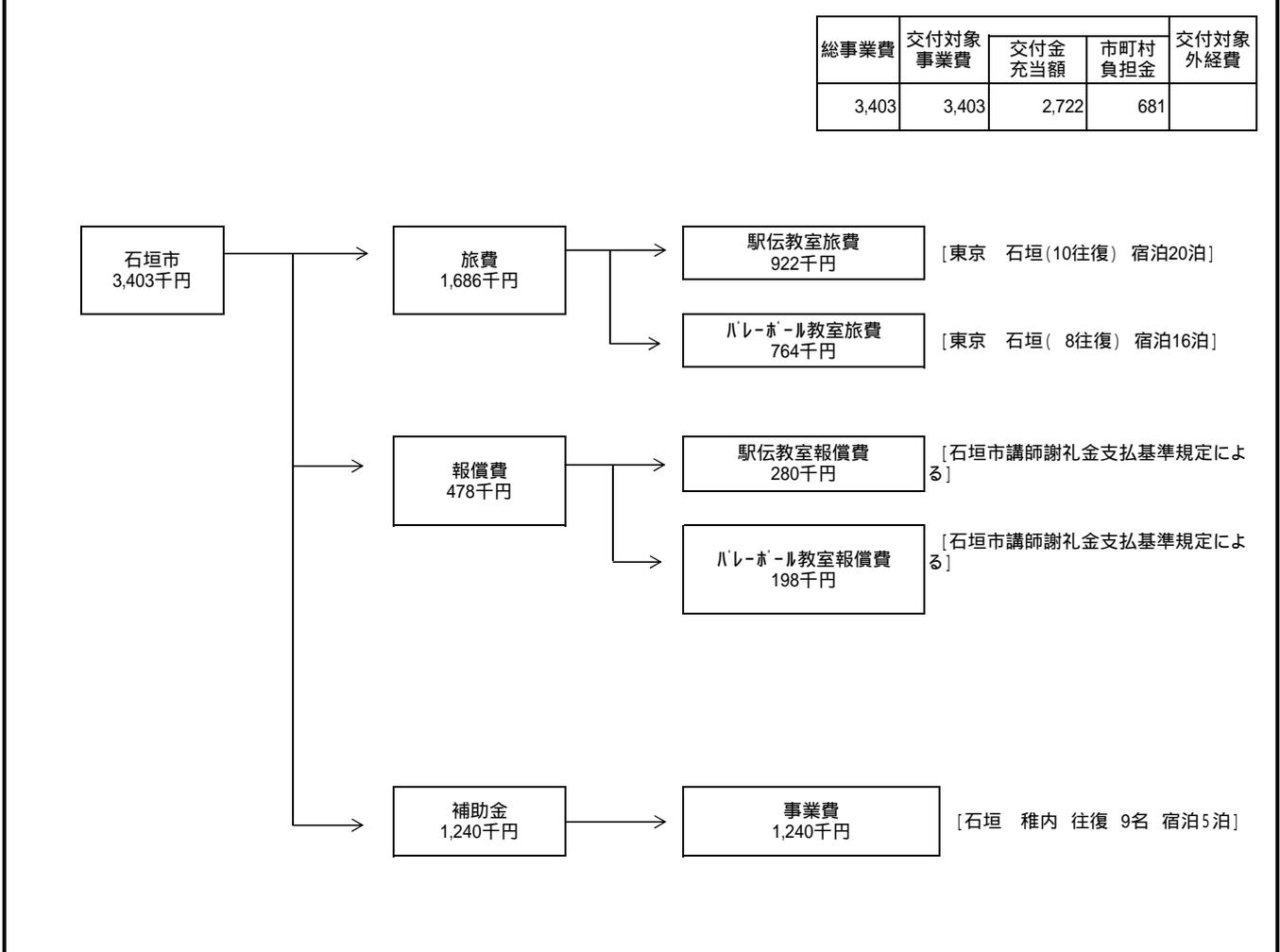
資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託業者は、石垣市に拠点を置く、編集及び製本作業を一括受注出来る唯一の出版社であることから、妥当であったと考えている。</p> <p>予算規模については、不用額は5%以内であり、適正な規模であった。</p> <p>費目・使途について事業目的達成の観点から妥当であるかを額の確定時において確認しており、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	いきいきスポーツ活動助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 5(4)	
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 スポーツ交流課	事業実施(予定)年度	平成26~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引出し、感性を磨く人づくりの推進	
事業内容	地元から県大会や全国大会などに送り出せる体制づくりのためにトップアスリートとしての経験等を有した優れた指導者の活用を行う。また県外市町村の青少年と共通するスポーツを通して交流を図り、交流相手への興味、話題、関心を持つことを促す。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額			5,881		
		(b)予算現額			3,521		
		(c)増減額(b-a)	0	0	2,360		
		(d)繰越額	-		0		
		A.計(b+d)	0	0	3,521		
	B.執行済額				3,403		
	うち交付金充当額				2,722		
	次年度繰越額				0		
	執行率(%) (B/A)				97%		
予算の状況の説明		当初、駅伝教室10回、バレーボール教室10回、スポーツ交流事業13人派遣を予定していたが、駅伝教室は10回、バレーボール教室8回、スポーツ交流事業9人の派遣となり執行予定額に変更がでた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	バレーボール・駅伝教室実施	目標	()	()	実施	()	
		実績			実施		
	バレーボール・駅伝選抜合同強化練習及び指導者講習会の実施	目標	()	()	練習及び講習会の実施	()	
		実績			練習及び講習会の実施		
友好都市スポーツ交流事前調査、稚内へ派遣、感想文提出、報告書の作成	目標	()	()	事前調査等	()		
	実績			事前調査その他実施			
達成状況説明	駅伝教室を17回、バレーボール教室を16回実施し、競技力向上及び指導者育成に繋がった。スポーツ交流事業については9人が稚内市でバスケットボールをとおして交流した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	【バレーボール】小学生バレーボール教室(4回)	目標	()	()	()	(4回)	()
		実績				4回	
	【バレーボール】中学生バレーボール教室(8回)	目標	()	()	()	(8回)	()
		実績				4回	
	【バレーボール】高校生バレーボール教室(10回)	目標	()	()	()	(10回)	()
		実績				8回	
	【バレーボール】選抜合同強化練習(2回)	目標	()	()	()	(2回)	()
		実績				1回	
	【バレーボール】指導者講習会(2回)	目標	()	()	()	(2回)	()
		実績				1回	
	【駅伝】中学生駅伝(持久走)教室(10回)	目標	()	()	()	(10回)	()
		実績				9回	
	【駅伝】高校生駅伝(持久走)教室(10回)	目標	()	()	()	(10回)	()
実績					8回		
【駅伝】強化練習(4回)	目標	()	()	()	(4回)	()	
	実績				2回		
【駅伝】指導者講習会(2回)	目標	()	()	()	(2回)	()	
	実績				1回		

[友好都市スポーツ交流派遣] 交流者数17名(団員12名、リーダー1名、指導者4名)	目標	()	()	()	(22名派遣)	()
	実績				17名派遣	
進捗状況説明	バレーボール教室については八重山高校男女が県大会ベスト8へ進出し、駅伝教室については大浜中学校が全国大会へ出場した。石垣島の気候に合った練習時間の設定・練習方法等を工夫し、効率の良い練習で更なる競技力向上につなげたい。教室や講習会等の開催回数が目標に対して一部未達成な理由は、学校行事や競技大会などと日程が重なることがあり、また、各協会との調整に時間を要したためである。、スポーツ交流派遣事業においては、バスケットボールを通して交流を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	バレーボール教室16回、駅伝教室17回、スポーツ交流事業(稚内市)を実施した。 教室開催にあたっては地区大会・学校行事等が重なり、開催日程調整が難航した。 指導者育成面で指導者の参加が少なく、これからの課題である。 スポーツ交流事業に関しては、スポーツ(バスケットボール)をとおして北海道稚内市と交流事業を行った。参加者を13名募集したが県大会の日程と重なり9名の参加で開催した。終了後アンケートにより県外市町村の文化、生活、気候風土に関心を持ったか等の調査をした。今後関心度を高めていきたい。	教室開催については、大会・学校行事と重ならず、なるべく多くの児童生徒が参加できるよう早めの日程調整に取り組む。 駅伝・バレーボール教室共に各種目の底辺拡大に努め、有能な選手の島外流出を避けるため、指導者の育成にも力を入れる必要がある。 スキルに加えメンタルな部分にも着目し、県大会に臨み、県制覇、九州大会、全国大会出場を視野に入れ取り組む。 スポーツ交流事業では、日程調整、スケジュール調整を精査し、アンケートにもあった「ホームステイ先と過ごす時間を増やしてほしい」とか「石垣市では体験できないスポーツをたくさんしたい」等の意見に考慮したい。
今後の取り組み方針		
<p>トップレベルのコーチ、指導者を招聘し、高校生を中心にスポーツ教室を実施していく。 教室や指導者講習会を通して、年間を通した練習に適した時間帯、練習法等を確立していく。 より良い環境、コーチを求める有能な選手の流出を引き留めるためにも地元でも十分に活躍できる環境作りが必要となる。その一つに指導者育成があり、指導者講習会に力をいれていく。 スポーツ交流事業においては、離島の離島である本市の青少年が北国の生活文化に興味関心を持ち、自分の町を誇りに思い、成長していく事業を提供していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	講師については、知識・経験共に申し分ない人材である。事業回数も適切であると考え。スポーツ交流事業の受益者負担は2割であり妥当であると考え。事業目的に即した費目で適切に使用されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7- 冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア
担当部課名	教育部 いきいき学び課	事業実施(予定)年度	平成26～33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)

事業内容
本市児童の学力向上を図る為、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額			1,330	
		(b)予算現額			1,330	
		(c)増減額(b-a)			0	
		(d)繰越額			-	
		A.計(b+d)			1,330	
	B.執行済額				1,321	
	うち交付金充当額				1,056	
	次年度繰越額				0	
	執行率(%) (B/A)				99.3%	
	予算の状況の説明		本事業の計画内容は実施することができた。活動目標及び成果目標の達成・進捗状況より適正に執行したものとする。			

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
事業実施箇所数	目標	()	()	(14箇所以上)	()
	実績			12箇所	
事業実施団体数	目標	()	()	(14団体以上)	()
	実績			18団体	
参加児童数	目標	()	()	(350名以上)	()
	実績			520名	

達成状況説明
・事業を実施するにあたり、実施要項を作成し各団体に呼び掛けたところ、実施団体は18団体、参加児童は520名と当初計画していた規模より大きな支援ができた。箇所数において実施が目標より少ないが、同じ場所で複数の団体が学習支援活動を行ったためである。
・実施団体との意見交換会や懇談会、アンケートを通して、児童からは、互いに教え合うことができる場であること、また部活動の一部としてやるべき宿題等と一緒に取り組むことが出来た楽しいなどの意見が、保護者からは、学習に向かう意識と習慣化に役に立っている、継続してほしいとの意見があり、有意義な活動が出来ている。
・まとめとして実績報告書の作成を行い、学校や関係する団体へ報告を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			団体ごとの出席率	()	()	()
	実績				65%	
アンケートを実施し、家庭学習の習慣化	目標	()	()	()	(70%以上)	()
	実績				97%	

進捗状況説明
・平成26年10月からの事業開始となったが、学習支援の実施、教育懇談会、意見交換会、アンケートの実施など、概ねスケジュールどおり進捗できた。
・出席率について、目標を下回ってしまったが、これは高学年の児童について、年末、年度末に学校行事が増えて参加が減ってしまうことによるものである。

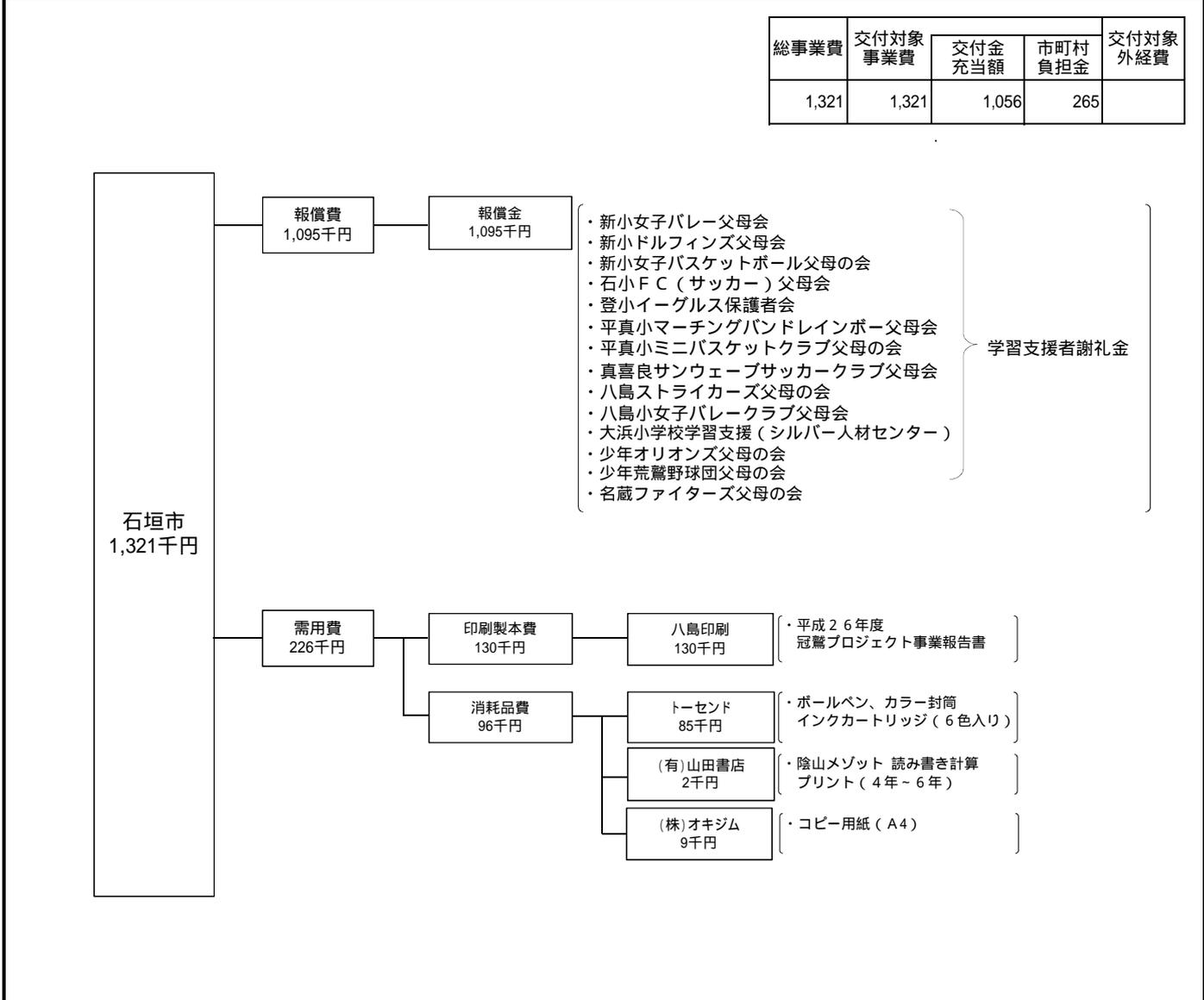
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>安心、安全な環境の中で、児童生徒の学習に対する意欲向上を図ることが出来るように、実施団体へのサポートを図る必要がある。</p> <p>本事業における取組について、保護者の99%が役立っていると感じているが、実際の支援は一部の保護者への負担が大きいものとなっている。</p>	<p>地域全体で学習機運を高めることが目的なので、曜日や時間等については調整しながら実施する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

H27年度は年間を通しての実施を行いたい。

スポーツ少年団以外の、シルバー人材センターや自治公民館、婦人会、青年会、子どもたちの学力向上を手助けしたいとの思いのある退職教員等の力を借り、児童生徒の学力向上に役立てたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>支出先の選定については、本市財務規則に基づき、見積合わせ等により行い、妥当であるとする。</p> <p>予算規模についても不用額が1%となっており、事業内容に見合った規模となっている。</p> <p>費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-		学力先進地域調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7		
	担当部課名	教育部 学校指導課		事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進	
						-3-(1)		
事業内容	市内小中学校教諭を県外学力先進地域の小中学校へ派遣し学力向上や授業改善に係る取組に対する意識を高め、各小中学校における実践的な学力の向上の取組推進を図る。 また、学力向上や授業改善に係る取組において、学校の中核となるミドルリーダーの育成を図る。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算状況	(a)当初予算額				1,639		
		(b)予算現額				801		
		(c)増減額(b-a)		0	0	838		
		(d)繰越額		-	0	0		
		A.計(b+d)		0	0	801		
	B.執行済額					750		
	うち交付金充当額					600		
	次年度繰越額			0	0	0		
	執行率(%) (B/A)			#DIV/0!	#DIV/0!	93.6%		
予算の状況の説明		学力向上先進地である福井県に指導主事2人、小中学校教諭8人の派遣研修について概ね事業計画どおり執行できた。 福井県福井市に、管理職3名、教諭5名、指導主事2名の訪問にかかる旅費。 当初予定していた先進地が変更となったため、旅費の執行残に伴う減額補正を行った。(平成27年3月)						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	学力先進地域調査に、小学校教諭3名、中学校教諭2名、学校長3名、指導主事2名を派遣する。	目標	()	()	小学校教諭3名、 中学校教諭2名、 学校長3名、 指導主事2名派遣	()		
		実績			小学校教諭3名、 中学校教諭2名、 学校長3名、 指導主事2名派遣			
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	全国学力・学習状況調査において、中学校の部で全国1位である福井県(福井市)に、管理職3名、教諭5名、指導主事2名を派遣し、学力先進地域の視察研修を1月に実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	各学校へ調査内容(指導方法・学校運営等)の普及を図る。普及方法としては、いしがき教育の日(全体研修会)や管理職などの研修会。各学校から派遣された職員による校内研修等で行う。	目標	()	()	()	(実施)	()	
		実績				研修会2回		
			目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	福井県の小中学校及び教育委員会の視察研修に参加された先生方による「石垣市学力向上実践推進会議」を開催し、平成27年度の石垣市学力向上推進委員会への提言や各学校における施策への助言、授業力向上についての助言を行った。その結果、福井市で行われている無言清掃(黙動)や自学学習の時間を週程に導入したり、校内の掲示物(背面黒板や掲示版)を児童・生徒の生活実態に合わせた内容に工夫する学校が表れ、視察の効果(普及)が図られている。						

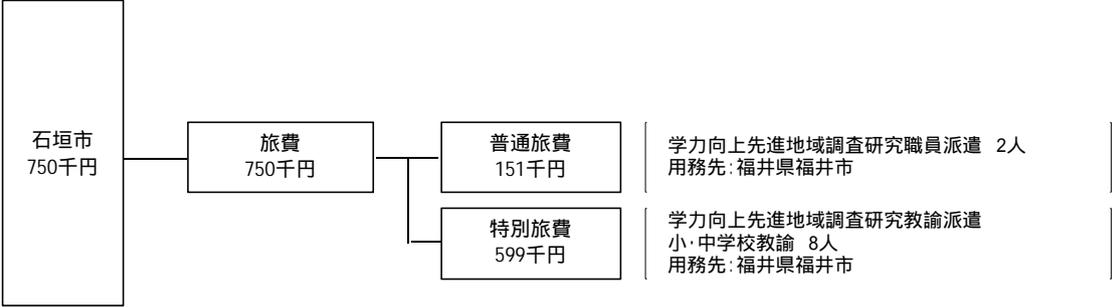
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市は、H19年から行われている全国学力・学習状況調査において、良好な結果を残していなかった。こうした現状を打開するため、平成24年度から冠鷲プロジェクト(学力向上強化事業)を立ち上げ、授業力の向上、学習環境の充実に努めている。</p> <p>H26年度の全国学力・学習状況調査では、小学校で改善が見られたが中学校では、依然、全国・沖縄県との差がある。今後は、小中連携した取組の拡大と、中学校教諭の指導力の向上、小学校教諭の取組の充実が必要である。</p> <p>学力先進地域視察研修に参加した教員からは、一定の評価をいただき、学校や地域への普及も行っているが、速効性を図るためには、より多くの教員を先進地域の視察研修に参加させる必要がある。</p>	<p>視察研修の成果を各学校、教員に周知させるための取組を工夫する必要がある。また、速効性、持続性を図るためにも事業の継続が必要である。</p>

今後の取り組み方針

H27年度は、全国学力・学習状況調査[小学校の部]で、全国1位である秋田県を予定している。視察するメンバーは、小学校の管理職・教諭を中心に構成する。訪問後は、報告書を作成し研修会等で活用して、先進地域の情報伝達、本市の授業力・学力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
750	750	600	150	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	旅費については、事前予約等の割引を活用している。費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

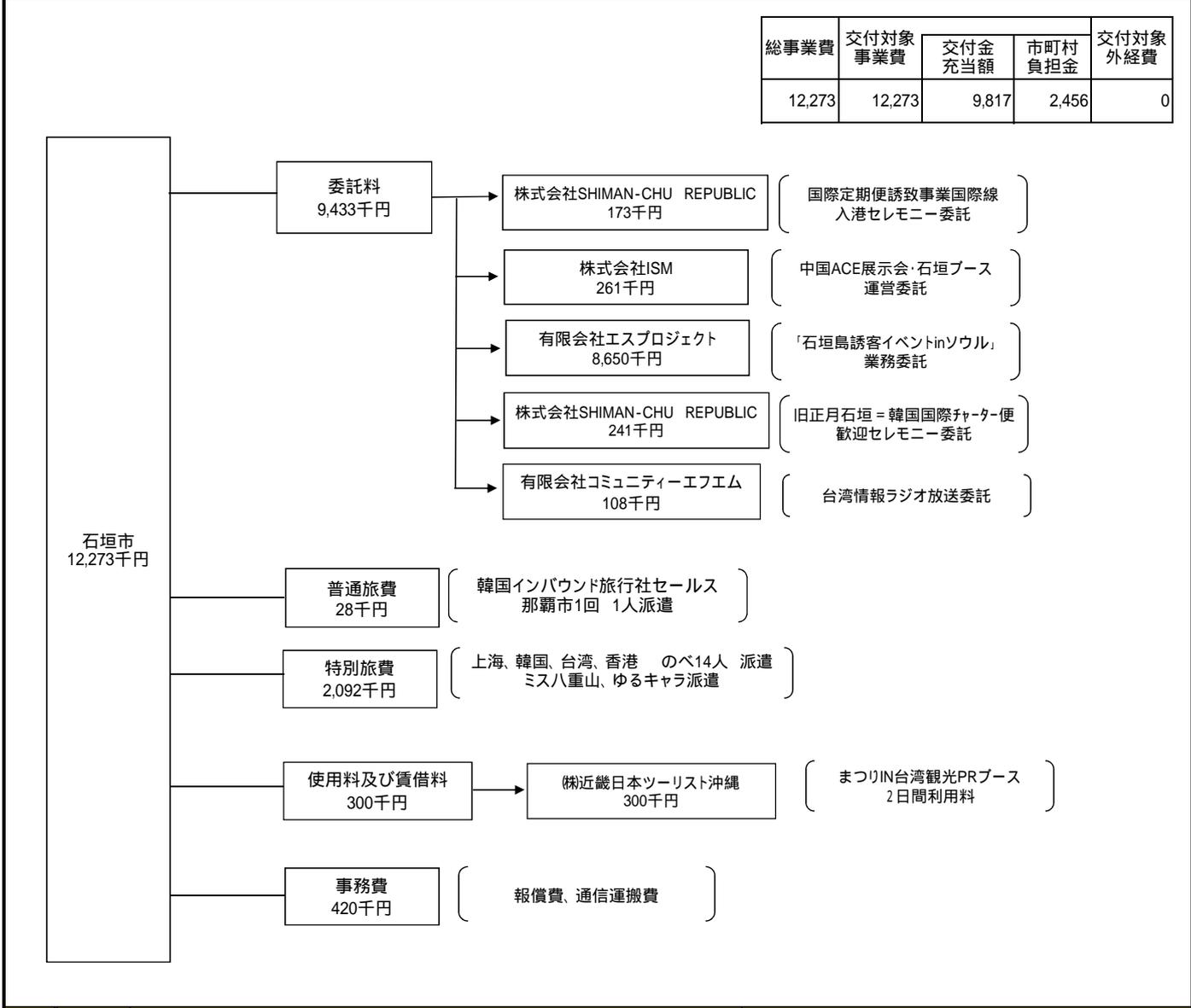
市町村名		石垣市						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8-	国際定期便誘致事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ウ		
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備 -7		
事業内容	国際航空路線の活発化及び定期就航を図るために近隣の台湾、香港、韓国へのプロモーション及び路線安定化に向けた取り組みを行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	15,016	12,764	12,460			
		(b)予算現額	15,016	11,514	12,880			
		(c)増減額(b-a)	0	1,250	420			
		(d)繰越額	-	-	-			
	A.計(b+d)		15,016	11,514	12,880			
	B.執行済額		10,418	11,040	12,273			
	うち交付金充当額		8,333	8,831	9,817			
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		69.4%	95.9%	95.3%			
予算の状況の説明		6月補正により対台湾アウトバウンドで920千円を増額し、3月補正で広告料不用額500千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	H25年度に策定した「インバウンド基本計画」に基づき、石垣空港の国際線施設の活発化を図り、インバウンド客の誘致を推進して、通年を通じた国際線の就航定着化に取り組む。		目標	(3カ国)	(2カ国)	(実施)	()	
			実績	2カ国	2カ国	実施		
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	韓国(2件)、上海(1件)、香港(2件)、台湾(5件)、東アジア圏を主要開拓地として3カ国(1地域)での誘客プロモーションで実施することができた。今後も安定した誘客を推進するため発地に向いて、本市の観光魅力を継続的にプロモーションする必要がある。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	インバウンド誘客目標		目標	()	()	()	(0.8万人)	()
			実績				8,632人	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	海外でのプロモーション実施の成果、海外誘客が前年度(H25年度6,913人)比24.86%増の8,632人と目標の0.8万人を達成することができた。今後は、WEBサイトでのプロモーションに取り組んでいきたい。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>台湾路線を主要市場として、通年運航を実現したいが、冬季の誘致需要が乏しい現実がある。冬季の誘致コンテンツ(市民間交流やスポーツ等イベント等)について推進していきたい。</p> <p>また、冬場の旅行需要が高く、沖縄本島への観光客が増加している韓国をターゲットにした取り組みを継続したい。</p> <p>さらに、上海、香港、からチャーター便誘致を実現することで、国際路線の活発化に取り組みたい。</p> <p>基本的な観光情報(島内のアクセス、宿泊予約)が発信できない課題を改善したい。</p> <p>冬場の旅行需要が高い韓国から冬場の就航に向けて、課題となる本市の知名度向上を行いたい。</p>	<p>インバウンド受入に係る基本的な観光情報の発信を行う。</p> <p>台湾、韓国、上海のターゲット市場ごとの誘客コンテンツを検討し、商品造成を図りたい。</p>

今後の取り組み方針

通年での台湾路線を図るため、各シーズンでの観光コンテンツを整理及び造成して情報発信、プロモーションを行う。また、冬場の路線需要として、韓国市場へ本市の認知度を向上させる取り組みを推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託は、提案型プロポーザル方式で選定して随意契約を行っている。 予算相当の取り組みを実施することができた。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市
------	-----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-	福岡戸籍システム導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-イ
担当部課名	市民保健部市民課	事業実施(予定)年度	平成26年度	戦後処理問題の解決
			沖縄振興基本方針該当箇所	-6

事業内容	今後の親族関係、身分関係を正確に登録・公証するため、紙で記録されている福岡戸籍を電算化することで、長期保存を可能とする。				
------	--	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額			6,912		
	(b)予算現額			6,912		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	-		-		
	A.計(b+d)	0	0	6,912		
	B.執行済額			6,912		
	うち交付金充当額			5,529		
	次年度繰越額			0		
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	100%		
予算の状況の説明	事業内容を作業計画通り完了し、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	福岡戸籍等の電算化	目標	()	()	(電算化実施)	()
		実績			電算化実施	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	米軍統治下時代に沖縄県民の戸籍は法務庁福岡司法事務所(現在の法務省福岡法務局)にて管理されており、そこで管理されていた戸籍のことをいわゆる「福岡戸籍」と言う。紙媒体で劣化が著しい福岡戸籍の電算化により、滅失の危険性を除去し長期保存を可能とした。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		福岡戸籍等の3,000枚余の電算化の完了	目標	()	()	()	(電算化の完了)
	実績					電算化の完了	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	紙媒体で劣化が著しい福岡戸籍を電算化することで、滅失の危険性を除去し適切な保存と活用が可能となり、本事業で現存する福岡戸籍を全て電子化することができた。当初対象戸籍は3,647枚・1,459戸としていたが、電算化作業を進めていく中でデータ読み取りが困難なため電算化不要と判断された帳票や重複している戸籍があり、それらを除外していき、最終的に電算化をした戸籍の数は3,450枚・1,395戸となっている						

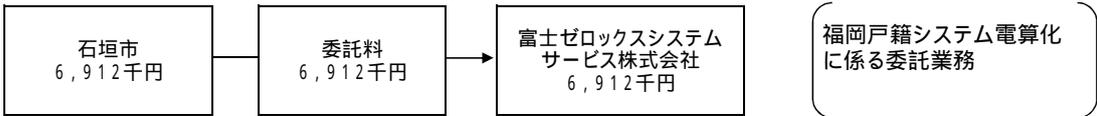
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	紙媒体で劣化が著しい福岡戸籍を電算化したことにより、適切な保存と活用が可能になり、住民サービスの確保が図られた。	検索・証明発行の時間短縮を図ることができ、本土戸籍との齟齬による戸籍訂正等の重要な資料として、安定的かつ継続的な福岡戸籍に係る住民サービスの確保を図っていく。

今後の取り組み方針

福岡戸籍を電算化したことにより、安定的かつ継続的な福岡戸籍に係る住民サービスが可能となったことから、今後の戸籍事務の効率がスムーズに行われるように住民サービス向上を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,912	6,912	5,529	1,383	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上、随意契約により選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		